

ふるさと加東の歴史に刻まれた青春

—社高等女学校、嬉野学徒錬成場の記憶—

コロナとの闘い、新知事誕生の歴史的転換点で

—兵庫県議会議長として—

- ◆郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より
- ◆議員活動ブログ「百聞百見」より



▲県立社高等女学校（昭和8年）青春の記憶



▲県営嬉野学徒錬成場（昭和18年）の記憶

ふるさと加東の歴史に刻まれた青春

— 社高等女学校、嬉野学徒錬成場の記憶 —

コロナとの闘い、新知事誕生の歴史的転換点で

— 兵庫県議会議員として —

- ◆郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より
- ◆議員活動ブログ「百聞百見」より



▲県立社高等女学校（昭和8年）青春の記憶



▲県営嬉野学徒錬成場（昭和18年）の記憶

目次

- I ふるさと加東の歴史に刻まれた青春 ……………1
社高等女学校、嬉野学徒錬成場の記憶
—郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より
- II 令和3年5月～4年3月の議員活動記録 ……………35
コロナとの闘い、新知事誕生の歴史的転換点で
—兵庫県議会議長として—
—議会活動ブログ「百聞百見」より
- III 県議会での挨拶・決議 ……………217
議長就任挨拶
定例県議会での閉会挨拶
ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議・抗議文
- IV 令和3年5月～4年3月の活動記録 ……………229

まえがき

この「県政資料」は、私の議員活動ブログ「百聞百見」、歴史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」に投稿してきた記事の中から、テーマに沿って、選び、まとめたものです。

第Ⅸ集は、Ⅷ集に続き、ふるさと加東の教育の歴史に焦点を置いてみました。加東市では東条学園小中学校の開校に続き、社地域、滝野地域においても小中学校の開設準備が進められています。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、学校のICT化が一気に進められました。デジタル教科書やプログラミング教育など、学校、教育の情報化が進み、今、大きな転換点に立っています。そのような中、昭和前半期を中心にふるさと加東の教育の記憶を探りつつ、未来に伝えておきたい歴史を紹介したいと思います。県立社高校の前身、社高等女学校と県立嬉野台生涯教育センターの前身、嬉野学徒錬成場・嬉野公民研修所の記憶です。加東に刻まれた若者の青春の記憶を紹介します。

令和3年6月9日、第354回定例県議会の最終日に、私は第124代議長に選出されました。加東郡（加東市域）では、石井武夫氏、中村敏明氏に次いで3人目の議長就任となりました。以来もうすぐ1年が経とうとしています。その間、議長として、新型コロナウイルスとの闘い、自民党会派の分裂、20年ぶりの新知事の誕生といった激変の中で議会運営にあたってきました。その記録を議員活動ブログ「百聞百見」から抜粋して掲載しました。

コロナ克服への闘い、歴史的転換期の兵庫県政の動きを書き留めたこの県政資料を発刊することができたことに感謝しつつ皆様にお届けいたします。

令和4年5月吉日

兵庫県議会議員

藤本百男

ふるさと加東の歴史に刻まれた青春

郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より
—社高等女学校、嬉野学徒錬成場の記憶—

I 兵庫県立社高等女学校の記憶

1. 女学校のおと

2006年06月22日

社の環状線（旧国道372号線）の嬉野口交差点から西に向かって少し歩くと、裁判所があります。

広々とした敷地の庭の一角に「県立社高等女学校跡」と刻んだ石柱が立っています。



これは、この地に県立社高等女学校があったことを示しています。

県立社高等女学校は大正11年（1922）にこの地に校舎が新築されました。その前身は、小野高等女学校（大正2年、小野村外三か村組合立で小野高等実科女学校として設置され、後加東郡立に移管、大正10年郡立小野高等女学校となる）で、加東郡内の小野に設置され、置かれていたものです。

「郡制」の廃止にともない、県立に移管されるのを機に、小野から加東郡の北部への移転を希望する声が高まり、南部と北部の激しい引き合いが起こりました。小野には県立小野中学校があり、

北部や東部（東条や米田）の人々は教育施設が南部地域に偏っていることに不満を抱いていたようでした。

この女学校の移転問題は当時の加東郡役所が抱える大問題の一つでした。移転問題を話し合った加東郡会は北部、南部議員の対立で揺れ、加東郡公会堂（今の明治館）付近には群集が詰めかけ、警察が出動するほどの騒ぎになったようです。

結局、社町から南部に慰謝料を支払うことで移転問題は決着しましたが、南部の町村では町村長がこの責任をとって辞任するという大混乱を残しました。

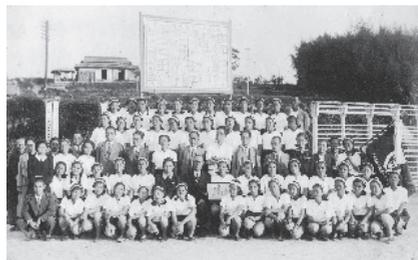
昭和23年（1948）、県立社高等女学校は新しく県立社高等学校となり、昭和34年に、嬉野の現在地に鉄筋コンクリートの新校舎が建設され移転しました。

女学校があった頃、社の市街地から嬉野に上がるとき、女学校の前を通るのが楽しみだったと古老は懐かしそうに話しておられました。

2. 社高等女学校体錬会記念写真

2012年07月23日

この写真は、県立社高等女学校の運動会の記念写真のようです。女子生徒の後方の得点板には「第二十回体錬会各組得点表」と書いてあります。また、写真右端には「兵庫県



立社高等女学校」の校名と校章が染め抜かれた旗が見えます。さらに後ろの景色は高台になっており、段々畑の上に民家も写って

いるいることから嬉野台地の西端だと思われます。

県立社高等女学校の跡地は、現在裁判所などが建てられています。私が初任で加古川市立川西小学校に勤務したとき、教務主任だった大西和子先生が社高等女学校の話を書き懐かしく語っておられたことを思い出します。「軍事教練のとき、馬に乗った松尾大佐の姿がわりりしくてねえ」と。ひょっとしたら、大西先生もこの写真の時代を過ごされたのではと想ったりします。

社高等女学校を引き継いだ県立社高校の校舎は現在、嬉野台に聳え立っています。来年創立百周年を迎えますが、高女時代の先輩とその祝いの集いでお出合いしたいものです。

3. 愛と誠の精神(こころ) — 県立社高等女学校校歌

2013年11月11日

兵庫県立社高等学校の創立百周年を祝う記念式典が去る9日に挙行されました。その式典で社高等女学校の校歌が女子生徒の斉唱で披露されました。

「愛と誠は 我等がしるしよ」の一節に女学校の純潔さと誇りが込められているようで、とても美しい響きの校歌でした。歌詞を紹介します。

〈兵庫県立社高等女学校校歌〉

伊藤静子：作詞 齊藤仙司：作曲

- 一 名もゆかし 社の野辺に
- 日ごと集ふ 若き乙女子
- 愛と誠は 我等がしるしよ
- いざやつまなん 教えの小草

二 月の影 さやけき夕
うちあふぐ 姿も清し
愛と誠は 我等がしるしよ
いざや磨かなん 心の鏡

三 かがよへる 光をあびて
あの日の 天地もほほえむ
愛と誠は 我等がしるしよ
いざや進まなん 久遠の理想に

4. 播磨国原穂波も豊かー兵庫県立社高校校歌

2013年11月12日



今日は県立社高等学校の校歌を紹介します。創立百周年記念式典では式の最後に出席者全員で斉唱しましたが、春の選抜高校野球に出場し、甲子園で声高らかに校歌を歌ったときの感激は忘れられません。また、昭和44年入学のとき、式が始まる前に教室で担任の井上嘉先生から教わった社高校の校歌の一番と三番の出始めの一節、「播磨国原穂波も豊か」と「祖国の真中目路もはるばる」の雄大さがとても気に入ったことと「真中」を「もなか」と読むんだということを知ったことをよく覚えています。

写真は校舎よりはるかに高く背を伸ばし、天を衝くように嬉野台に屹立しているメタセコイヤです。遠くからもこの木々が見え

るほどになりました。

〈兵庫県立社高等学校校歌〉

斉藤清衛：作詞 下総皖一：作曲

一 播磨国原穂波も豊か

昇る朝日をまともに受けて

高く聳ゆる我等が学舎

いざや守らん学徒の使命

二 瀬の音さやかに滝野の流れ

銀鱗おどる若人の胸

高く聳ゆる我等が学舎

いざやたどらん輝く希望

三 祖国の真中目路もはるばる

さみどりにおう社嬉野

高く聳ゆる我等が学舎

いざやかかげん久遠の理想

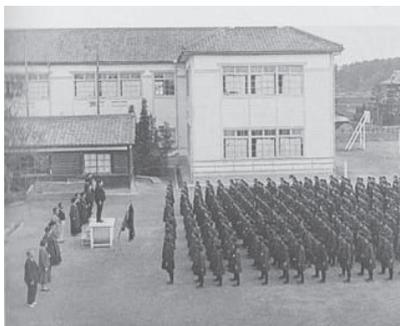
5. 昭和8年—兵庫県立社高等女学校全景と朝礼風景

2019年10月26日



昭和8年（1933）の兵庫県立社高等女学校の卒業アルバムから写真を紹介します。

現在は、県立社高等学



校としてその100年余の歴史と伝統が継承されています。校舎跡は裁判所と住宅地になっていますが、アルバムの中の写真には当時の周辺や社の町の風景も写っています。

今日は、校舎全景と朝礼の風景を紹介します。全景写真には運動場での体育の授業や校舎の左奥に大きな松が写っています。山氏神社の義経お手植えの松ではないでしょうか。

6. 昭和8年—県立社高等女学校の修身の授業風景

2019年10月25日

昭和8年（1933）の兵庫県立社高等女学校の卒業アルバムの中に授業風景の写真が掲載されていますが、その中に「修身の授業」がありました。



黒板には「親心」、「娘選び」「決心」「母は尊し」「少女心」「人物本位」「結婚の準備」などの言葉が板書されています。

戦後、GHQが「修身」「地理歴史」の授業の停止を命令し、修身の授業はなくなりました。修身の教科書を読んでもと、親孝行などの徳目について歴史的人物を取り上げながら読み物風に書かれています。

実際の授業がどのように行われていたのか興味があったのですが、板書も写っている写真を見ながら、先生と女学生のやりとりを想像してしまいました。

7. 昭和8年一県立社高等女学校の地歴の授業風景

2019年10月20日



昭和8年（1933）の県立社高等女学校の卒業アルバムの写真には、女学校のようなすや社の町の風景があります。それらは、80数年前に確かにあった、ふるさとの風景であり、女学生

であった人々の学びの姿なのです。

今は、女学校は裁判所と住宅地に変わっていますが、懐かしい過去の景色があります。

今日は、地歴の授業風景を紹介します。大きな地図が掛けられ、世界との貿易品が図示されています。また、当時日本国だった朝鮮半島の港との航路が書き込まれています。女学生の背筋を伸ばした姿勢の良さが気持ちいいですね。

8. 昭和8年一県立社高女の耐寒徒歩競争風景

2019年10月19日

昭和8年（1933）の県立社高等女学校（現県立社高等学校）の卒業アルバムから「耐寒徒歩競争」の写真を紹介합니다。今で言うところの耐寒マラソンのことでしょう。体操服姿で走る女学



生が坂道を下っています。遠くに半鐘台が白く光っているのが見えます。さらに向こうの山並みには見覚えがあります。

これは、社から千鳥川、木梨地区方面の眺めのようなようです。木梨への坂道ではないかと思うのですが・・・。

9. 昭和8年一県立社高等女学校の授業風景 裁縫と割烹

2019年11月02日

今日は、昭和8年(1933)の兵庫県立社高等女学校の卒業アルバムから「裁縫」と「割烹」の授業風景を紹介します。

これまで、修身や地理、体育の授業風景を紹介してきましたが、女学校といえば、やはり裁縫や料理の授業でしょうか。

割烹の授業では、まさに割烹着を着ての授業です。大人っぽく見えます。黒板には洋食のマナーの図が書いてあります。裁縫の授業風景からは、静かな教室の



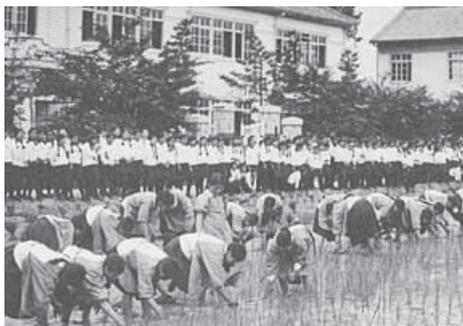
雰囲気伝わってきます。

ちなみに後身の県立社高等学校の生活科学科の生徒は、この伝統をしっかりと受け継いで活躍しています。

10. 昭和8年—県立社高等女学校の田植えと餅つき風景

2019年10月18日

昭和8年（1933）の県立社高等女学校（現県立社高等学校）の卒業アルバムから、校門前の田圃での田植えと校庭での餅つき風景を紹介します。



学校前の田圃には、エプロンのようなものを着けた女学生が一列に並んで苗を植えています。その様子を白い夏服姿の女学生が見学しているようです。



当時の恒例の行事だったのでしょうか。それにしても田植え姿がピシッと決まっています。

餅つきは校庭で、臼を真ん中に冬服の女学生が何重にも取り囲み、割烹着姿の先生でしょうか、あいのてを入れ、女学生が杵をついています。

周囲の女学生の笑顔から歓声も聞こえてきそうです。

昭和8年当時、女学校の華やかな雰囲気が社の町に活気を生みだしていたのでしょうね。

11. 昭和初期の県立社高女校門の桜景色と観桜会

2019年10月13日

知人に見せてもらった県立社高等女学校の昭和8年（1933）卒業アルバムにあった当時の写真を紹介します。

現在は社裁判所になっていますが、写真には校門と満開の桜が写っています。桜の下で先生と生徒と一緒に桜を愛でている風景に女学校らしい雰囲気が伝わってきます。



校舎の2階から撮影したもののと思われますが。写真上部には、学校の東の嬉野の高台が写っています。

12. 昭和初期の活気あふれる社町商店街の風景

2019年10月11日

県立社高等女学校の昭和8年（1933）の卒業アルバムには、当時の社町（現加東市社）の商店街の風景が掲載されていました。

当時は北播有数の活気



ある商店街で商店が軒を連ね、近隣から多くの人が買いものに訪れていたときいています。

この写真は服装や幟（特価大売出）などから年末年始のものではないかと思いますが、林立する幟の隙間に井野履物店の看板が見えます。まさに活気溢れる街の風景です。

13. 社高女から望む社の街風景—昭和8年卒業アルバムより

2019年10月10日

昭和8年（1933）の県立社高等女学校の卒業アルバムの中に校舎から社の街の風景を撮った一枚がありました。

校門脇の桜の木が満開です。当時の女学校は市街地の南東、現在は社裁判所のある場所にありましたから、写真は北西方向を向いたものです。



街並の瓦屋根の向こうにコンクリート造りの建物が見えます。これが、社警察署の庁舎です。昭和5年に完成したばかりで、威容を誇っていたことでしょう。現在はみなと銀行社支店になっています。

86年前（※投稿時）の女学校と社の街の風景を楽しむことができました。

14. 昭和4年—社高等女学校講堂で農会主催刺米品評会

2014年09月19日

昭和3年（1928）の社町社の雑書綴には昭和4年の社町農会主催の米の品評会についての通知が綴じられています。

品評会や賞状の授与式の案内などですが、会場は県立社高等女学校の講堂でした。当時、女学校は現在の社区裁判所の敷地にありました。また、女学校は戦後、男女共学の社高校になりましたが、去年創立100周年を迎えています。綴じられている3通の通知を紹介します。

昭和四年一月十六日

社 町 農 会

各 区 長 殿

本会主催刺米品評会出品物来ル十八日ヨリ二十日迄社高等女学校講堂ニ陳列シ一般ノ縦覧ニ供シ度候条御迷惑ナガラ御部内一般へ此旨御伝へノ上多数観覧方可然御取計相願度此段及御依頼候也

同日付けで次の案内も出ています。

拜啓来ル二十日午前十時ヨリ社高等女学校講堂ニ於テ本会主催刺米品評会、産米改良競進会及多収穫品評会賞状授与式举行仕度候条斯道奨励ノ為メ御隣席ノ栄ヲ得度此段御案内申上候也

また、翌十七日付けで、入賞通知も出ています。

貴、産米入賞致候ニ就テハ来ル廿日午前十時社高等女学校講堂ニ於テ賞状授与式举行可仕候条御出席相成度此段及御通知候

また、同日付で入賞通知書配布依頼も出ています。

入賞者通知書配布方依頼ノ件

各種品評会貴入賞者通知書一纏メトシテ御手許迄差送り候間配布方可然御取計相願度御迷惑ヲモ省ミズ御依頼ニ及候

15. 昭和12年—女学校で開催された学芸展覧会

2006年09月24日

昭和12年（1937）、県立社高等女学校で開催された学芸展覧会の案内が手元にあります。内容は、次の通りです。

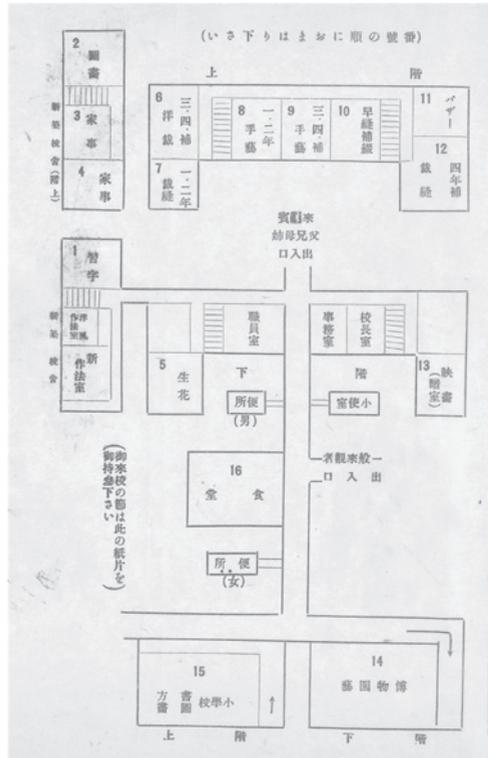
とき 2月27日（土）、28日（日）午前9時より午後4時迄
どなた様もぜひご覧下さい。お待ちしております。

- 一、裁縫・手芸・バザー (生徒作品)
- 二、習字・図画 (生徒作品)
- 三、博物・図芸 (生徒作品及参考品)
- 四、家事 (衣・食・住・看護・育児・衛生)
- 五、生花
- 六、四郡小学校 書方・図画
- 七、映画実験
- 八、食堂

六の四郡小学校書方
 図画展はこの学芸展覧
 会に併設して展示され
 たようです。四郡とは、
 加東・加西・多可・美
 囊の四郡のことでしょ
 うか。

案内図(写真)がつ
 けられているので、女
 学校の校舎配置がよく
 わかります。

昭和12年といえば、
 7月に盧溝橋事件が起
 こり、中国での戦争が
 拡大していった年です。
 女学校らしい展覧会の
 内容ですが、なかでも四の「家事」は、内容が「衣・食・住・看
 護・育児・衛生」と、今の時代にも大切な生活の基本であること
 に変わりありません。タイムスリップして見学してみたくになります。



16. 社高校創立百周年—歴史と伝統の重みを感じる新正門

2013年11月10日

9日(土)、兵庫県立社高等学校の創立百周年記念式典が挙
 行されました。

大正2年に小野実科高等女学校としてその沿革の淵源をもち、
 その後、大正11年に社町に移転、県立社高等女学校となり、戦

後は新制の県立社高等学校となって、昭和35年に現在の嬉野台に新築移転して今日に至っています。

私は昭和40年代半ばに在籍した24回生です。

地域の諸先輩から社への移転に際しての当時のようすや高女時代のことなどを聞く機会もありました。写真でしか見たことの無かった社高女時代の校舎や正門でしたが、百周年を記念して当時の煉瓦造りの正門をモデルにした新しい正門が造られました。夏に披露があったわけですが、百周年記念式典の日、あらためてその正門と校舎を背に写真を撮りました。

歴史と伝統の重みを感じさせてくれるこの新正門。在学当時何もなかった嬉野台地に新しい名所が一つ誕生したような気がします。



II 嬉野の赤土の上で— 学徒錬成場、公民研修所の記憶

1. 嬉野台地今昔—公民研修所の松林、五峰山が見えた

2019年09月18日

嬉野台地の懐かしい写真を紹介します。

現在、加東市立加東みらいこども園、県立教育研修所がある辺りは、かつて、公民研修所、野球場などがありました。昭和30年代後半のこの辺りは、松林があり、保育園の遠足、ボーイスカウトの野外活動などで来ていましたが、その当時を思い出させてくれる写真です。

遠くに五峰山（滝野町）が遠望できます。今は住宅が建ち並んでいるのでこういう風には見えません。また、野球場から公民研修所の建物と松林が見えます。

私は、昭和41年から社中学校、社高校の6年間を嬉野で過ごしました。昭和56年に社中学校跡に建設された兵庫教育大学附属小学校に着任し、翌年隣に開校した附属中学校に異動、そのまま平成15年3月まで勤務しました。30年近くの年月をこの嬉野台地で過ごしたことになります。人生の半分近くを過ごした嬉野の変貌は感慨深いものがあります。



2. 嬉野台地—嬉野公民研修所から望む社高校テニスコート

2019年09月17日



もう一枚、嬉野台地の昔の写真を紹介します。

この写真も県立嬉野台生涯教育センターで見つけたものです。

社高校のテニスコート（現在）の辺りが写っています。

手前は当時の嬉野公民研修所のバレーコートです。左奥にある家は、現在もあります。今の教育研修所とみらいこども園の間の道路への信号のある場所です。バレーコートの場所はこども園の園舎の玄関あたりでしょうか。昭和30年代末から40年代はじめの写真だと思います。

みらいこども園は今春開園、第1回目の運動会がもうすぐ行われます。

○昭和40年頃—嬉野公民研修所でバレーボール

2010年07月25日



この写真は、昭和40年頃、嬉野公民研修所の東側のグラウンドでバレーボールに興じている人たちを撮したものです。

現在は県立教育研修所の敷地になっています。また、向

こうに見える白い建物は嬉野公民研修所の建物です。また、

松の木が見えますが、当時、この辺りには松の木が生えていました。現在は建物も松の木もなく、研修所跡は空き地となっていて、臨時駐車場などに使われています。

3. 嬉野の風景—公民研修所から社高校の校舎が

2019年09月16日



この写真は、県立嬉野台生涯教育センターの玄関を入ったところに展示してあるセンターの歴史を紹介するアルバムの中の一枚です。

写っているのは、県立社高校の校舎です。社高校は、昭和

35年に社市街地から、東に広がる嬉野台地に新築移転されました。その校舎を南西の位置にあった嬉野公民研修所から撮ったものです。手前に見えるグラウンドは野球場、さらに手前は嬉野公民研修所の敷地だと思います。

現在、この場所には、耐震工事中の県立教育研修所、手前に加東市立加東みらいこども園の新しい園舎があります。半世紀の年月の流れは、嬉野台地の風景を大きく変えました。

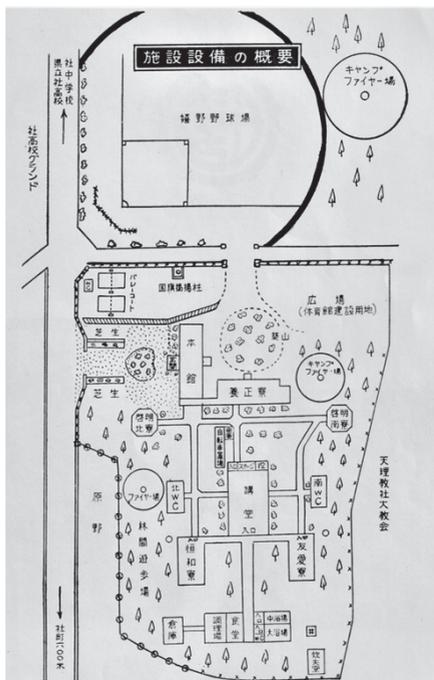
4. 昭和38年—嬉野公民研修所の配置図

2010年04月17日

昭和38年（1963）、兵庫県立嬉野公民研修所の創立20周年に記念誌が発刊されています。昭和18年、県立の学徒錬成場として設置され、戦後は公民研修所が変わって社会教育のセン

ターとして青少年、成人の公民教育施設として活用されました。

創立20周年の昭和38年(1963)といえば、私が小学校5年の頃です。松林の中に建物があり、野球場の外の松林の中にキャンプファイヤー場があったことを覚えています。当時発足したボーイスカウトに入団し、飯盒炊さんをこの松林で行ったこともよく覚えています。



現在は松林はなく、野球場は県立教育研修所に、公民研修所は建物はすでになく、時々臨時駐車場に使われているようです。周辺は道路が整備され、住宅が建ち並び、ずいぶん変わってしまいました。

20周年記念誌に当時の施設の配置図がありました。講堂や寮、ファイヤー場など記憶が蘇ってきます。

5. 県営嬉野学徒錬成場の記録

2014年10月16日

兵庫県立嬉野公民研修所「創立20周年記念誌」1963には、学徒錬成場時代の頃の貴重な記録や体験談などが記されています。

かつて公民研修所があった加東市山国2020番地辺りは、今

では、県立社高校や県立教育研修所、さらには加東市市役所の新庁舎も近くに建設され、教育や行政の中心になっています。



公民研修所跡地は、臨時の駐車場として使用されていますが、今から70年余り前、嬉野の原野であったこの地に学徒錬成場の建設が決定されたのです。その草創の頃の記録から、まとめてみました。

県立嬉野台生涯教育センターの前身は県立嬉野公民研修所。そして、その前身が県営嬉野学徒錬成場です。昭和16年(1945)の8月に「県営の青少年学徒に対する錬成道場建設」が決定され、知事と社町長との間で、建設用地の無償貸与契約が結ばれました。昭和17年には宮内省から小出侍従が建設状況の視察に差遣われています。昭和18年4月に第一期工事の完成落成式が挙行されました。

「錬成計画」では、滑空部、馬事部、機甲部、通信部、火砲部の5部が置かれ、グライダーの操縦技術や乗馬法技術、自動車運転技術、通信技術、各種砲の操作技術の習得が内容となっていました。

しかし、戦争が激しくなるにつれ、軍用資材の不足など計画の実行に事欠く状況だったようです。そして、18年の夏には、食糧増産に重点が置かれ、農耕訓練部が置かれて開墾作業が行われました。開墾作業のため動員された学徒の数は6760人、約1ヶ月で7町歩の開墾を完了したと記されています。(写真は八紘寮)

6. 嬉野学徒錬成場の一日

2014年10月17日

県立嬉野公民研修所（現県立生涯教育センターの前身）の『20周年記念誌』（1963）には、大東亜戦争中に青年学徒の錬成場として設けられた嬉野学徒錬成場のようすを知る上で貴重な寄稿文が掲載されています。

その中で、「錬成場の思い出」と題した多田正一（三代場長）の寄稿文の一節、「錬成の一日」には錬成場の一日のようすがよく記されていますので紹介します。

錬成の一日

太鼓の音で目を覚まし、太鼓の音で食事をとり、太鼓の音で課業につく。朝起きてから寝るまですべて太鼓の合図による日常で、錬成場の太鼓は軍隊の喇叭であった。第二回目の太鼓は朝礼である。一同本館前の国旗掲揚台の下に集合、「君が代」斉唱、国旗掲揚と厳粛そのものの朝礼にその日の錬成が始まるのであった。

日課の中心は滑空訓練で、数個の班に編成された訓練班の教育は往時の軍隊教育そのままである。場長である私は一日何回か班を巡視するのが常であたが、その都度部隊長同様の礼を受け答礼にまごついたこともあったと思う、今にして思えば滑稽の沙汰である。

日課の中には滑空訓練の外に開墾と農作業があった。これは当時の食糧増産という国策の線にそうて物、心両面の成果を意図したもので、創立以来2年ばかりで数千坪の原野が農場となり、小麦、馬鈴薯、甘藷等がつぎつぎに栽培され、地方の食料事情に聊かなりとはいえ貢献出来たことは嬉しかった思い出である。

さて、以上の訓練にしても、作業にしても平時と異なり苛烈な空爆下のことであったからその労苦は並大抵のことではなかった。B29の編隊が夜となく昼となく、又時には艦載機グラマンが突如燕のように飛来しては機銃掃射をするという始末で、幾度か心胆を寒からしめたものである。幸いに錬成場は難を免れたが、当時のことは今もありありと目に浮び身の毛のよだつ思いがする。

7. 嬉野学徒錬成場—公民研修所20周年記念誌より

2014年10月10日

書棚を整理していると、「嬉野」兵庫県立嬉野公民研修所の創立20周年記念誌（1963）が出てきました。昭和38年。私がちょうど10歳の時のものです。

記念誌に掲載された関係者の寄稿文の中に、公民研修所の前身、県営嬉野学徒錬成場の思い出が記されものがあり、当時の様子がよくわかります。



公民研修所は、その後県立嬉野台生涯教育センターとなり移転しました。跡地は県立教育研修所の西隣で臨時駐車場として使われています。今から70年余り前に創立された嬉野学徒錬成場の創立当時のことを伝える一文を紹介します。（写真は戦前のグライダーの滑空訓練のようすです）

初代所長として昭和17年（1942）に着任した勝原梧鳳氏の寄稿文から一部を紹介します。

五月十五日、畏くも小出侍従御差遣の光榮に浴し、愈々本格的に東播の各青年団、中等学校生徒数百名を日々動員して、総計七万四千名の尊い汗の勤勞奉仕によって広袤二十万坪の嬉野の原野を開拓し、建築落成をまって八月一日、県立嬉野学徒錬成道場として誕生、軍国絵巻の一端を飾ったのである。

～中略～

日に夜をついての猛訓練で、滑空、乗馬、機甲、開拓等の特殊訓練と、青年団並びに学徒の宿泊戦闘訓練、又は産業人の宿泊講習会等で朝鍛夕錬、真実に月々火水木金々の有様で、場員は緊張に緊張、僅か二、三名でよくあんなに無理な事かと思う程働き続けたものであった。従って、時には脱線や行き過ぎ等のこともあって、苦勞もし、地名にふさわしくない苦野であり、悲野であるなどの悲鳴も耳にしたが、今日依然として多くの人々の心に親しまれ記憶されていることを思う時、慚愧と共に又感謝せずには居られない。

～後略～

8. 昔学徒錬成場、今みらいこども園—嬉野の今昔

2019年10月06日

5日（土）、加東市立加東みらいこども園の運動会が行われました。今年4月に開園し、約240名の子供が入園し、今回第1回の運動会でした。

嬉野公民研修所の跡地は、



一時（昭和55年）、兵庫教育大学附属小学校の仮校舎に使用されたこともありましたが、長い間、県の管理の下に臨時駐車場などに使われていました。

この土地が加東市誕生の後、県から市に戻され（元々社町が公民研修所用地として寄付したものだ）、市役所用地などの案もあったのですが、最終的に市立こども園と防災広場として整備されたものです。

今から70数年前には県下の学徒が国防訓練やグライダー滑空訓練に励んだ嬉野が、今、こうしてふるさとの未来を担うこども園として新たな舞台に生まれ変わりました。園児たちの演技とそれを見守る保護者や家族の笑顔と声援に感慨一入でした。



9. 行軍訓練と滑空するグライダーの景色－嬉野学徒錬成場

2019年10月05日

嬉野学徒錬成場は大戦末期の昭和18年に竣工した、県下の青年学徒の国防訓練や技術訓練の拠点でした。

今日紹介するのは、松林の続く広大な嬉野高原を行軍する訓練生と空を飛ぶグライダーが同時に写ってい



る写真です。

70数年前の嬉野ではこうした風景があったのですねえ。現在では、一带に県立社高校、県立教育研修所、兵庫教育大学附属幼小、中、加東みらいこども園などの教育施設が集中しています。

今、私の記憶には、保育園の遠足でやってきた嬉野公民研修所の松林、ボーイスカウトでキャンプファイヤーをした研修所のグラウンド、教員になって3年目に赴任した附属小学校の仮校舎だった公民研修所の木造建物などの景色がよみがえってきます。

10. 嬉野台生涯教育センターの歴史①グライダー滑空訓練

2016年07月09日



7日(木)の午後、県立嬉野台生涯教育センターを訪れました。神戸新聞に同センターの歴史を物語る古い写真や資料が展示されているとの記事が掲載され、ぜひ見てみたいと思っていました。



耐震工事による改修で空いた本館の玄関スペースを活用して展示されており、公民研修所時代の看板やさらに前身となる県営嬉野学徒錬成場時代の貴重な写真がデジタル化され誰でも手

にとって見るができるようになっていきます。

公民研修所時代は、青年団や婦人会活動の拠点として、全県から青年らが集まり、弁論会や討論会にと熱い議論が交わされたとよく聞かされていましたが、当時の写真も紹介されており、よく知った方の顔もありました。

これらの資料はこれまでセンターの一角にあった八紘寮を模した建物「うれしの資料館」に収められていたものの一部で、今回はセンターを訪れる人が誰でも見やすいようにしようということで展示されたものです。

『社町史』によると、昭和16年（1941）に、兵庫県下の青少年学徒に国防訓練や航空技術の訓練をするために、県立嬉野学徒錬成場がつくられることになり、社高等女学校や青年学校の生徒が整地作業に出たそうです。実際、当時の地区文書には、住民の勤労働員の記録もあります。

錬成場は、昭和18年に竣工し、八紘寮もつくられました。昭和20年には滋賀海軍航空隊伊吹部隊に引き渡され、第一、第二播磨特攻隊、その支援部隊を含めて300人余りが嬉野にやってきました。伊吹部隊は開発中の局地戦闘機「秋水」に搭乗することになっており、そのための訓練を行っていたが、開発、実用化が遅れ、実戦に出動することなく敗戦を迎えたということです。

写真はグライダーの滑空訓練のようすです。上の写真でグライダーを操縦しているのは女生徒のようです。

11. 嬉野学徒錬成場の記録②—戦時の国防訓練

2016年07月10日

昨日に続いて、県立嬉野台生涯教育センターに展示されている、

同センターの起源でもある戦前の県営嬉野学徒錬成場時代の写真を紹介します。

昭和18年（1943）に竣工した錬成場では、県下の青年学徒が国防訓練や航空技術の訓練などを行いました。そのようすが写真に収められています。



女子学徒の訓練や八紘寮前の広場での訓練のようすが記録されています。この場所は現在は臨時駐車場となっています。

12. 嬉野学徒錬成場の記憶③—軍隊教育

2016年07月11日



先の大戦中（昭和18年）に嬉野高原（現加東市）に開設された県立嬉野学徒錬成場の歴史を記録写真によって知ることができます。

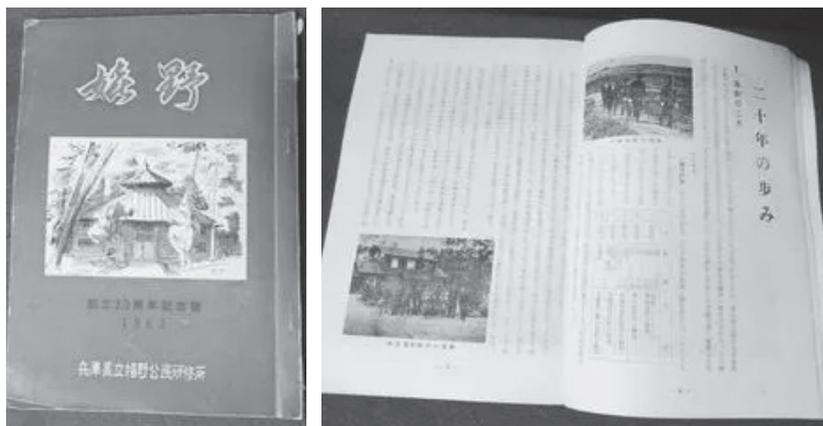
今、県立嬉野台生涯教育センターで、センターの前身の公民研修所時代、さらにその前身である学徒錬成場時代の歴史資料が展示、公開されています。

その記録写真を紹介していますが、今日は錬成場で行われていた国防訓練のようすを紹介します。

喇叭による行軍訓練、滑空訓練、そして食糧増産が主な日課だったと当時を回想した文集の記述がありますが、この写真は軍隊教育の行進訓練のようです。まさに何も無い荒野のような台地の景色ですが、そこをほふく前進するようすも写っています。

13. 私の参考書—「嬉野」(兵庫県立嬉野公民研修所)

2015年10月02日



今日紹介する冊子は、兵庫県立嬉野公民研修所（加東郡社町）の創立20周年を記念して編まれた記念誌で、昭和38年（1963）に発行されています。表紙には、懐かしい八紘寮（八角形の木造宿泊施設）のスケッチが描かれています。

公民研修所の前身である県立青年学徒錬成場は、昭和18年に設置されましたが、戦後、公民研修所が変わって社会教育のセンターとして青少年、成人の公民教育施設として活用されました。現在は嬉野台地の東部に移転し、県立生涯教育センターとして県の社会教育、生涯教育の拠点となっています。

公民研修所の跡地は現在臨時駐車場として使われています。昔

の面影は地形だけで、グラウンドは県立教育研修所に、そして周辺は住宅街になっています。

この冊子には、設置から草創期の貴重な写真や配置図、体験談などが掲載されており、この歴史ブログでも何度かその一部を紹介してきました。この20年誌が編まれた頃、私は10歳でした。社にボーイスカウトが誕生して、この嬉野公民研修所のグラウンドでキャンプファイヤーをやったことが今でも楽しい思い出となっています。

補1. 五峰山を背に下滝野桜ヶ丘墓地

— 軍人墓地と英霊供養塔

2021年08月15日

14日（土）午前、雨の中を加東市下滝野の知人を訪ね、その足で五峰山への坂道を桜ヶ丘墓地に向かって車を走らせました。

明日は76回目の終戦の日を迎えます。神戸新聞では昭和20年



7月にあった米軍機による下滝野空襲についての調査記事を連載しています。このブログでも父の日記に記された空襲の記述を紹介しました。

この桜ヶ丘軍人墓地については、この歴史ブログで平成28年（2016）5月8日投稿で紹介していましたが、下滝野にお住

まいの長谷川純子さんから「英霊供養塔」のことをお聞きし、調べてみたいと思っていました。しかし、軍人墓地にはそうした塔は見当たらなかったような思いもありました。

軍人墓地の少し上、五峰山の斜面に下滝野地区の桜ヶ丘共同墓地が広がっており、その下に駐車場があったのでそちらに車を進めると、何と墓地の北東の隅に小高い土盛りがあり、その上に石塔が建っているではありませんか。ああ、これが英霊供養塔かと思ひ、さっそく車を置いてお参りをしました。

階段を上り、台石の上に建てられた大きな石碑を見上げると、上部に「殉国英霊」、その下には「供養之碑」と刻まれていました。碑の手前の右側に建立経緯を記した碑があり、次のように刻まれていました。

この桜ヶ丘は多可加東加西の三郡の中心なり 昭和二十七年四月二十日一市三郡の英霊供養の為この地にて五壇護摩供を修す 尔来正に十五周年これを記念し日清日露第二次世界大戦の英霊六千余柱慰霊のため 茲に殉国英霊供養之碑を建立永く祀る

昭和四拾貳年四月貳拾日

願主 下滝野町建立

森岡司暁書

長谷川さんからは、この殉国英霊之碑の建立、桜ヶ丘墓地建設の経緯についてもお話を伺いました。この建立に尽力された長谷川さんのお父さんが除幕式で式辞を述べられたとのことでした。五峰山は三郡（現在の小野市以北の4市1町）のほぼ真ん中に位置します。光明寺へのお参りや五峰山麓の河高八幡神社の厄神祭

にもこの一帯から多くの人がお参りしたと聞いています。近代日本の礎となられた英霊6千柱の御霊供養の地として相応しい場所だと思いました。今日は雨雲が低く垂れ五峰の山も眼下の滝野の市街も煙ってよく見えませんが、終戦の日の前に英霊の御霊に導かれたような気持ちになりました。

補2. 東条川疏水の日シンポジウム

2018年11月26日



25日(日)、「東条川疏水の日」シンポジウムが兵庫教育大学(加東市下久米)の子午線ホールで行われ、東条川疏水ネットワーク博物館の関係者や地元の教育関係者らが参加しました。

「東条川疏水の日」は昭和26年11月23日に完成した鴨川ダムを記念して制定されたものですが、今年は25日にシンポジウムが行われました。

冒頭に東条川疏水の映像が紹介されたあと、主催者、来賓の挨拶があり、休憩のあと、3人の講演が行われました。

まず、兵庫教育大学大学院の南埜猛教授が「2020から始まる新しい教育と東条川疏水での取組み」と題して、新学習指導要領で示された新しい学習を地域資源である東条川疏水を題材にして学習することができる、とこれまでの実践をまとめた研究誌を紹介しながら話されました。

続いて、東条湖おもちゃ王国の橋本匡史総支配人が「東条川疏水を子どもたちの創造力が育まれるフィールドに」の題で、おもちゃ王国における就学前の子どもたちを対象とした遊び、体験をもとにした取り組みを紹介しながら、東条川疏水の大切さを広めていきたいと話されました。

続いて、神戸大学副学長でネットワーク博物館会議の内田一徳名誉会長が「東条川疏水ネットワークのこれまでとこれから」と題して、東条川疏水ネットワーク博物館のスタートからこれまでの取り組み、今後の方向性について、加古川流域全体を視野においた、持続可能な地域づくりの取り組みについて国の地方創生の取り組みを紹介しながら話されました。

東条川疏水が全国疏水百選に選ばれたのが平成18年、その後、北播磨県民局が東条川疏水ネットワーク博物館構想を進め、博物館会議が立ち上がり、道標やため池表示板の設置、疏水流域の歴史や文化の聞き取り、小学生を対象とした疏水施設の見学や出前授業、先生の研修など地道な取り組みが重ねられてきました。貴重な地域の宝の価値をさらに掘り下げ、広め、次の世代にしっかりとつなげていくこの疏水ネットワーク博物館の活動がさらに充実していくことが私達の世代の仕事だという思いを強くしました。

※追悼 南埜猛氏

東条川疏水ネットワーク博物館の取組みを教育者、研究者の立場から最初から深く関わっていただいていた南埜猛氏（兵庫教育大学大学院教授）が令和3年末に急逝されました。

折しも南埜先生の肝いりで、兵庫教育大学内に「地域教材開発室」が開設されることになり、そのオープンセレモニーが令和4

年1月5日に行われる直前のことでした。

南塾先生の志を地域の教育関係者が継承し、東条川疏水をはじめ、身近な地域にある歴史的文化的遺産や自然、人物などを教材として開発し、次の時代を担っていく子供達に伝えていってほしいと願うばかりです。

令和3年～4年の活動記録

令和3年5月～令和4年3月までの政治活動記録 —議会活動ブログ「百聞百見」より

1. 読売新聞インタビュー記事掲載

2021年05月06日

5日（水）、こどもの日で、5連休最後の日だったが、朝から一日中雨が降った。国旗を掲げることができず残念だった。

今日の読売新聞の朝刊の播州版に知事選のキーマンに聞くというインタビュー記事が掲載された。4月26日に受けたインタビューだったが、県内各地方版に掲載された。県議会の自民党議員団は、金澤和夫氏（前兵庫県副知事）

を推すとしていたが、これに不満をもつ11名の議員が齋藤元彦氏（元大阪府財政課長）を擁立し、保守分裂状態になったことについて、2つのグループの幹事長、但し私は26日に退任したばかりだが、インタビューの内容が掲載されたものだ。この非常時にはコロナ対策、県政をよく知り、議員団や自民党兵庫県連の選対委員会が推薦を決定した金澤氏が最適任とする私たち県議会自民党議員団（32名）と、ゼロベースで県政刷新を掲げる齋藤氏



を推す自民党兵庫（11名）の内藤兵衛議員の2人のインタビューだ。読者である県民のみなさんにこのように両者の見解を並べて選択の材料にしてもらう機会を報道が提供するの必要なことだと思った。

2. 6月議会に向け議運や議員団総会、緊急事態宣言延長

2021年05月07日

6日（水）、朝、忠魂碑、佐保神社、大師殿のコースを歩き、登校見守りにも立った。

登庁すると、連休の間に議員控室の間仕切り工事が行われていた。自民党議員団が44人から32人と減り、11人の新党派自民兵庫ができたために議員控室の割り振りが変わったためだ。さっそく机の引っ越しをし、仮席に落ち着いた。政務活動費や資産報告書などの書類も提出した。

午後1時30分から議会運営委員会が行われ、幹事長退任後も引き続き議会運営委員として出席した。6月議会の提出予定議案、会期、議席、代表質問、一般質問をはじめ、常任委員会、関西広域連合議会や競馬組合議員などの会派人数割り振りなどが協議された。

3時から自民党議員団総会が7階大会議室で行われ、議運の報告等が行われた。小西幹事長、浜田政調会長の新執行部となり、本格的に動き出した。その後も控室で地元課題について当局と連絡を取るなどし、退庁した。

今日、県は緊急事態宣言の延長を要請し、政府も5月31日まで延長する方針を固めた。変異型ウイルスの感染が続いており、これをしっかり抑え込む必要があるためだ。ワクチン接種も始まっているが、身近な所での感染の話も聞くようになった。変異ウイルスが50代以下の若年層への感染や重症化の傾向をもっている

るとの情報もあり、気を引き締めて感染防止に努めることが大事だ。

国会の衆議院憲法審査会で国民投票法改正案の採決が行われ可決した。停滞していた憲法審でようやく動きがあったというものの採決までに3年もかかり、しかも付則で施行後3年をめぐりに必要な法制度の措置を検討をするという立憲民主の修正案をのんでのこと。これをたてに立民はさらなる憲法改正への抵抗を考えている。日本共産党が「これは改憲への第一歩」と反対したが、その通り重要な一步である。今後は、改憲に向けた本格的な論議を二歩も三歩のしっかり進めていくことが国会議員に求められている責務だ。

3. 選択的夫婦別姓問題の記事

2021年05月09日

8日（土）、朝、忠魂碑、佐保神社、大師殿のコースを歩いた。曇り空の下、アオサギがせっせと巣へ小枝を運んでいた。

今日は一日、加東事務所で通信物の発送作業に集中した。また、夕方には県政資料シリーズⅧ集の原稿整理にも集中した。

デイリー新潮の5月7日にアップされた記事に選択的夫婦別姓問題があった。ジャーナリストの椎谷哲夫氏が書いたもので、「反対する人は人を不幸にしている・・・『選択的夫婦別姓』推進派の奢りはないか」という題で、推進派の国会議員や元官僚らがよく使う世論調査の結果すなわち、夫婦別姓を認める人が過半数であるという数字の見方に間違いがあり、実は夫婦同姓を認めている人の方が多いということや、推進派がよく言う「認めない人は、認めて欲しいと思っている人を苦しめている」といった言い方が当たり前のように使われていることに問題があると指摘している。夫婦同姓制度の下で旧姓使用はすでにほとんどの場合が認められており、実際に社会生活の中で行われている。選択的夫婦別姓へ

の反対は、別姓を選択しようとする人を苦しめるもので、誰も反対する理由がないように言われるが、実は同性を望む人も巻き込む形で今の家族の戸籍のあり方が変わることになり、また、子供の姓の選択で親の考えが違う場合は裁判所が決めることになるなど、複雑な問題を引き起こしてしまうことも想定されている。別姓の人が進んでいて、同性の人は遅れている、といった見方が新たな差別を生み出しかねないといった指摘もある。よくよく考えてみる必要がある。

今日の県下の新たな感染者数は568人。変わらず感染者は減らない。加東健康福祉事務所管内でも18人。

4. ウイグル問題、コロナ

2021年05月10日

9日（日）、県政資料シリーズⅧ集の原稿書きがほぼ終わった。自民党議員団ニュースの個人版一年回顧も作成した。午後はウイグル問題の本を読んだ。中国共産党によるウイグル人の弾圧はまさにジェノサイドだ。チベット、モンゴル、そして香港での弾圧に欧米諸国が抗議の声をあげている。ウイグル人は反日教育を受けても親日の気持ちは変わらなかった、という証言の背景に戦前の日本と東トルキスタン（今の新疆ウイグル地区）の独立支援の関係があるという。中国共産党の人権弾圧、武力による覇権拡大に対して私たち日本人はもっと大きな抗議の声をあげていくべきだ。

人が2人以上寄れば話題はコロナとワクチンだ。今日も県下で366人の新規感染者があり、加東健康福祉事務所管内（北播磨）でも24人が確認されている。感染拡大が収まる気配はないが、ここは気をひきしめていくしかない。

5. 谷公一自民党兵庫県連会長の会見に反論

2021年05月11日

10日(月)、朝、忠魂碑、佐保神社、大師殿のコースを歩いた。今日はビン、缶、ペットボトル、プラスチックなどの回収日とあって、各地区、町内会の集積場では係の人や持ち寄る人が出ていた。登校見守りに立つ。一緒に立っている人と聖火リレーのことが話題になり、町内会で観覧についての回覧が回ってきたらしい。北播磨県民局(県社総合庁舎)から社の市街を歩いて市役所へのコースを走ることになっており、その方はコースの道沿いの町内に住んでおられる。残念ながら緊急事態宣言の延長で中止になる公算が強いと話すと残念がっておられた。

事務所に寄ってから登庁。諸届を提出したり、同僚議員と情報交換をする。その中で、神戸新聞に自民党兵庫県連会長の谷公一会長が記者会見で、党本部が推薦した齋藤氏ではなく、金澤氏を推す自民党議員団の議員の「反党行為」は「黙認」し、知事選後の衆院選などの国政選挙では一緒にやれる、といった発言があったことが話題になった。

まず、我々県議会の自民党議員団が金澤氏を支援することを「反党行為」と呼ぶのはおかしい。金澤氏の推薦を決定したのは谷氏が会長を務める自民党兵庫県連の選挙対策委員会という正式な機関である。その決定を覆して、県選出の国会議員団が推す齋藤氏を党本部に上申したのは他ならぬ谷氏だ。議員団は兵庫県連の決定にもとづき、兵庫の自民党県議として金澤氏を支援しているのであって反党行為に当たらない。むしろでたらめな手続きで齋藤氏に決定して党本部に上申したのは谷氏であり、我々議員団は谷氏に正式に抗議している。次に処分は保留し、「黙認」とはということなのか。知事選挙では分かれても次の衆院選ではまとまって自民党候補を応援することが大事ということをお願いしたい

のだろう。知事選でもまとまって戦えばよいのにわざわざ県連決定とは別の候補を立てて分裂を引き起こし、日本維新の会が推薦する候補を上申して事態を混乱させたのは誰だったのかお忘れか。「知事なんて誰だっていいんですよ」「大事なのは（自民党議員）が衆院選で勝つことなんです」と自身の報告会で支持者に話した谷氏の本音だ。我々県議会自民党議員団は、この非常時に県政を担い、県民の命と生活を守り、ポストコロナ社会でかがやく兵庫を県民とともに一つにつくっていくには、副知事として、広い県土をもつ兵庫の県勢、県政の情勢や課題を熟知し、コロナ対策本部の事務総長も務め、その経験、資質、人格等最適任として金澤和夫氏を選び、出馬を要請した。そして、県連でも齋藤氏ではなく、大差で金澤氏が相応しいと決定している。県政の責任政党である自民党議員団として、自民党県会議員の県民への責任として金澤氏を支援していくことに揺るぎはなく、それが自民党员としての矜持である。ところで、自民党の県選出国会議員団がなぜ、県連決定の金澤氏ではなく、齋藤氏を推したのか。納得のいく説明が未だにないのはなぜなのか。「勝てる候補」「幅広く県民から支持が得られそう」「若さがあり、将来性に賭ける」などといった断片的な話は聞いたが、今この非常時にこんなあやふやな理由で日本維新の会の推す元大阪府財政課長を擁立したのか。これでは540万兵庫県民の命と生活を守り、この非常時を乗り切り、ポストコロナ社会でかがやく兵庫をつくることはできない。

6. ワクチン接種に期待

2021年05月15日

14日（金）、朝、忠魂碑、佐保神社、忠魂碑のコースを歩き、登校見守りに立った。

今日は月に一度の体のメンテナンス日ということで、加東市民

病院と診療所の2ヶ所で診察を受けた。その間に事務所で加東土木事務所から3年度の事業計画について説明を受けた。また、事務所の近くの団体事務所訪問、電話連絡なども行った。留守の間に県政資料シリーズⅧ集の初校稿が届いていた。週末の作業になる。

今日の県下の新規感染者は314人だった。200人台にはいかなかったが、減少傾向が見える。しかし、全国的に感染拡大が続いており、緊急事態宣言のエリアが広がっている。変異株の感染力の強さ、急な重症化、若年層とりわけ20代の割合の高さなど気がかりな点が多い。出会った高齢の方が、3日間ワクチン接種の予約電話をしたが繋がらなかったが、息子さんにweb予約をしてもらい、予約ができたと喜んでおられた。独り暮らしの高齢者にとっては予約も大変だ。感染防止に努めながら、ワクチン接種を迅速に行っていくことがコロナの抑え込みにつながる。それしかない。

7. 警察常任委員会や議員研修会など

2021年05月18日

17日(月)、朝から雨。合羽を着ての登校見守りになった。

9時30分頃には登庁。議員控室の改装工事も終わり、控室や会議室も少しコンパクトになったが、使い勝手がよくなった感がある。

10時30分、警察常任委員会が開かれた。6月議会に上程予定議案の報告、閉会中の調査事件の調査が行われた。人身安全に関する取組について、担当部長から説明があった後、質疑が行われた。私からは、児童虐待事案に関する警察の役割について質した。警察への通報が増加するなか、兇相との連携など警察の専門性も求められる。

午後2時から自民党議員団総会。議長はじめ議会役員選挙の候補決定に関して団内の選挙管理委員会から説明が行われた。その後、知事選挙に関して情報交換などを行った。

午後3時から超党派の議員研修会が行われた。テーマは性暴力被害者支援に関する取組について。県内のNPO法人によるこれまでの取組や今後の課題について報告があった。兵庫県の場合、病院を拠点とする型の支援グループが活動しているが、県や警察、さらには教育委員会などの連携を強めることで支援のワンストップ化を強めること、HPから相談することもできるようになっている。警察常任委員会でDVやストーカー被害に関する通報や相談に関する取組についても聞いたばかりで、24時間体制で行われている。

その後も同僚議員との情報交換などをして5時過ぎに退庁した。

今日は月曜日で新規感染者数が少なく出る日だが、120人と一気に減少した。楽観できないのは言うまでもないが、ワクチン接種と感染防止行動のセットで抑え込んでいきたい。

8. 自民党議員団総会で議長候補者に選出される

2021年05月22日

21日（金）、朝、雨が降り続いていた。合羽を着て登校見守りに立った。緊急事態宣言下でもこうして学校が開かれ、子供達は元気に通学している。



午前中は加東市内の関係者を回って、県政情勢の報告をした。午後登庁。さっそく警察本部から報告を受ける。2時から自民党議員団総会が開かれた。協議の主な内容は議会役員候補の選出だ

った。まず団内の選管委員長から報告があり、その後、副議長、監査委員、議長の選出が行われた。その結果、副議長候補に谷口俊介議員（神戸市西区・3期）、監査委員候補者に水田裕一郎（姫路市・3期）、議長候補者に私、藤本百男（加東市・4期）が選出された。また、常任委員会の正副委員長と委員、議会運営委員会（次期）の選出、団内の正副部会長、政策委員の選任等、今期3年目の体制についての人事が了承された。議会役員選挙については、自民党議員団が過半数を割っていることから情勢を見極めながら議員団として対応していくことが必要との認識で一致した。

終了後、控室で当局のやりとりを行ったのち、北播磨の同僚議員とともに金澤和夫後援会の事務所を訪れ、外回りから帰ってきた金澤氏を激励し、写真撮影を行った。

加東事務所に戻ると、金澤氏の後援会「共にかがやく兵庫の会」への入会者名簿が届いていた。政党の推薦は得られなくても広く県民の支持をお願いしていくという金澤氏への支援の輪が広がりつつある。共にかがやく兵庫、まほろばWith。

9. 6月議会の1週間前、議運や議員団総会など

2021年05月26日

25日（火）、朝、忠魂碑から佐保神社、大師殿のコースを歩き、登校見守りに立った。

今日は、6月1日に開会する6月定例県議会の1週間前の諸会議が行われるので10時過ぎには登庁。11時30分から自民党議員団内の東播淡路会が開かれた。東・北播磨と淡路の選出議員のグループで団内では一番数が多い。

午後1時30分から議会運営委員会が開かれ、6月議会に上程予定の補正予算案などの説明はじめ、代表・一般質問、議席、常任委員会構成などが協議された。

午後2時30分から自民党議員団総会が行われ、議運の報告や会派発の意見書案の協議などが行われた。

登庁議員らとの情報交換や地元課題で当局から報告を受けたり、金澤和夫氏の後援会「共にかがやく兵庫の会」との打ち合わせなどをし、5時過ぎに退庁した。

加古郡選出の岡つよし議員が収穫したタマネギの差し入れがあり、ありがたくいただいた。岡議員には去年ゴーヤもいただいた。

今日の県下の新規感染者数は136人だった。加東健康福祉事務所管内では久しぶりに感染者なしということだった。県では緊急事態宣言の延長を要請することになっている。

10. 金澤和夫氏と加東市内を巡る

2021年05月27日

26日(水)、朝、忠魂碑、佐保神社、大師殿のコースを歩き、登校見守りに立った。

午前中、金澤和夫氏と一緒に加東市内を巡った。兵庫県釣針協同組合では、土肥富夫理事長から直接推薦状をいただいた。地場産業が盛んな兵庫県。なかでも釣針生産では全国の90%以上を占めており、加東市をはじめ北播磨はその中心でもある。



金澤氏はこうした兵庫の地場産業の新展開、世界ブランドとしての発展をポストコロナの兵庫の躍動の柱と考えている。また、JAみのり協同組合では、神澤組合長から兵庫のことは兵庫が決めるのが原則だとの激励もいただいた。安田市長とはコロナ対策とりわけワクチン接種の迅速な実施について意見交換、小川市議会

議長、高瀬副議長、市議会議員有志の皆さんとも意見交換を行った。河高交流センターでは、地元の役員さんらにも今回のコロナに打ち勝ち、県民とともにかがやく兵庫をつくりあげていくことへの思いを語った。兵庫県東播土地改良区では、小池理事長と東条川二期工事の話題も出た。

夕方、加西市方面からの帰途、金澤氏と再び加東市内を回り、支援者と懇談。広い兵庫県だけにくまなく回るのは大変だが、精力的に多くの県民と出会い、声を伝え、声を聞く金澤氏の姿勢には兵庫への強い思いがにじみ出ている。

今日、県下の新規感染者数は140人だった。緊急事態宣言延長要請も行われ、対策本部会議も開かれた。28日には国の方針も出る。加東市ではワクチンの個別接種も始まるとのことだった。感染防止行動の徹底とワクチン接種の迅速な実施、そして協力金、支援金の迅速な支給。今はこれでコロナ収束へ向けて一丸となって取り組んでいくことが大事だ。

11. 加東子ども家庭センター

2021年05月28日

27日（木）、昨夜は皆既月食だったのに曇って見るができなかった。そして、今日は朝から激しい雨が降った。合羽を着て登校見守りに立つと、子供達の長い傘の列が学校道に伸びた。

今日は新たに開設されていた加東子ども家庭センターの看板設置セレモニーとセンターの案内が行われ、北播磨5市1町の首長、県当局関係者とともに出席した。



センターは、加東市下滝野の旧滝野町役場（合併後は市役所滝野庁舎として使用されてきた）の2階に設置されている。1階は加東アート館になっており、同センターの入り口はアート館とは別の建物北側に設置されている。

すでに昨年10月26日に明石にある県の中央こども家庭センターの分室として開設され、家庭支援業務を行ってきた。そして、4月1日から総務課、育成支援課が業務を始め、北播磨地域を管轄する加東こども家庭センターとしてスタートした。井戸知事揮毫の看板を設置したあと、所内で入江健康福祉部長、安田加東市長の挨拶、出席者の紹介があり、職員の皆さんに挨拶をした。その後、相談室やプレイルームなど施設を見学した。

新たに加東市と尼崎市にセンターが開設され、これで県の児童相談所は7センター体制、神戸市と明石市を加えて9センターとなった。年々増加する虐待相談や療育手帳の交付や更新など障害相談などに対応するとともに市町と連携を強めて、迅速かつ丁寧な対応を行っていくことが期待される。

午後には雨は上がった。夕方、事務所周辺に金澤氏と私の講演会告知ポスターを貼った。告知幟もできあがってきたので早速準備をした。

今日は県下の新規感染者数は162人。今日は聖火リレーは滋賀県のようなだ。

12. 三木市長選告示、播磨中央公園サイクルステーション

2021年05月31日

30日（日）、9時30分頃、三木市文化会館前へ。三木市長選挙が告示され、現職の仲田一彦候補の出陣式に出席し、同僚議員や支援者の皆さんと一緒に激励した。仲田氏は元県議会議員で同期だった。来賓代表で挨拶に立った井戸敏三兵庫県知事は一期

目の仲田市長の取り組みを評価し、さらに三木市が飛躍していくためにも二期、三期と続けさせてほしいと支援者に呼びかけた。これを受けて仲田候補は、子育てや産業の育成など5つの約束を示し、三木市を守る正しい志で市政に取り組んでいく決意を表明した。コロナ過の選挙ということもあり、近隣市町長からはビデオメッセージが届き会場で披露された。



午後、加東市内の各所を回り、道路工事の進捗状況等を目で確認した。また、播磨中央公園のサイクルステーションに立ち寄り、利用状況などを見学した。昨年7月に竣工した同ステーションでは、土曜日曜、祝日の利用が行われている。

緑が目にしみる五峰山の自然の中、爽やかな風も吹き、ステーションには家族連れで自転車の練習を楽しむ姿が見られた。神戸など都市部からサイクリンググループが訪れることも多く、加西市のグループが今日は京都方面へのロングライドに出ていったと聞いた。今年度、播中公園内のサイクリングコースの整備が行われることになっている。

今日の県下の新規感染者数は再び3桁の101人だった。戸外で密を避けて気分の開放をしようとする人が播中公園を訪れているのだろう。田圃では、田植え、田植えの準備で地区ぐるみで溝

普請のようすも見られた。6月に入るが、2桁、しかも2,30人というラインまで減少するようにと願うばかりだ。

13. 6月定例県議会開会 補正予算案 金澤氏公約発表

2021年06月02日

1日(火)、今日、第354回定例県議会が開会した。これに先だって、9時過ぎから自民党議員団の各部会集合写真の撮影、議会運営委員会、議員団総会が開かれた。

11時開会した本会議では、9日までの会期を決め、井戸知事が議案の提案趣旨の説明を行った。今日から緊急事態宣言の再延長に入り、感染拡大防止のための医療体制の強化やワクチン接種の推進、事業者への支援、収束後の経済回復対策、困っている県民への支援、行財政運営方針の見直しなど、1857億600万円の補正予算案、条例案などを提案した。

昼に2度目の議員団総会が行われ、代表質問、一般質問について提案、協議を行った。その後は控え室で執務。県政報告紙の校正、同僚議員との情報交換などを行い、夕方6時前に退庁した。

午後3時から金澤和夫氏が公約となる政策発表を行った。「私のめざす兵庫ー3つの重点目標よ県民との75の約束ー」と題し、兵庫県版CDC(疾病予防管理センター)の創設やポストコロナ社会での経済成長策、防災先進県づくり、どの人もどの地域も「みんながかがやく兵庫の実現」などを掲げている。「決意」の中で20年前に亡くなった障害をもつお姉さんのことにふれて、思いを語っていた。金澤氏の誠実さ、優しさのバックボーンにそうしたことがあるのだなと知った。

今日の県下の新規感染者数は112人だった。この再延長期間に何としても20人台程度まで抑えこみ、ワクチン接種を加速させたい。

14. 加東市内を回り、自民党支部幹事会に金澤氏も

2021年06月03日

2日（水）、朝、登校見守りに立った。緊急事態宣言中でも子供達は元気に登校している。

午前中に県政報告紙の最終校正を終え、印刷所に回すことができた。10日には発行の予定だ。議会事務局との電話や知人からの水道に関する電話相談も受けた。

午後は、市内の支援者を回り、久しぶりに話す機会となり、いろいろな相談も受けた。また、金澤和夫氏との講演会告知ポスターや幟の設置も進んだ。

夜には自民党加東市支部幹事会が開かれ、今後の支部活動等について協議が行われた。支部では、すでに金澤和夫氏の支援を決めているが、会議には金澤和夫氏本人が途中出席し、昨日発表した政策集「県民との約束」などにふれながら兵庫県と県民の命と生活を守っていく決意を語った。会議後、古参の幹事さんが、自民党議員団が金澤氏支援の経緯や理由を書いた討議資料を読んだ感想を話して下さった。そして、今回の混乱の原因がよくわかった。また、議員団の態度は正しい、しっかりやれとの激励の言葉もいただいた。

今日の県下の新規感染者数は104人。高齢者のワクチン接種が進んでおり、会話でも1回済んだ、2回目も済んでほっとしているといった話をよく聞く。個別接種も始まる。今は感染予防を徹底しながらワクチン接種を迅速に進めることがコロナとの戦いだ。

15. 代表質問日 井戸県政の評価など

2021年06月05日

4日（金）、朝から雨の天気。いつもより早く8時30分杉には登庁した。9時から議会運営委員会が開かれ、追加提出議案

の説明等が行われた。9時30分から自民党議員団総会が開かれ、議運の報告などが行われた。10時本会議が開議。緊急事態宣言が6月20日まで延長されたことに伴う時短、休業要請の協力金や酒類販売事業者への支援金などの追加補正予算案505億円余が上程され、井戸知事が説明を行った。

続いて、各会派の代表質問が行われた。午前自民党、県民連合、午後公明党、自民党兵庫、維新の会の順で質問が続いた。井戸知事最後の議会とあって、20年の総括や次期知事に求められるリーダーシップについての質問もあった。

井戸知事は150年の歴史に基づく、新たな兵庫モデルを創り上げていくときであり、変革と挑戦、県民の参画と協働をもって新時代を切り拓く、まさにまったなしの大事な時だと答えた。「五国の強み」という言葉を聞きながら、広い県土と地域的な違い、特徴は強みでもあるが、それらを活かして兵庫としてまとまりのあるものにしていくことは並大抵ではない。しかし、その「五国」を「強み」にしていくことが知事のリーダーシップの発揮しどころだと思う。コロナの収束、ポストコロナ時代の新たな社会づくりという大転換期にあって県政はまさに「まったなし」である。

今日の県下の新規感染者数は75人だった。20人台まで減らしていきたい。知事は「今度こそしっかり減らしていきたい」と呼びかけた。これまで何度も「正念場」という言葉を耳にしてきたが、ワクチン接種とあわせて今度こそコロナを収束させたい。

16. 一般質問日一次期知事に求められる資質とは

2021年06月08日

7日(月)、8時30分過ぎには登庁。9時から議会運営委員会、9時30分自民党議員団総会、10時本会議が開かれた。

今日は一般質問日。トップバッターは第一会派であるわが自民

党の重鎮、山本敏信議員（高砂市）。井戸知事とは終戦の年に生まれた同学年としてコロナ対策に日夜奮闘する知事への慰労から質問が始まった。1～4問までは、井戸知事20年を辿りながら、関西広域連合、参画と協働、行財政改革、社会基盤整備などの各観点からの質問が続き、5問目に「創造的な改革の絶えざる推進に向けて」、次期知事に求められる資質、覚悟について知事に質した。

井戸知事は、広い県土、五国の地域特性をさらに伸張させる「統合力、調整力、バランス力」、県民の夢の実現をめざす「行財政のセンス、まったなしの状況に対応する実行力、信頼、責任感と県政の熟知」が必要とした上で、「兵庫を愛するリーダーである」こと、「参画と協働を基調とする県政」が必要と答えた。何もなしどころからは創造も変革も生まれえないし、県民が望む安定した県政も実現できない。兵庫県と県民ががこれからのポストコロナ社会で共にかがやくために相応しいリーダーを選んでいきたい。

昼休憩時に自民党の総務・幹事会、引き続き議員団総会が行われ、同意人事案、議案、請願の態度について協議を行った。午後3会派の質問が続いた。

本会議終了後、議会事務局との打ち合わせ当局からの説明を受けるなどして、退庁したのは5時を回っていた。加東への帰り道の景色は、一気に田植え後の水景色に変わっていた。

今日の県下の新規感染者数は22人。月曜日は少なく出ると分かっているもほっとする。20日の解除後も段階的に緩めていく方向との知事会見もあったが、まだまだ気を引き締め抑え込んでいかなければならない。

17. 第124代議長に選出される—6月議会閉会

2021年06月10日

9日(水)、朝、9時前に登庁。10時議会運営委員会、10時30分自民党議員団総会が開かれた。

11時から本会議が開かれ、コロナ対策など緊急経済対策約2380億



円の補正予算案、条例案など17件を議決。次いで、知事から追加提案された監査委員、公安委員、収用委員の任命の同意を可決した。続いて、請願「中華人民共和国による人権侵害問題の解決を促し、日本政府に必要な措置を講ずることを求める意見書提出の件」を採択。次いで、「国産の新型コロナウイルスワクチンの実用化等を求める意見書」など8件の意見書を可決した。

昼の休憩時、自民党議員団総会。その前に今日の本会議傍聴の支援者の皆さんと議会正面玄関で記念撮影をした。

午後1時に本会議が再開され、春名副議長から原議長の議長辞職の意が伝えられ、ただちに議長選挙が行われた。その結果、私、藤本百男が71票(投票総数85、有効投票84、無効投票1、徳安淳子8、ねりき恵子5)で当選した。当選告知に続き、就任の挨拶を行い、春名副議長と議長席を交代した。続いて、春名副議長の副議長辞職に伴い、ただちに副議長選挙が行われ、自民党議員団の谷口俊介議員が44票(投票総数85、有効投票85、黒田一美33、内藤兵衛8)で当選し、谷口議員が就任の挨拶を行った。

続いて、議長席で議事を進行し、議会運営委員会の委員の選任、

常任委員会の委員の選任、議員定数等調査特別委員会の設置、委員の選任、関西広域連合議会議員の選挙、兵庫県競馬組合議会議員の選挙、兵庫県・神戸市調整会議構成員の選挙などを行った。

閉会宣告のあと、閉会の挨拶。そして、今議会が知事として最後の議会となる井戸知事の閉会挨拶があり、議会を代表して知事に花束を贈り、見送った。

本会議終了後、各会派への就任挨拶、県政記者クラブへの挨拶と会見、知事・副知事への挨拶を行った。一息つく間もなく、議員定数等調査特別委員会、議会運営委員会、各会派代表者会議が続いた。議長室への引っ越しや秘書課との打ち合わせなどを行い、退庁したのは6時頃だった。加東事務所に戻るとさっそく議長就任のお祝いのメッセージや花が届いていた。感謝感謝。

昨年度は自民党議員団幹事長としてコロナ対策の一年だったが、引き続き、緊急事態宣言下での議長就任となった。今度は議会を代表する立場で、コロナ収束に全力を傾けたい。また、ポストコロナ社会を見据えた兵庫づくりに邁進したい。

18. 議長引き継ぎや正副常任委員長会議 金澤氏事務所開きや地元商店連合会

2021年06月11日

10日(木)、朝の登校見守りに立った。一緒に立っている方から議長就任のお祝いの言葉と花をいただいた。子供達へのおはようの言葉にも力が入る。

8時30分、県庁に向かう。9時45分から議会事務局職員に就任あいさつ。数十名の大所帯で議会運営を支える組織である。続いて、議長応接室で原前議長、春名前副議長に全国議長会感謝状を伝達表彰し、引き続いて、引き継ぎを行った。議会改革やコロナ過の議会運営等、これまでの成果と課題、事務引き継ぎを行

った。

11時から、正副常任委員長会議が行われ、今年度の常任委員会の運営要領の確認やコロナ感染防止の下での活動のあり方などについて協議を行った。議会活動の重要な役割を担う常任委員会の活動もコロナのために制約が続いているが、管内調査は実施の方向で準備を進めることが決まった。

議長室で、豊岡市に開学した芸術文化観光専門職大学、新温泉町にある県立牧場公園の但馬牛博物館について、それぞれ担当部局から開学記念式典、増設オープン式典の説明を受けた。

午後、加東事務所で事務打ち合わせ。県政報告紙、県政資料シリーズⅧ集ができあがってきた。

3時30分から姫路市内で行われた金澤和夫氏の後援会の事務所開きに参加した。神事に続き、来賓挨拶、金澤氏の挨拶が行われた。コロナ感染防止対策で人数を限定して行われたが、出席した支援者からは熱いエールが送られた。



夜、7時30分から加東市社の商店連合会の役員会に参加し、ご挨拶を申し上げた。議長就任翌日の会だったこともあり、皆さんからお祝いの言葉をいただいた。商店街活性化に向けてポイントシール事業などに積極的に取り組んでいただいている。

19. 県政報告紙と県政資料シリーズを同時に発刊

2021年06月12日

11日（金）、朝の登校見守りに立つ。

午前、自宅で政務活動費支出報告書の作成や書類・資料の整

理。午後は事務所で事務整理。

4時にみのり農業協同組合の神澤組合長を訪問し、懇談。続いて、市内の支援者を訪ね、議長就任の報告をし懇談した。事務所には議長就任の祝電や花が届いた。感謝の気持ちでいっぱいだ。



県政報告紙「まほろばwith」第23号を発刊し、新聞折り込みをした。また、県政資料シリーズの第Ⅷ集も発刊した。この一年の自民党議員団幹事長としての活動をブログ「百聞百見」をもとにまとめたものだ。「教育あらかると」として加東市内の二宮金次郎像も紹介している。

今日の県下の新規感染者数は46人だった。

20. 加東事務所で一日 ウイグル問題の意見書

2021年06月14日

13日(日)、今日も曇りがちだった。午前は、事務所で新聞スクラップの整理。午後も事務所でウイグル問題の資料作成と、ほぼ一日を事務所で過ごした。午前に商工会関係者、午後に友人が訪ねてきてくれた。

ウイグル人への人権弾圧については、この6月議会の最終日(9日)に「中華人民共和国による人権侵害問題の解決を促し、日本政府に必要な措置を講ずることを求める」意見書を全会一致で採択した。今年の2月定例会(3月24日)でも、「中国政府に対する自由、基本的人権の尊重および方の支配が保証されるよう働きかけることを求める」意見書を採択している。昨年6月に米国

でウイグル人権法が成立し、今年1月には米国のブリンケン国務長官が「ジェノサイド」と表明し、さらに2月に英国BBC放送が新疆ウイグル自治区内の再教育の施設内で性暴力が行われていると報道するなど、国際的な問題となっているなか、日本政府の動きが鈍いとする声が高まっており、そうしたことを背景に今回の意見書採択となった。

地元の方から、県議会でこの意見書が採択されたというニュースを見て感動した、市議会でもそうした意見書を出せないか、との電話をいただいた。

今日の県下の新規感染者数は24人だった。加東健康福祉事務所管内は0人。土曜日の次の日曜日の数字は低く出るということにはわかっているが20人台まで減少した。気を緩めず、感染防止の徹底を。そして、ワクチン接種だ。

21. 加東のご当地バーガー「鮎バーガー」

2021年06月16日

15日(火)、朝の登校見守りに立った。毎朝観察している消防団詰所の赤色外灯の巣には2羽のツバメが入れ替わり入りしている。まだ抱卵中のようだ。



今日も加東事務所と自宅を往復しながら、事務整理や来客対応、電話連絡を行い、夕方から加東ライオンズクラブの委員会に出席した。緊急事態宣言中で例会が中止となるなか、3年度の活動についての原案づくりが主な議題だった。県政資料シリーズⅧ集を配った。このシリーズを楽しみにしてくれている会員もある。

会場は加東市上滝野の名勝闘龍灘に面した滝寺荘。宣言中のために会食はなく、滝寺荘新開発の鮎バーガーが配られた。闘龍灘は全国で一番早い鮎漁解禁でも知られ、鮎料理が自慢。料理長がコロナ対策として、鮎を使ったバーガーを工夫し、闘龍灘の岩場で食してもらえるようにと開発したと聞いた。帰宅してさっそく妻と半分ずついただいた。フライにされた鮎の頭と尾がバーガーから飛び出しそうで、ボリュームも野菜もたっぷり。木の芽和えが流れ、そして鮎が泳ぐ姿を彷彿とさせ、見た目も味も、さくさくといた食感もいい。これは新しい加東のご当地バーガーだと妻と話しが合った。

22. 3年度は文教常任委員会 日本会議北播磨の学習会

2021年06月17日

16日（水）、9時に登庁し、自民党議員団の総務会に出席。10時から3年度第1回目の常任委員会が開かれた。

今年度は文教常任委員会に所属した。教育委員会幹部紹介、3年度の事務概要の説明、継続事件調査が行われた。継続事件調査では、コロナ禍での教員の研修への影響と対応、「倫理観の涵養」の研修内容への要望、自主研修について質した。終了後、今年度の委員会の取り組み、特定テーマ等を協議し、終わったのは午後1時前だった。

午後、議長室で警察、議会事務局との打ち合わせを行い、その後、谷口副議長と神戸市役所へ。久元神戸市長に就任挨拶。三宮、元町再開発や道路整備などが話題になり、今後も県市協調で進めていこうと。

夕方、一時激しい雨になった。夜は加東で日本会議兵庫北播磨支部の6月例会が開かれた。今日は国際的な問題になっている中国によるウイグル人の人権侵害問題がテーマだった。ちょうど県

議会でもこの問題に関する意見書が採択されたばかり。問題提起のあと、出席者からの発言も相次ぎ、関心の深さが伝わってきた。

今日の県下の新規感染者数は34人。さらに抑え込んでいくことが必要だ。久元神戸市長との話でもワクチン接種が話題になった。7月中に高齢者接種が終わるように、私も集団接種の予約を個別接種に切り替える必要がでてきた。

23. 就任の挨拶回りや打ち合わせの一日

2021年06月18日

17日（木）、朝の登校見守りに立つ。今朝は晴れ上がり、まぶしいほどの日差しで、子供の中には日傘をさして登校する姿もあった。



9時30分頃登庁。政務活動費支出報告書（5月分）を提出。今日は、神戸商工会議所はじめ、神戸市内の各新聞社、テレビ、ラジオ各局の報道機関に議長就任のご挨拶に回った。サンテレビでは新社屋のスタジオなども見学させていただいた。情報通信技術・機器の性能の進化はめざましく、議会中継や発信などもより簡単に行えるようになればとの思いも持った。県庁では、議会事務局と県議会コロナ調整会議、議員互助会などの打ち合わせを行った。写真は議長室と議長室から見える梅雨の晴れ間の神戸の街並み。



夕方、加東事務所に戻り、事務整理や来客対応。我が家の田圃の田植えは済んだかなと見に行ったが、まだだった。

今日、県のコロナ対策本部会議が開かれた。現在発出中の緊急事態宣言は

20日まで。解除後の21日から蔓延防止措置対象地域とする方針が国で決まり、県では重点措置エリアを指定して、飲食店、酒類の提供などの時間短縮要請を行う方針のようだ。明日午後、県議会コロナ調整会議（各会派代表者会議）が行われる予定。今日の県下の新規感染者数は39人だった。

24. 県議会コロナ対策調整会議

2021年06月19日

18日（金）、朝の登校見守りに立った。観察を続けている消防団詰所のツバメの巣のようなくちの姿を見ることができた。一緒に立っている方とツバメの子と登校の子をも守る。

事務所でスケジュール調整などをしたあと、加東市民病院で定期検査と診察を受けた。いつもより外来患者が多いように思った。待つ間の知人との会話では、知事選挙や終活、ワクチン接種などが話題になった。

午後1時過ぎに登庁。議会事務局との打ち合わせの後、1時30分から県議会コロナ対策調整会議が開かれた。当局から昨日の対策本部会議での20日で解除とその後の蔓延防止重点措置の対処方針、感染状況等の説明が行われた後、各会派代表からの質問と答弁が行われた。時短営業、酒類提供の時間制限に対する協力金についての質問とともにワクチン接種、学校における夏場を迎えてのマスク着用と空調など熱中症防止への要望もあった。県下のインド（デルタ）株感染状況についても聞いた。

終了後も議会事務局との打ち合わせがあり、3時から自民党県連本部で開かれたの選挙対策委員会に出席。参院選についての協議だった。その後、元町の金澤和夫事務所を訪れ、しばらく懇談した。事務所内では、激ビラの準備が行われていた。

今日の県下の新規感染者数は37人。30人台が続いており、

20人、10人台への減少へとならないのがもどかしい。

25. 関西マスターズスポーツフェスティバル2021総合開会式

2021年06月20日

19日（土）、朝から強い雨が降っている中、神戸へ向かった。10時頃、県庁3号館向かいの県民会館到着。

10時30分から11階パルテホールで「関西マスターズスポーツフェスティバル2021」総合開会式が行われた。

これは、生涯スポーツ大会、ねりん交流大会、ふれあいスポーツ大会の総合開会式として行われたもので、会場には約100人の各競技団体代

表や選手が出席した。西上教育長の挨拶に続いて、県議会を代表して来賓挨拶。参加者代表メッセージや来年実施予定の関西ワールドマスターズゲームズのVTRも上映された。議長就任後、こうした会で挨拶をする最初の機会となった。

今日の県下の新規感染者数は18人だった。10人台に減少したことにほっとする。明日20日をもって緊急事態宣言は解除となり、21日から蔓延防止重点措置に移行する。とはいえ、インド株のことも警戒しなければならず、7月11日までの期間には、感染者数を0人にしていく努力を続けていくことが必要だ。そして、何よりもワクチン接種を加速させること。



26. 加東市内で金澤氏と語る会など

2021年06月22日

21日（月）、朝、社中央公園から市役所、百旗コースを歩き、登校見守りに立った。子供達はプール授業のバッグを持っての登校だった。

午前は、事務所で県政報告紙の最終校正や電話連絡、事務整理などを行った。

午後は、前副知事の金澤和夫氏と加東市内を回った。まず、加東シニアクラブ連合会の役員さんらと意見交換。写真で見るより、実物は若い、との感想も。次に、加東観光協会のある河高交流センターで動画撮影を兼ねて会長さんと観光振興について意見交換を行った。3時からは、加東市商工会館で、県商工政治連盟加東支部の主催で「かなざわ和夫さんと語る会」が催された。出席した約60名の役員、会員さんと意見交換を行った。安田加東市長も駆けつけ、工業団地などの地域課題について語った。主催者の藤井会長から金澤氏への熱い期待の言葉で締めくくられた。

引き続き、隣の会場で社商店連合会の皆さんとの意見交換会が行われた。出席者からはこれまでの商店街活性化への取り組み



と県の補助等についての意見が出されるなど、有意義な意見交換が行われた。

今日は、県下の新規感染者数は14人だった。月曜日は少ないが、明日以降も10人台、さらに一桁台へと減少していけばと思うばかりだ。

27. 関西広域連合連携協議会、諸会議の一日

2021年06月24日

23日（水）、朝の登校見守りに立ってから県庁へ。10時前には登庁。さっそく、兵庫ジャーナルの取材、産業労働部経営商業課の説明等が続いた。

12時30分、自民党議員団の臨時総会が開かれた。午後1時30分から関西広域連合連携協議会が開かれ、議長として進行を務めた。6月臨時議会についての協議であった。引き続き、議員互助会理事会が開かれ、これも議長が会長を務め、議事を進行した。その後、3時には神戸市会の坊議長、沖久副議長さんが就任の挨拶に来訪された。4時から今度はこちらも兵庫県医師会の空地会長へ就任のご挨拶に伺った。

ところで、2日前の新聞に日本陸上競技連盟の会長に尾縣貢氏の就任が報じられた。尾縣氏は加東市新町（旧滝野町）のご出身で、滝野中学校、小野高校、筑波大学で学ばれ、110メートルハードルや十種競技で全国優勝という輝かしい歴史を持っておられる。JOC（日本オリンピック委員会）の選手強化部長もしておられる。尾縣氏の帰郷の際に講演も聴かせていただいたり、何より亡きお父上の齊氏には、滝野東小学校や兵庫教育大学附属中学校の総合学習で講師を務めていただくなど、公私にわたり大変お世話になった。お母上は、「貢はとても忙しくて関西に来ても家に立ち寄る時間もないと言うんです」と話しておられたことを思い出す。

新町で育ち、田圃で走る、跳ぶ練習をした、との尾縣氏の話が今も印象に残っている。尾縣氏の陸連会長ご就任を心から喜ぶたい。

今日の県下の新規感染者数は22人だった。平日の人数としては確実に減少傾向だといえるが、やはりインド株の感染拡大が気にかかるので、蔓延防止重点措置の期間中は、気を緩めず感染防止スタイルの徹底に努めたい。

28. 自衛官募集相談員会東播連合会総会が今年も加東で

2021年06月27日

26日(土)、朝からどんより曇った一日だった。事務所に出たあと、加東市上三草の高室池の畔の「やしる会館」へ。

10時から自衛官募集相談員会東播連合会令和3年度の定期総会が行われた。昨年もこの会場で対面で開催された。小林勝弘会長の挨拶に続いて、末松信介参議院議員、県議会議員を代表して私が、そして久守直



紀青野原駐屯地司令が来賓挨拶を行った。今日は、県議会からは藤原昭一議員(小野市)、大豊康臣議員(加西市)が出席した。

加東事務所で、通信物の発送事務や整理をした。夕方には加東市連合婦人会の役員さんが来所され、県政資料Ⅷ集を贈呈した。話題は知事選挙に。来週木曜日は告示日だ。

今日の県下の新規感染者数は34人。去年の総会の行われた日は0人だった。1年経ってもコロナは収束していない。インド株やインバウンドが気懸かりだが、私たちがやるべきことは変わらない。

29. 県立教育研修所―未来の高校教育のあり方について

2021年06月29日

28日（月）、午後1時から加東市山国にある県立教育研修所で行われた「ひょうご未来の高校教育あり方検討委員会播磨東北部地区説明会」に北播磨選出の自民党議員団の3人の議員とともに出席した。

北播磨5市1町から、教育長、中学校長会代表、行政部門からの出席があり、県教委の説明を聞いたあと、意見発表を行った。各市町の実情や中学校の進路指導、地域と高校の連携などについて意見や要望が出されたあと、県会議員もそれぞれ意見を述べた。

人口減、少子在今后一層進むことから、県立高校の適正な規模と配置が現実的な課題となっている。ところで、今日の会場は耐震改修された県立教育研修所の体育室（ミニ体育館）で行われたが、こうした会合にも適した広さがあり、有効な活用の仕方だと思った。出席者の中に兵庫教育大学附属中の教員時代に教育実習で私の指導を受けたという校長先生からご挨拶をいただいた。あの頃の実習生が今では校長職になり頑張っておられることを知り感慨一入だった。

事務所に戻り、市議会議員さんらが来所。ワクチン接種や知事選などが話題になった。今日の県下の新規感染者数は4人。月曜日の数字で少ないとはいえ、5人以下の数字にもう一步と期待が高まる。加東市でも64歳以下の接種券が配布されており、事務所スタッフもさっそくウェブ申し込みをしたとのことだった。

30. ひょうご農林機構の第1回総会、県庁執務

2021年06月30日

29日（月）、朝、小雨ながら雨が降っていた。登校見守りの時点でも傘が必要だった。

11時前に登庁。地元要望や問い合わせの事案について、当局に問い合わせたり、要望する。議会事務局の議事課、調査課のレクを受け、来客の対応をする。



午後1時30分から県庁近くの兵庫県農業共済会館で行われた「ひょうご農林機構」の第1回社員総会に出席しお祝いを申し上げた。兵庫みどり公社と兵庫県農業会議が統合され、より機能を向上させて、農業の担い手確保や育成、農地の有効利用、農村地域づくり支援などワンストップで取り組んでいこうとするのが新しく生まれ変わった「ひょうご農業機構」だ。今後の積極的な取組を期待したい。県庁に戻り、事務整理をして退庁。加東事務所に戻り、来客対応などを行った。

夕方、県議会の自民党議員団、県民連合、公明党の3会派が知事への緊急要望を行った。酒類提供制限や飲食店への協力金等に関するものだった。

今日の県下の新規感染者数は25人だった。連続1桁台とはならなかったが、引き続き感染対策を徹底し、コロナを抑え込んでいきたい。

31. ワクチン接種や月末整理、まほろばWith 2 4号発行

2021年07月01日

30日(水)、朝、社中央公園から市役所、百旗墓地のコースを歩き、登校見守りに立った。立番している場所で観察しているツバメの巣の子どもが巣立ちしているのを見た。

今日、県政報告紙「まほろば With」24号を発行し、新聞折込をした。午前は事務所で月末の活動報告やHPトップページの写真作成など事務整理。午後は、加東市民病院で第1回目のワクチン接種を受けた。次回は3週間後。いつ注射の針が入ったのかも分からないほどあっという間に終了した。指定された時間まで病院に居たが、特に反応はなかった。



その後は市内を回り、講演会告知ポスターを撤去しながら、支援者を訪ね、県政資料シリーズⅧ集を届けた。今日の県下の新規感染者数は29人だった。南米で感染拡大している変異株、ラムダ株の名を報道で聞くようになった。

32. 兵庫県知事選挙告示一金澤氏出陣式で応援演説

2021年07月02日



7月1日(木)、8時過ぎには登庁し、同僚議員らと元町の金澤和夫氏の事務所へ。すでに多くの支援者や県議らの姿があった。また、出陣式が行われる大丸神戸店前の交差点には報道陣や支援者が傘やカッパ姿で待ち受けていた。

9時過ぎ、雨が降る中、出陣式が始まった。植村後援会長さん



の挨拶に続き、井戸知事、私、家次神戸商工会議所会頭はじめ、各界代表が次々と金澤氏の激励と応援を呼びかけた。そして、金澤和夫氏が決意と覚悟、めざす兵庫への思いを語り、集まった

多くの支持者らとゲータッチをして街宣に出発した。

いよいよ今日から17日間の選挙戦がスタートした。非常時、大転換期の県政の舵取り役を決めるきわめて大事な知事選挙だ。出陣式のあと、ある高齢のご婦人から声を掛けられた。金澤さんには何としても知事になってほしいの一念で、共にかがやく兵庫の会のチラシをポスティングさせてもらいました、とのお話だった。実はまだ自民党議員団の幹事長だったときに事務所にFAXのお手紙をいただいていた方だった。こうした方々の思いと行動が積み重なっていくんだという思いを強くした。

地元加東市では、自民党加東市支部の同志が金澤氏のポスターを貼って下さっている。自民党加東市支部ではすでに早くから幹事会で金澤和夫氏を支持することに決定している。

出陣式後は、県庁に戻り、議長室で議会事務局からの説明を受けたり、午後も全国都道府県議長会のオンライン会議の打ち合わせなどの公務をこなした。

加東に戻り、公営ポスター掲示板を見る。まだ貼っていない候補もある。広い県土ゆえにポスター貼りも容易なことではない。今日の県下の新規感染者数は32人だった。選挙もマスク着用とゲータッチ。

33. 芸術文化観光専門職大学の開学式―但馬初の県立4年制大学

2021年07月05日



4日(日)、朝には降っていた雨も止んだ。今日は、この4月に豊岡市に開学した芸術文化観光専門職大学の開学式が行われ出席した。

記念式典では、平田オリザ学長が挨拶の中でこの大学を豊岡の新しいまちづくりの拠

点にしたいと述べ、続いて、五百旗頭真兵庫県公立大学法人理事長が挨拶。来賓挨拶では、県議会を代表して私が挨拶し、続いて谷公一衆議院議員、末松文部科学相挨拶。最後に井戸敏三兵庫県知事が挨拶した。

開学式の2部では、記念講演と対談が大教室で行われた。五百旗部理事長が基調講演を行い、戦後の日本は価値の体系の時代に入っており、

芸術や文化、スポーツなどが希望の光となると述べた。対談では、平田学長と篠豊兵庫県立美術館長が美術館、芸術を軸とした街の再生、教育について語り、金沢市の21世紀現代美術館や欧米の美術館の取り組み、神戸の県立美術館の仕掛けなどについて紹介した。篠館長は、感性が鋭い小学4年生・10歳の子供達を美術館体験をさせるなど、美術館と感性を育む教育の大切さを強調した。

対談後、建物内を見学した。まだ1期生80人だけだが、やが



て、この豊岡から兵庫をはじめ日本と世界で活躍する人材が巣立っていくことだろう。会場では、中貝前市長にもお会いすることができた。

今日の県下の新規感染者数は27人だった。熱海市の土石流の被害のようすがテレビで報じられている。まさに山津波の恐ろしさを見せつけられる。必死の搜索が続けられ、誰かいませんか、と呼びかける搜索隊員の声が聞こえる。ただただ祈るのみだ。

34. 朝は県庁前で金澤候補の応援演説、夜は個人演説会

2021年07月06日



5日(月)、7時に家を出て8時過ぎには県庁前へ。金澤和夫さんの街頭演説が行われた。出勤途中の多くの人立ち止まり演説に聴き入っていた。私もマイクを握り、金澤氏応援のお願いを思いを込

めて訴えた。

自民党議員団の議員が次々とマイクを持って演説し、最後は井戸敏三知事が締めくくった。知事として、県民の命と暮らしを守ることは並大抵のことでなく、県政を熟知し、課題を把握し、自らのアイデアを施策として展開していかねばならない。他所の財政課長が突然その役回りを果たせるかは疑問だとし、金澤候補が部長や副知事として15年間兵庫県政に携わってきたことが今、その培った力量を県民の幸せのために発揮できると強調した。その通りだ。

その後は議長室で執務。11時には自民党議員団の臨時総会。

午後も議長室で議会事務局や当局からの説明などを受けた。

夜は、神戸市内で開かれた金澤候補の個人演説会に出席し、応援演説に立った。金澤氏は声を嚙らしながらも兵庫県への思い、県政課題、県民との協働で築く新しい兵庫の時代について熱く語った。会場からは「かなざわ頑張れ！」の激励が幾度となく飛んだ。

今日の県下の新規感染者数は13人。休み明けは少ないと分かっているけどもほっとする。熱海では懸命の捜索が続けられている。土石流の原因に上流の盛り土のことが報じられている。まだ梅雨の大雨を警戒しなければならない中、感染症と災害に強い社会づくりは重要な課題だ。

35. 全国都道府県議会議長会の委員会－オンライン会議

2021年07月08日

7日(水)、早朝から激しい雨が降り、ちょうど子供達が登校する時間帯も雨が降り、合羽を着て登校見守りに立った。5年生が自然学校に行っているが、雨の具合が気になる。



10時前に登庁。昨日搬入していた絵画3点を議長室の壁に掛けた。2点は加東市吉井在住の岸本詩音さんの作品で「縞馬とわたし」加東市公募美術展奨励賞、もう1点は「縞馬とヌーとわたし」兵庫ふれあいの森美術展佳作賞。縞馬とわたし(作者)の目が印象的な作品だ。そして、もう1点は、詩音さんの祖母の岸本尚美さんの作品「祭りの日に」で、加東市制10周年を記念して市内の太鼓屋台が勢揃いした時の私の姿を描いて下さったもの。議長席の後ろの壁に掛けさせていただいた。

11時から全国都道府県議会議長会のオンライン会議が行われ、午前は経済産業委員会、午後は農林水産環境委員会にオンライン出席した。新たに議長就任者の紹介が行われ、その後は、各委員会のテーマについて政府担当からの説明を聴取し、総会提出議案についての協議を行った。

その後、議長室で議会事務局との打ち合わせなどを行い退庁。

午後5時から加東市内の3ヶ所で金澤和夫氏の街頭演説が行われる予定だったが、直前に加東市域に大雨警報が発令されたため、街頭演説は自粛し、街宣に。しかし、滝野、社、東条の各地でそれぞれ短時間ではあったが、金澤氏の思いや政策に集まった市民の皆さんが聴き入った。

今日の県下の新規感染者数は36人。下げ止まりの感じだ。明日は県の対策本部会議が開かれる。

36. 姫路市での金澤氏街頭演説を応援

2021年07月13日

12日(月)の午前中、姫路市での金澤和夫氏の街頭活動の応援を行った。姫路市役所前での街頭演説、中央卸売市場での挨拶、各地区での街頭演説で応援。途中移動時には激しい雷雨にも遭ったが、演説時には雨も止んだり、小降りになるなど、多くの市民の皆さんが金澤候補の演説に聴き入った。金澤氏はコロナ対策、姫路市の持つ歴史や伝統文化の魅力、ものづくり、観光拠点としてのさらなる発展などを進めていくと力強く訴えた。地元姫路市選出の水田裕一郎県



議を中心に県議会の自民党議員団の議員が県下各地から応援に駆けつけ、姫路市民に金澤氏への支援を訴えた。

午後、加東で眼科の診察を受けた。空模様は一日中不安定だった。姫路市内では落雷で停電したのか、各所で信号が消え警察が出動していた。兵庫県の蔓延防止等重点措置が解除されたが、気を緩めず、感染防止に努め、コロナを抑え込んでいかなければならない。今日の県下の新規感染者数は17人だった。

37. 兵庫県功労者表彰式 金澤氏街頭演説を応援

2021年07月15日

14日（水）、登校見守りに立ってから県庁に向かった。朝から気温が上がり、もう夏を感じた。

10時30分頃登庁。11時に芦屋市議会議長、副議長さんの訪問があった。続いて、当局から飲食店等への新型コロナ対策応援事業についての説明を受けた。しっかりと感染対策をやっているお店等への支援をしっかりと進めていくことが大事だ。

午後2時から、県公館において、令和3年兵庫県功労者表彰式に出席し、県議会を代表してお祝いを申し上げた。5月の末に行われる予定が、緊急事態宣言や蔓延防止措置で延びたもの。公館大会議室には、22部門228名の受賞者のうち、187名の方が出席された。その中には、加東市の方も3名おられた。各部門毎に記念写真を撮り、終わったのは4時だった。



5時過ぎまで議長室で執務し、5時30分から県庁1号館前（北

側)で行われた金澤和夫さんの街頭演説会の応援を行った。仕事を終えた県庁職員や自民党県議、連合関係者等、金澤さんを応援する多くの人が演説に耳を傾けた。政党の推薦はつかなかったが、広く県民党の立場で戦いを続けている金澤氏に対して、がんばれ！の声があがった。

38. 金澤和夫氏の応援に—姫路駅前

2021年07月16日



15日(木)、朝の登校見守りに立った。もうすぐ1学期も終わる。その頃に梅雨明けとなり、本格的な夏を迎える。

午後に姫路へ向かった。夕方午後6時30分からJR姫路駅前で金澤和夫氏の街頭演説が行

われ、自民党議員団の同志らと応援を行った。



駅前では支援者や仕事帰りの人が足を止め金澤氏の演説に聴き入った。加東市からも支援者らが駆けつけ、金澤氏を応援する姿もあった。井戸知事、水田裕一郎県議(姫路市)が応援演説に立ち、最後まで強い支援を訴えた。姫

路での街頭活動は今日が最後となる。金澤氏は駅前に集まった約800人の聴衆に兵庫県の知事への決意、思いを語り、一人一人とグータッチをして回った。

今日の県下の新規感染者数は77人だった。

39. 文教常任委員会、県納税功労者表彰式、広報番組収録など

2021年07月17日

16日（金）、朝、また雨音がした。登校見守りに立つ頃には止んでいた。



10時前に登庁。さっそく議会議務局調査課の説明を受けた。10時30分から文教常任委員会が開かれ、

閉会中の調査事件として「高等学校教育の推進」について調査した。説明を受けた後の質疑では、スクールロイヤー制度、未来の高校教育のあり方検討会等について質問が行われた。

午後1時から県議会広報テレビ番組の収録が行われた。

2時から県公館において令和3年県納税功労者表彰式が行われ、県議会を代表してお祝いの言葉を述べた。出席者の中には、加東市の方も居られた。

3時過ぎから「令和4年度 国の予算編成等に対する提案」(案)について当局から説明を受けた。

今日は、知事選も大詰めとなり、新聞記者の取材が相次いだ。加東に戻り、夜は加東LCの委員会に出席した。

今日の県下の新規感染者は81人だった。80人前後が続いており、気を引き締めてかからなければならない。

40. 金澤氏街頭演説にかなざわコール!神戸元町、三宮

2021年07月17日

17日（土）、近畿地方の梅雨明けが宣言された。まぶしい夏の太陽と青空が広がったが、心地よい風も吹いた。

事務所と自宅で書類整理や連絡事務をしたあと、神戸に向か

った。夕方から神戸市の元町や三宮センター街で金澤和夫氏の街頭行動が行われ、街頭演説で最後の応援をした。



午後5時40分から大丸神戸店前で行われた街頭演説には、河田恵昭（よしあき）氏（人と防災未来センター長）、ナミねえこと竹中ナミ氏（社会福祉法人プロップ・ステーション理事長）が応援に駆けつけた。河田氏は兵庫の防災力を高めてきたこれまでの県政を高く評価し、これからも継承すべきで、金澤氏が知事に適任と強く訴えた。また、ナミねえこと竹中ナミ氏は、兵庫県のユニバーサル社会づくりの取り組みを評価し、金澤氏こそそうした心を持った知事候補と支援を訴えた。

午後6時40分から三宮センター街東出口あたりで行われた街頭演説には佐渡裕氏（芸文センター芸術監督）も応援に加わり、芸文センターを中心とした芸術文化活動こそ兵庫県民の豊かなところづくりの拠点になっていると県の取り組みを評価した。

午後7時30分から最後の街頭演説が大丸神戸店前で行われた。防災、福祉、芸術文化の分野で活躍する3氏の金澤氏への応援は、多くの聴衆や支援者の心を揺さぶるものだった。金澤氏はこうした選挙活動こそこの選挙戦でめざしてきた広く県民の皆さんに支援を広げていきたいという県民党の立場での選挙の姿だったと述べ、大切に継承すべき兵庫県のよき県政と改革を進めていくべき課題があるとし、「継承か刷新か」といった単なるスローガンは争点にならないと具体的な政策、内容が問われなければならないと強く訴えた。

県民目線の優しい人柄、明確な政策提起で確かな政治的見識を

持つ金澤氏への支持が日に日に高まるのを実感した選挙戦だったが、その仕上げの街頭演説になったと実感した。

41. 金澤知事ならず

2021年07月19日

18日（日）、兵庫県知事選挙の投開票日。朝から墓掃除に。そして、投票所へ。

午後、激しい雨が降った。夜、神戸市内の金澤和夫事務所へ。午後8時に事務所前で「齋藤氏当確」を集まった支援者から聞いた。

しばらくして金澤氏が姿を見せ、敗戦の言葉を語った。事務所の外でそれを聞いた。集まっていた同志の県議等をはじめ後援会、支援者の方々と言葉を交わすが、残念の思いがこみ上げるばかりだった。共に金澤氏を応援して下さった方々からもメールが届いた。「兵庫をしっかりと守って行って」という激励をいただき、感謝とその思いに伝えていかねばと気を入れ直した。

42. ひょうごユニバーサル社会づくり賞贈呈式、みんなの声かけ応援協定締結式

2021年07月21日

20日（火）、11時前には登庁。議会事務局との打ち合わせなどを行った。

午後1時から県公館において「ひょうごユニバーサル社会づくり賞贈呈式・みんなの声かけ応援協定締結式」が開催された。



さまざまな活動で、ユニバーサル社会づくりに取り組んでい

るグループ・個人・学校・企業などに賞が贈られた。式ではお祝いの挨拶と、議長賞の授与を行った。また、応援協定締結式では困っている人への声かけを行っていこうという趣旨に賛同した団体や学校、企業と協定を結んだ。声かけ運動は、特にコロナ禍の中、そのその必要性は高まっている。式後は記念撮影を行った。



今日の県下の新規感染者数は129人。明日はワクチン接種の2回目。

43. 夏休み、女子ソフト快勝スタート、ワクチン接種

2021年07月22日



21日（水）、今日から加東市内の小中学校は夏休みに入った。登校見守りもしばらくお休みだ。写真は終業式の日の朝。

そして、東京オリンピックの開会式に先立って、女子ソフトボールの試合が行われた。上野選手が投げ、ホームランも出てコールドゲームでオーストラリアに快勝した。また、夜には女子サッカーなでしこジャパンが強豪のカナダと引き分け。無観客は残念だが、選手の澁刺としたプレーに日本国中が声援を送ったことだろう。

今日は加東市民病院でワクチン接種の2回目を受けた。1回目

は副反応もほとんどなかったが、2回目は発熱やら腕が上がらないなどの反応があるかもと聞かされていた。7月中には市内の65歳以上の高齢者接種が終わる。今は59歳から54歳までの接種が行われている。すでに12歳以上の市民に接種券が送られており、ワクチンの配送があり次第、順次接種が行われることになっていると聞いた。

今日も県下で120人の新規感染者が出ており、第5波の兆しははっきりしてきたとの警戒呼びかける北播磨県民局からのメールも配信された。クーラーの部屋での換気、密を避ける、このことを特に気を入れて励行したい。

44. 日本会議兵庫の講演会－ウクライナの轍を踏むな

2021年07月23日



22日(木)、朝から真夏の日が差している。ワクチン接種2回目の副反応は注射したあたりを触ると痛いぐらいで腕も上がるし、熱も出なかった。少しだるさを感じるぐらいだった。

昼には湊川神社に。今日は日本会議兵庫の第22回記念総会・講演会が同神社会館で開催された。

1時30分から講演が行われた。講師はウクライナ人のナザレンコ・アンドリー氏で「自由を守る戦い－日本よ、ウクライナの轍を踏むな！」の演題で、ウクライナがソ連、ロシアに侵略された歴史の体験をもとに、今の日本の状況が当時のウクライナに酷似していると、警鐘を鳴らした。国の独立を守る意志、覚悟がなければいとも簡単に侵略されてしまう。そのことに日本人は気づ

くべきで、憲法改正の必要性を強調した。

講演後、総会が行われ、兵庫県議会日本会議議員連盟会長として挨拶をさせていただき、6月議会において、ウイグル問題の調査実施を求める意見書を全会一致で採択したことなどを報告した。総会には議連の議員も多数出席した。

ナザレンコ氏の著書（講演の演題と同じ題：明成社）にサインを貰った。氏はウクライナ語、ロシア語、英語、そして日本語が達者で、密度の高い講演内容だった。日本文化や神道にも造詣が深く、なんと古事記をウクライナ語に翻訳し自費出版されている。その民族、国民のアイデンティティをしっかりと持つことが侵略への抑止力になるとも語っておられた。

夜のニュースで女子ソフトがメキシコにサヨナラ勝ちをし2勝目をあげた。サッカー予選も南アに勝った。いよいよオリンピックが開幕する。テレビで観戦し応援するしかない。今日の県下の新規感染者数は149人だった。感染者数が明らかに増えている。

45. 東京オリンピック開幕

2021年07月24日

23日（金）、今日も厳しい暑さの一日だった。

東京オリンピックが開幕した。昼間のブルーインパルスによる首都上空の五輪は、夏空にくっきりとは見えなかったが、小学校5年生の時のあの秋空に描かれたカラー五輪



の輪が蘇ってきた。あの時は入場行進を学校の校長室の観音開きのカラーテレビで観た記憶がある。

夜、テレビで開会式を観た。無観客でなければ歓声や拍手が沸き起こっている場面だろうなどと思いながら観た。日本選手団の入場では、国旗の旗手、八村塁のあとに尾縣貢氏（総監督・加東市出身）の姿が見えた。聖火台の工夫にも驚いた。これから17日間、選手の活躍に声援をおくりたい。

夏の高校野球の兵庫県予選も5回戦。社高校が準々決勝へと駒を進めた。沖縄県には台風6号が居座っている。東の南海上に台風8号が発生しているのも気懸かりだ。

46. 阪神・淡路大震災からの 復興を支えた復興基金感謝のつどい

2021年07月27日



26日（月）、朝、田圃を見に行く。炎天が続き、中干しの状態になっている。

10時前に登庁。

午後は県公館で開催された「阪神・淡路大震災復興基金感謝のつどい」に出席

した。震災からの復興を支えた基金が7月末で解散となることから今日の感謝のつどいが開催されることになったもの。井戸知事は挨拶の中で、基金創設の経緯や意義、運用などについて述べた。続いて、兵庫県立大学の室崎益輝教授が復興基金の役割、成果、課題などについて講演を行った。自由に弾力的にきめ細かく使うことができた復興基金を高く評価し、今後起こる南海巨大地震に対する備えとして次なる準備が必要だと述べた。

議長室で来客対応。4時から県連本部で党紀委員長の個人聴取を受け、5時前には退庁した。加東事務所に来客があり、話が弾

んだ。兵教大附属中の教え子で、時折り事務所に報告や相談に訪れてくれる。

47. 兵庫県町議会議長会定期総会で祝辞

2021年07月29日



28日（水）、10時前に登庁。さっそく警察本部、議会事務局から告を受けた。

11時30分には兵庫県体育協会の幹部が来室された。オリンピックでの阿部兄妹や女子ソフトボールの活躍なども話題にのぼった。

続いて、加東市東条地域の松沢地区の酒米をつかった日本酒「松沢」（M A T T A）をつくり、ふるさと活性化に取り組んでいる藤原氏と懇談。彼のふるさとへの熱い思いがこの酒に込められている。

午後1時30分、神戸市内で開催された兵庫県町議会議長会の第72回定期総会に出席し、お祝いを申し上げた。総会では、自治功労賞や広報コンクールの表彰式が行われた。県下には12の町があり、正副議長が出席し、総会協議、研修が行われた。

夜、自民党加東市支部の幹事会が行われた。知事選挙の総括や今後の支部活動などについて協議が行われた。今日の県下の新規感染者数は254人で昨日と変わらず急拡大している。県の対策本部会議が開かれた。明日は県議会コロナ調整会議が予定されている。

48. 県議会コロナ調整会議(県庁)、 建設常任委が北播磨へ(加東)

2021年07月30日



29日(木)、10時30分には登庁。議会事務局と打ち合わせを行い、11時から県議会コロナ対策調整会議が開かれた。昨日開催された県の対策本部会議の報告を受け各会派代表による質疑が行われた。

県は蔓延防止等重点措置を国に要請し、対象地域を阪神・神戸市から姫路市に至る市町に拡大するとしている。感染状況については、第4波を超える急拡大が見られ、30歳代から下の若い世代への拡大が顕著となっている。医療体制については感染拡大期1に相当する病床や宿泊療養を確保し、急拡大に備えることとしている。また、飲食店への協力金支給や各店の一層の防止対策への取り組みを推奨し補助を行うとした。

高齢者施設等でのクラスターは減少している。一方で若い世代にいかに関感染防止を周知するかが課題で、大学等への要請も行う。蔓延防止等重点措置が解除された後も県独自の感染リバウンド防止対策がとられているが、なかなか周知が図られていない。

午後3時過ぎから県社総合庁舎で県議会建設常任委員会の東播・淡路地区の管内調査が行われ、地元議員として出席し、挨拶を行った。一日で管内の洲本、加古川、加東の3つの土木事務所を回り、調査を行うハードな行程で行われた。これもコロナ禍の感染防止等による制約のため。本来なら2日をかけ、現場での調査などを行いながら実施されるが、昨年に続き、短縮型で行われ

た。説明のあとの質疑では、県立播磨中央公園のリノベーション計画や通学路の安全確保などへの質問、要望が出された（写真）。

49. 井戸知事退任挨拶 議員定数等調査特別委員会

2021年07月31日



30日（金）、今日も朝から蒸し暑い一日だった。9時50分には登庁。さっそく、企画県民部から県のデジタル化の取組について説明を受けた。続いて、議会調査課と来週予定の高校生員インタビュー

について説明を受けた。さらに議事課とコロナ調整会議の打ち合わせなどを行った。

午後2時20分頃、今日が最後の登庁日となる井戸知事が退任の挨拶に来室され、谷口俊介副議長、原テツアキ議運委員長と3人で迎え感謝を申し上げた。記者会見や職員への挨拶、さらに午後5時を過ぎてからのコロナウイルスの県対策本部会議と最終日まで過密スケジュールの井戸知事だった。

午後3時から議員定数等調査特別委員会が開かれた。第2回目となる今日は、関係基礎資料の説明、定数および選挙区等の現状についての説明が行われた。

今日の県下の新規感染者数は265人。若い世代が多い。行政や若い人の危機認識が薄いと指摘がある。ある医療専門家が言っていたが、若い人は日頃から病気、特に肺炎にかかったり、病院にかかる経験が少なく、そうしたことからコロナを軽く受け止めてしまう傾向もあるのでは、ということだった。確かにそうし

たこともいえるかもしれない。いずれにせよ、ワクチン接種を促進し、感染防止行動の徹底を呼びかけることが今できることだ。

東京五輪。柔道の素根選手、フェンシング、5000メートルの田中選手・・・その奮闘に心が躍った。

50. 地方議会協議会でデジタル化やポストコロナの観光振興等の意見交換

2021年08月03日



2日(月)、8時過ぎには登庁。9時から自民党県連で党紀委員会に出席した。途中退席し、9時30分過ぎに議事課と打ち合わせをし、10時から県議会コロナ対策調整会議(各党派代表)に出席。

今日から措置が適用された蔓延防止等重点措置による県の対策の具体的な内容について説明を受けた後、質疑が行われた。県民意識に立った説明、感染の症状等についての正確な情報、特に若い世代への発信の仕方等について各議員から要望が出された。

12時過ぎ、昨日就任した齋藤元彦知事が挨拶に来室された。直接言葉を交わすのは初めてだった。谷口副議長、原テツアキ議運委員長も同席。コロナ対策など緊急事態の中での船出となったが、共に県民の命と暮らし、県の発展のために汗を流していきましょう、と呼びかけた。

午後1時30分から令和3年度の兵庫県地方議会協議会が開かれた。去年はコロナのために開催されなかったので2年ぶりの開催となる。市議会議長会、町議会議長会の代表とデジタル化の推

進やポストコロナを見据えて観光振興などについて意見を交換した。基礎自治体としての取り組み、その中での諸課題について、オンライン出席の市議会議長さんも含めて有意義な意見交換の場を持つことができた。

蔓延防止の初日の新規感染者数は165人。感染力が非常に強いデルタ株による急拡大が続いている。加東まで戻ると、市役所近くの県道で交通事故があったようで警察車両が出て処理していた。その後、ドクターヘリが現場近くから飛んでいくのが見えた。重大な人身事故だったのか、と思った。

51. 警察常任委員会が北播磨5署の調査

2021年08月04日

3日（火）、明け方から激しい雨、雷に見舞われ、7時から8時にかけてピークとなった。猛暑が続いていたので雨が降ったのは嬉しいが、警報レベルとなると今度は心配になる。



午後1時から小野警察署で警察常任委員会の管内調査が行われ、地元議員として出席した。コロナ禍での常任委員会の調査は2年目となり、東播淡路地区と一部神戸市の13警察署の調査を1日で行うという厳しい日程での実施になった。

北播磨の小野、西脇、加西、三木、加東の5署の調査が小野署の武道場で行われた。各署長から、特殊詐欺対策、高齢者の交通安全対策、市民への広報などについての取り組みや課題についての報告あり、委員からは、ヤード対策、女性警察官の状況などについての質問が出された。

午後6時から加東ライオンズクラブの例会に出席した。メンバーズスピーチでは、寺院の住職をしている会員がお盆や地獄などについて日本人の考え方について興味深い話をされた。

今日の県下の新規感染者数は441人。まさに感染急拡大だ。加東健康福祉事務所管内でも若い世代の感染者が多く出ている。また、県会議員1名が感染、軽症との報告を受けている。

52. 各会派政調会1日目

2021年08月06日



5日(木)、9時過ぎには登庁。9時30分から、令和3年度の各部局の重要施策の進捗などを調査する各会派政調会が始まった。感染防止のため、昨年につき、7階の大会議室で行われ、昼休

憩をはさんで、企画県民部、農政環境部、健康福祉部、県土整備部、企業庁、病院局の順で調査が進み、終了したのは午後5時10分だった。

今日の政調会でもコロナ対策等について議員からの質問が多く出た。今日も県下で459人の新規感染者が出て感染拡大が続いている。

オリンピックも残り僅かとなった。女子レスリングの川井姉妹の金メダル、卓球女子の銀メダル等々、今日も日本選手の活躍ぶりに心が躍る。負けて悔しい思いもあるが、ここまでこれたことは多くの人の支えがあったからこそと感謝の気持ちを述べる選手にまた拍手。台風が3つも発生し日本列島に接近しつつある。コ

ロナ、猛暑、台風。感染症と自然災害に負けない強い日本をつくらねば。

53. 自民党兵庫県連「大会に代わる総務会」

2021年08月08日



7日(土)、午前は、事務所と自宅で女子マラソンをテレビ観戦しながら仕事。11時30分頃、自民党加東市支部の役員さんらと神戸に向かった。

午後2時から神戸市内のホテルで、自民党兵庫

県連の「大会に代わる総務会」が開催された。

去年に続き、コロナ感染拡大防止のために県連大会に代わる総務会となったもの。大会では、齋藤新知事が来賓として出席し挨拶した。また、秋に選挙を控える久元神戸市長も挨拶を行った。次に優秀党員表彰が行われ、加東市支部からも2名の党員が表彰を受けた。

役員改選では末松信介参議院議員が新会長に、藤田孝夫県議会議員が幹事長に就任するなど新役員人事が決まった。私は組織委員長になった。議事の終わりに会場から分裂選挙となった知事選で金澤氏を応援した県議等への処分が甘いのではないか、との発言が出された。谷前会長、守屋党紀委員長が答弁に立ち、処分についての経緯や判断について、衆院選に向けて一緒にやれるようにとの二階幹事長の発言を紹介しながら答えた。処分は対象者に対して今日付の文書で発送したことも発表された。会場からの発言はこれ一つだけだった。

今日、県下の新規感染者数が503人。オリンピックでは野球で見事に金メダルを獲得。女子ゴルフやレスリングでも日本選手が活躍した。

54. 東京オリンピック閉幕

加東の夜空にコロナ克服への花火

2021年08月09日

8日（日）、事務所で政務活動費関係書類の作成、新聞スクラップなどの整理を行った。

男子マラソンで日本の大迫選手が6位入賞の力走を見せてくれた。今月21日の加東市高齢者大学の講演の準備が少しだけ進んだ。今日から滋賀県の孫たちがやってくる予定だったが、コロナ感染拡大のためにやむなく取りやめた。今年のお盆は盆踊りなどの地区行事もなく、家で静かに先祖の霊をまつり、あとは本を読んだり、家の中の片付けをして過ごすことになりそうだ。



午後には、加東ライオンズクラブがコロナに打ち克とうとシークレット花火を企画し、その準備、警備作業にあたった。台風の影響で雨や風が心配だったが、それもなく、午後8時から15分ほどの短い時間に150発の花火が上がり、轟音とともに夜空に美しい光の花が開いた。事前告知をしないシークレット花火だったが加東市社の中央公園のステラパークや社交番交差点の辺りには、若い人や家族連れの人が夜空を見上げて歓声をあげていた。

東京五輪の閉会式が始まり、兵庫の加東では花火があがった。久しぶりに見上げる花火に心も広がった。この日を記憶に残しておきたい。写真は、交番辺りで警備に立ちながら撮したもの。

台風10号は関東方面に接近しながら東の太平洋へ。9号が九州に接近し、明日は中国地方から日本海に抜けようとしている。コロナ感染症と台風。その中でオリンピックをやり遂げる。何ともすごい国だ。今日は県下の新規感染者数は450人。今日の花火を契機にまた明日から頑張る。

55. 兵庫県新規感染者一気に700人超え 県議会コロナ対策調整会議

2021年08月13日

12日(木)、早朝に激しい雨音で目が覚めた。その後も一日中、降ったり止んだりの天気が続いた。隣の消防団詰所のサイレンが突然鳴り出した。何度も繰り返すその音に思わず外へ出てみるが、消防団に動きはない。どうも誤作動のようだった。

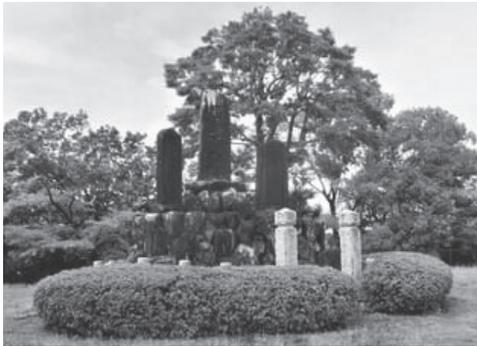
午前にお寺さんがお盆のお参りに回ってこられ、仏壇にお経を上げていかれた。雨の中の檀家回りは大変。

午後4時登庁。議会事務局との打ち合わせや新県政推進室長の挨拶があった。5時15分から県のコロナ対策本部会議を受けて、県議会のコロナ対策調整会議(各会派代表)が行われた。今日の県下の新規感染者数は728人。驚いた。一気に100人以上増えて過去最多の700人超えとなった。そうした状況に対して、京都府とともに緊急事態宣言の要請を政府に行うこともあるなどの予想が報じられていたが、県は見送ることにし、蔓延防止等重点措置のエリア拡大(但馬を除く)を行うことになった。また、感染特別拡大のステージに合わせ、入院体制を拡充することになった。また、昨日、自民党はじめ5会派による知事要望を受

け、県内酒販関係者への支援の上乗せなどが説明された。質疑では、感染急拡大状況に対し、緊急事態宣言の要請をすべきではないか、蔓延防止等重点措置の趣旨からも県全域で考えるべきなどといった意見が出た。県は要請について国との協議を検討していくとのことだった。蔓延防止のエリア拡大措置は16日から今月末まで。

56. 76回目の終戦の日ー青空が広がり忠魂碑へ

2021年08月16日



15日(日)、9時頃まで降っていた雨が上がり、青空と白い雲が広がった。庭のセミも一斉に鳴き出す。

76回目の終戦の日を迎え、加東市社の市街地南端の明治館(元加東郡公会堂)前広場の忠魂碑に祈りを捧げた。この忠魂碑は大正時代に建立されたもので、昭和28年には、碑の両側に西南戦争から大東亜戦争まで、旧社町(現在の社小学校区)から戦地に赴き戦死された英霊の御尊名を刻んだ碑が建立された。

朝のウォーキングではそのコースに入れているが、終戦の日には特別な思いでお参りする。そのあと、佐保神社に参拝。戦前は、この神前で出征、帰還の奉告が行われた縁の場所だ。靖国神社や護国神社には行けないが、忠魂碑や神社での祈りを捧げた。

日中はまぶしい夏の太陽が戻った。秋雨前線が南下し、北の高気圧に入ったのか、心地よい風が吹き抜ける。

夕方、仏壇でお経をあげて、中三味墓地に設けられた精霊送場

でご先祖の霊を送った。設営や片付けをしてくださっている連合区の役員さんも晴れて良かった、と話しておられた。あんたの噂をしていたところだ、とも。忠魂碑のことや知事選挙、連合区公会堂の件などしばらく話をした。

今日の県下の新規感染者数は517人だった。

57. 蔓延防止から緊急事態へ

2021年08月17日

16日(月)、今日から兵庫県内の蔓延防止等重点措置区域が但馬を除く全地域に拡大して実施された。そんな中、ニュースで国は兵庫県や京都府に緊急事態宣言を発出することで検討を進めていると知った。20日から来月12日までという期間も想定されている。先週、感染急拡大に対して緊急事態宣言を要請かと思ったが、要請はせず、蔓延防止エリアの拡大で対応することになった。その実施と効果をみる時間もないなかで、緊急事態宣言の発出になる。明日17日に県の対策本部会議が開かれる。

お盆も終わり、日常が戻ってきたと言いたいが、コロナの日常。県下では402人の新規感染者数があった。緊急事態、蔓延防止対象地域は全国に広がる。これまで何度も「正念場」を経験してきたが、今度も乗り越えていかなければならない。しかも、大雨はまだ続く。感染症と自然災害。負けるわけにはいかない。

58. 文教常任委員会、自民勉強会、コロナ対策調整会議

2021年08月19日

18日(水)、雨の中を県庁へ。神戸市には警報も発令されたようだ。

10時から議会事務局との打ち合わせ、10時30分から文教常任委員会が開かれた。今日は閉会中の継続事件調査で特別支援

教育について調査を行った。ICTの活用や阪神地域での特別支援学校の新設など取り組みについての説明と質疑が行われた。

今日は午後に県議会委広報だよりの高校生版のインタビューを受ける予定だったが、警報発令中のために延期になった。

午後1時30分から自民党議員団総務部会の勉強会が行われた。テーマは「選択的夫婦別姓問題」。講師は日本政策研究センター研究部長の小坂実氏。夫婦同姓を定めた民法についての



最高裁での「合憲」判断を受け、別姓推進派の主張、国民意識等についての問題提起、質疑が行われた。

午後5時から県議会コロナ対策調整会議（各党派代表者会議）が開かれた。政府の緊急事態宣言の対象地位の指定、これに基づく県の対処方針等について当局の説明を聞き、質疑が行われた。

今日、県下では1088人の新規感染者があり、昨日の800人台から900人を突き抜けて一気に1000人台へと急拡大している。20日から来月12日までの期間、県下全域を対象にして緊急事態宣言措置がとられることになっている。特に飲食店でのマスク着用の徹底などを要請する、療養病床の拡大、ワクチン接種や抗体カクテル療法の促進、出口へのロードマップなどについて質問が続いた。終わったのは6時を過ぎていた。

59. 今日も1000人超え 緊急事態宣言に

2021年08月20日

19日（木）、午後1時30分には登庁。さっそく議会事務局と打ち合わせを行った。

2時から議員有志と教育委員会と意見交換を行った。その後、議事課との打ち合わせなどを行い、午後4時頃には退庁した。

高校野球も激しい降雨でノーゲームとなった。また、コロナウイルス新規感染者が今日も1078人となり、2日連続で1000人超えと拡大が止まらない。明日20日から兵庫県は緊急事態宣言対象地域になる。加東市でも安田市長が防災無線放送で市民に感染防止行動などを呼びかけた。

マスクの着用、密な場所には行かない、換気の徹底で飛沫感染を防ぐ。これを徹底することで感染を防止する。そのことが医療の逼迫を防ぐことにつながっていく。

千葉県で感染した妊婦が入院先が見つからず、早産した赤ちゃんの命を救うことができなかった。他人事ではない。何ともくやしい思いだ。まさに自分の行動がこうした事態を起こさないための行動、命を救う行動だとの思いをあらためて強く持った。マスク入店、未着用退店を店側に要請するだけでなく、まず、個々の利用者がこのルールを守ることを徹底することが必要だ。

60. 県庁で政策法務研修や9月議会に向けて諸会議

2021年08月24日



23日(月)、10時前には登庁。自民党兵庫県連で7役会議に出席。

10時40分から議長室で議事課レク。11時から関西広域連合連携協議会が開かれ、広域連合協議会の8月定例会等について

の説明が行われた。その後、議事課のレクがあった。

午後1時から各会派代表者会議が開かれ、知事公用車の変更に伴う議長公用車の扱いについて協議。続いて1時30分から9月定例議会を1ヶ月後に控え、議会運営委員会が開かれた。2年度決算概要、提出予定議案、審議日程、質問予定などを協議した。齋藤知事の公約である知事給与、退職手当削減案も提出予定。また、議会改革について継続、追加項目について確認。

午後2時を少し回り、次は自民党議員団総会。代表者会議や議運の結果などが報告された。

午後2時30分から県議会政策法務研修が行われた。密を避けるために大会議室と各会派の部屋に分かれて実施し、大会議室と各会派の部屋をオンラインで結び研修を実施した。今回の研修では、議会の政策提案機能の充実・強化を図るための方策について、慶應義塾大学大学院の谷口尚子教授をお招きし、「政策提言機能強化のために地方議会の課題と未来を考えるー合意形成・デジタル化・住民との協働ー」をテーマに講義をしていただいた。



終了後、警察本部からの説明を受け、午後5時に退庁した。

今日は新規感染者数が538人。月曜日は少なく出るがこの数字はこれまでで一番多い。加東市にある精神科病院でクラスターが発生したことが報じられた。もうすぐ2学期が始まる。10代の感染者数も急増していることから、教育委員会では学校での感染防止対策の徹底を通知した。不織布マスクの奨励、部活動は校内に限定、抗原検査キットで早期発見などの強化策を示すとともに

に、感染者が出た場合の学級、学校の休業措置についても示した。

61. 東京パラリンピックの開会

2021年08月25日

24日（火）、東京パラリンピックが開会した。テレビで開会式を視た。緊急事態下での開催となったが、感染防止に努め、多くの人々に感動や勇気が広がる意義ある大会となることを願うばかりだ。

父親も片足の義足生活だった。家の中では義足をはずして、片足で跳んだり、四つん這いで移動していた。松葉杖もあった。義足は何度も新しいものに替えていっていた。今はそのうち一本だけ置いている。父が義足であることで愚痴をこぼしたり、しんどいなどの言葉を発したのを聞いた記憶はない。愛用のスクーターに乗り、また、運動会の来賓演技に出場して、走るのは速くなかったが、途中のサイダーかビールの一気飲みは一番早かった。ただ、義足によっては、足に合わないのか、痛みを感じることはあったようだ。父が生きていたら、パラリンピックの選手が使用している義足にきっと驚くだろう。

今日は県下の新規感染者数は1079人だった。宣言発出の効果が9月の学校の2学期スタートまでに出てくることを期待したい。

62. 酒米議連役員勉強会

県議会だより高校生版のインタビュー

2021年08月28日

27日（金）、夏空が広がり、青い空に白い雲、そして稲の緑がまぶしい一日になった。

10時、県社総合庁舎で県議会自民党酒米日本酒議員連盟の役員と加東農林振興事務所の勉強会が開かれた。日本酒及び山田錦

を取り巻く状況について、多田所長から説明を受け、質疑、意見交換を行った。北播磨は山田錦の主産地。コロナの影響で日本酒の消費量が激減し、山田錦生産農家も打撃を受けている。一方で日本酒や農産物の海外輸出は伸びており、活路を海外に求める動きも活発だ。詳しい資料と分析をもとに有意義な勉強会を行うことができた。

午後1時には登庁。さっそく調査課から報告を受けた。また、芸術文化ホールの催しについての案内もあった。



1時30分から議長室で、県議会だより高校生版の高校生記者のインタビューを受けた。県立長田高校の男子高校生2名が議長室を訪れ、1時間余り、議会改革や議員になった動機、若者の投票率アップなどさまざまな質問を受け、私と谷口

副議長が答えた。しだいに緊張もほぐれ、趣味についての質問も出た。

終了後、芸術文化課から兵庫県文化賞・社会賞についてのレクを受けた。その後、末松信介参議院議員・県連会長が来訪され、1時間ほど懇談した。そのあと、福祉関係部局からのレクも受けた。

今朝の神戸新聞3面の「人」欄に私の紹介記事が掲載された。取材は以前だったが知事選挙などの関係で掲載が今日になったもの。さっそく、支援者の方からメールや電話をいただいた。

今日も県下の新規感染者数は1061人で高止まりしている。

63. 神戸新聞情報文化懇談会で未来医療の講演を聴く

2021年08月31日

30日（月）、10時には登庁。事務整理などをし、昼には神戸市内のホテルで開かれた神戸新聞情報文化懇話会の8月例会に出席した。

今回は藤澤正人（神戸大学学長）氏による「デジタル・ロボット技術が開く未来医療」の講演が行われた。

日本は産業用ロボット製造では世界トップだが、手術ロボット製造は遅れていた。神戸大学、神戸市、シスメックス社が連携しメディカロイド社を立ち上げ、神戸から手術支援ロボットを、を合い言葉に産官学が協力し、安全な操作性、人との協調、経験知を併せ持つロボットの製造に取り組んできた。ロボット開発は段階を踏みながら6年近くかけてサージカルロボットシステム「hinotori」を開発し、国の承認を得た。こうした開発の状況、手術の様子などを映像で見ながら、このロボットが開くこれからの医療について、5G環境での遠隔診療・手術、手術の自動化などともに、こうした医学・工学分野の人材育成の必要性についても指摘した。

藤沢先生らによる「hinotori」開発への情熱、そして開発に関わった皆さんのご苦労が伝わってくる内容のお話だった。感染症や大規模自然災害下でもこうしたロボットシステムは大いに役立つことも理解できた。

会場では、1テーブル1人という感染症対策がとられていた。専門的な話で門外漢の私には難しいのではと思っていたが、先生のお話はそんな私にも分かるものだった。

今日は県庁でも、また、夜にも知人から家族のコロナ感染についての問い合わせなどが相次いだ。身近なところでの感染拡大を実感する。県も保健所体制の強化も行うとのこと。自宅待機者が

増加するなか、発熱等の問い合わせ、健康観察、入院調整など保健所の役割は増える一方だ。今日は県下で433人の新規感染者があった。

64. 国際フロンティア産業メッセで

水素エネ、脱炭素を考える

2021年09月03日



2日（木）、朝から雨。合羽を着て登校見守りに立った。学校道は校門まで長い傘の列が続いた。

11時には登庁。午後1時前にはポートアイランドにある神戸商工会議所へ。今日明日の2日間、神戸国際展示場で「国際フロンテ

ィア産業メッセ2021」が開催され、その講演の部が近くの商工会議所で行われた。

基調講演では、水素エネルギー協会の坂田貢氏が「水素エネルギー大量導入の意義」と題し、カーボンニュートラル、脱炭素社会をめざす日本が直面する、エネルギー安全保障、CO2排出削減という2つの課題を解決するための水素エネルギーシステムについて導入、現状、展望について講演した。水素については、日本はその最先端を走っており、その現場が兵庫県にある。次の特別講演までの間、展示会場を見学した。

展示場入口正面には、水素事業を進めている川崎重工業の液化水素運搬船や受け入れ基地の模型、水素ガスタービンの模型が展示され、説明を受けた。広い会場の一角にはひょうごの地場産

業のブースもあり、小野の算盤、三木の刃物、播州織りをはじめ、加東市の企業も出展しており見て回った。

その後、再び商工会議所で特別講演「脱炭素に向けたエネルギーの大転換」(山地憲治氏：地球環境産業技術研究機構理事長)も聴き、脱炭素、エネルギーについての理解を深めることができた。

県庁に戻り、議会事務局議事課と打ち合わせを行い、退庁。その後、神戸市内で開かれた美しい日本の憲法をつくる兵庫県民の会の役員会に出席した。激しい雨が降る中、加東に戻ったのは午後8時を過ぎていた。

今日の県下の新規感染者数は954人。1000人を割ったが、依然高い。学校も始まり感染拡大への警戒を怠らず、防止行動に努めていかなければならない。

パラリンピックでは車イス女子テニスの上地選手の決勝進出、競泳の山田選手の銀メダルなど嬉しいニュースがあった。

65. 兵庫県社会賞選考委員会や要望、打ち合わせなど

2021年09月10日

9日(木)、10時前には登庁。早速、議会事務局や人事課、教育委員会からの報告や打ち合わせなどを行った。また、登庁議員との情報交換も行った。

午後1時から議会事務局総務課と打ち合わせ。1時30分から維新の会の徳安幹事長が議員報酬減額の条例改正案の提出について、また、2時から榎本明石市議会議長、三好自民党真誠会幹事長がコロナ対策についての要望で来室された。

午後3時から県庁で兵庫県社会賞選考委員会が開かれ、委員として出席した。

12日までだった緊急事態宣言が9月末まで延長となり、県の対策本部会議が開かれた。明日、県議会のコロナ対策調整会議を

開くことになった。

5時30分頃、加東に戻り、事務所スタッフと打ち合わせ。今日の県下の新規感染者数は676人。病床使用率は約70%、重症病床使用率は約60%と高くステージ4。

66. 県議会コロナ対策調整会議・各会派代表者会議 申し入れ、各部局からのレクの一日

2021年09月11日

10日(金)、11時前に登庁。さっそく、企業庁、教育委員会、企画部などから条例案、決算案、報告などを受けた。

午後1時、日本共産党議員団から議員報酬減額についての申し入れを受けた。1時30分から議事課のレク。そして、午後2時から県議会コロナ対策調整会議が開かれた。昨日の県対策本部会議を受けて、感染状況や緊急事態宣言延長に関する対策等についての説明を受け、各会派代表による質疑を行った。今回から教育委員会から担当者が出席し、学校での感染防止対策の質問もあった。また、議員の感染、濃厚接触等に対する対処のあり方について、変更点について共通認識を図った。

引き続き、各会派代表者会議が行われ、議長公用車の件、議会政調懇話会、常任委員会の調査方法等について協議を行った。議長公用車は知事公用車と同じ車種に変更することで一致した。また、委員会調査、地域開催はオンライン、延期などの対応を行うことに決まった。

終了後、議事課のレク、農政環境部から、来月に宮城県で開催予定の全国海づくり大会、明石市で行われる同大会1年前プレ大会の要項について説明を受けた。退庁したのは午後5時だった。

今日の県下の新規感染者数は528人。減少している。病床、重症病床使用率とも依然高止まりだ。

67. 兵庫県文化賞選考委員会や諸会議

2021年09月15日

14日(火)、9時30分には登庁。議長室で、谷口俊介副議長、原テツアキ議運委員長と齋藤知事と出会った。9月議会に向けての同意人事案件だった。

10時から、兵庫県文化賞の選考委員会に出席し、今年度の候補者の中から該当者の選考を行った。

11時30分、各会派代表者会議が開かれた。荒木副知事から3年目の見直しを行う行財政運営調査特別委員会の設置の求めがあった。続いて、議員報酬等の減額に関する議員提案の条例改正案、申し入れについて維新、共産党の2会派から提案説明があり、質問と確認のあと、各会派持ち帰りで検討を行うことになった。3点目は大雨で被害を受けた佐賀県へ災害見舞金を贈ることが了承された。

午後1時、警察本部から専決処分案件の説明を受けた。1時30分から議会運営委員会が開かれた。当局から9月議会提出予定議案の説明、特別委員会の設置と委員の会派配分、コロナ感染に対する議員の対応方針の変更、議会改革項目のうち、請願の署名押印についての協議などが行われた。

午後3時から自民党議員団総会が行われ、各会派代表者会議、議運の報告、9月議会に向けた諸協議が行われた。

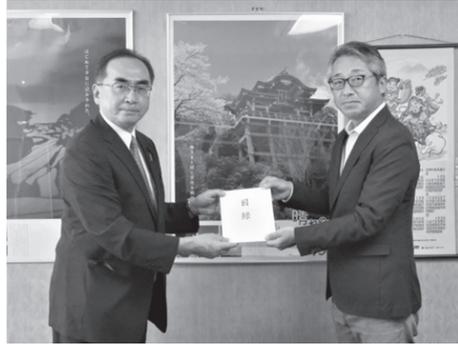
今日の県下の新規感染者数は452人。9月補正予算案の柱はコロナ対策。齋藤知事にとっても初の議会となる。帰路、雨に煙って視界が悪くなっていた。台風14号の進路も気になる。

68. 佐賀県への災害見舞金

2021年09月17日

16日(木)、朝の登校見守りに立ってから県庁へ向かった。

9時前には登庁。さっそく自民党議員団総会に出席。諸報告に続いて、21日の9月定例議会を前に議員団として決めておかなければならない案件などについて協議を行った。文教常任委員会を除いて10時から各常任委員会が開かれた。



その間、先の代表者会議で了承を得た県議会として佐賀県への災害見舞金を贈呈するために大阪市内の佐賀県事務所に向かった。今年8月11日からの大雨で九州北部に被害が出たが、中でも佐賀県では床上浸水などの住家被害が1665棟に及ぶ大きな被害となった。県議会では、阪神・淡路大震災への支援に感謝の意も込めて、大きな災害を受けた都道府県に見舞金を贈ってきた。今回も代表者会議に諮り、贈呈することになったものだ。

佐賀県事務所では、被害の大きかった武雄市や嬉野市の状況を聞かせていただくとともに、兵庫県と佐賀県の深い縁などにも話題が広がった。その後、佐賀県議会の藤木議長さんから丁寧なお礼の電話をいただいた。

台風14号が勢力を維持もしくは強めて九州地方に上陸し、近畿地方に向かう進路予報がなされている。備えをしっかりとっておかねば。また、今日の県下の新規感染者数は301人だった。

69. 第355回定例県議会が開会 知事が初登壇、副知事人事も

2021年09月22日

21日(火)、9時には登庁。9時30分から各会派代表者会議、

10時から議会運営委員会が開かれた。10時30分から自民党議員団総会と会議が続いた。



11時、議長として初めての本会議。まず登壇して議長挨拶を述べた。そして、議長席につき、第355回定例県議会の開会を宣告した。

今日は齋藤知事も初議会となり、傍聴席には報道関係者のカメラが並んだ。

知事は、新知事として臨む県政への意欲を挨拶の中で述べ、提出議案の趣旨説明を行った。また、副知事人事案が提案され、日本共産党が反対討論を行い、採



決の結果、賛成多数で可決され、片山安孝氏が副知事に就任した。

今日は行財政運営調査特別委員会の設置が可決され、本会議終了後、さっそく委員会が開かれた。

委員会終了後、自民党議員団総会、文教部会政策委員会と続き、午後2時にようやく昼食。その後、3時から議員定数等調査特別委員会、議事課のレクが続いた。

午後4時、兵庫県私学総連合会の会長さんはじめ役員さんが要望に来られた。幼小中高短大、それぞれの現状、国、県への要望をお聞きした。そのあと、地域創生局長から関西・大阪万博への関西広域連合の出展計画についてレクを受けた。

5時に退庁。今日の県下の新規感染者数は76人。休日明けで

少ないとはいえ、2桁は久しぶりだ。この急減の理由については、専門家の意見もいろいろだが、夜のニュース番組での「ウイルス自壊」説は興味深かった。いずれにせよ、月末までの緊急事態宣言をどうするかを決めなければならない。全面解除か、段階的解除か。各指標はだいぶ改善してきているが、病床使用率、重症病床使用率ともに40%を超えており、まだ高い状態だ。

70. 9月議会代表質問日 齋藤知事に各会派質問

2021年09月28日



27日(月)、9時から議会運営委員会、9時30分自民党議員団総会。10時本会議が開かれた。

今日は各会派の代表質問日。齋藤知事に対する質問が続いた。

まず、自民党の伊藤傑筆頭副幹事長が、新知事の意気込み、新県政推進室、大阪府との連携等6問について質した。女性副知事やコロナ対策会議の公開など、実現できていない公約にも触れた。県民連合の向山議員も知事給与・退職金の減額について割合の根拠を。また、コウノトリ但馬空港の滑走路延長等について質した。

午後自民兵庫、公明党、休憩をはさんで維新の会の代表が登壇した。齋藤知事はその殆どの質問に対して答弁に立ったが、少し早口で淡々とした調子で答え具体的な内容には余り踏み込まなかった。県政刷新と若さに対する県民の期待に応えるためにも自身の言葉で分かりやすく議会と県民に説明をしていく姿勢が求められる。明日から一般質問が始まる。

本会議終了後、議会事務局調査課との打ち合わせ、兵庫ジャー

ナル社の取材、同僚議員との情報交換などを行い午後6時に退庁した。

今日の県下の新規感染者数は78人。月曜日は少なく出る。30日には宣言が解除される見込みだ。

71. 本会議一般質問2日目、各会派代表者会議、コロナ対策調整会議そして自民党総裁選挙

2021年09月30日

29日（水）、朝の登校見守りに立ってから県庁に向かう。9時30分には登庁。さっそく、同僚議員と情報交換などを行う。

10時本会議が開かれ、一般質問が始まった。午前自民、県民連合、午後再開後、自民兵庫、維新。休憩再開後、自民の5人が登壇した。コロナ対策はじめ防災や教育など、知事の公約に関連した質問も続いた。

本会議終了後、県議会コロナ対策調整会議、各会派代表者会議が行われた。昨日の県対策本部会議を受け、宣言解除後の対策等について質疑を行った。また、議員報酬の削減提案に関しては、さらに会派間協議を行っていくことになった。

さて、自民党総裁選挙が行われ、決選投票の結果、岸田氏が当選し、第27代総裁に就くことになった。1回目の投票でも岸田氏が1位、決選投票で河野氏を圧倒した。兵庫県連では、河野氏、高市氏、岸田氏の順だった。河野氏8100に対し高市氏6200、岸田氏3695票と、高市氏の健闘が目立った。高市氏の健闘ぶりは、保守政党としての自民党の基本に立脚した氏の明快な姿勢への支持だったと思う。

今日の県下の新規感染者数は119人。宣言解除となるも各指標ではまだステージ3の段階だ。気を緩めず、感染防止対策を続けながら、2,30人まで抑え込んでいきたい。

72. 本会議一般質問3日目 決算特別委員会設置 議 運や自民議員団総会など

2021年10月01日



30日(木)、8時30分過ぎには登庁。9時から議会運営委員会が開かれ、議事の順序や議会改革について協議。9時30分から自民党議員団総会が開かれた。

10時、本会議が開かれ、一般質問が行われた。自民、公明、午後は、維新、共産、休憩後、自民の5名が登壇し、副知事人事やコロナ対策、日本酒振興などについて質した。これで一般質問が終わり、そのあと、決算特別委員会が設置された。また、議案、請願が各常任委員会に付託された。本会議終了後、さっそく決算特別委員会が開かれ、委員長、副委員長、理事が選出された。

昼休憩時、自民党議員団の総務会、総務・幹事会、総会が行われた。同意人事案や提出議案の表決の態度、請願の態度などを協議した。

今日の本会議で、自民党議員団の村岡議員(三木市選出)が、齋藤知事の選挙公約でもあった女性副知事が実現しなかったことについての丁寧な説明を求めたことに対して、知事は、コロナへの対応、県政の継続など緊急に対応するために県政をよく知り、県職員などを含めて人脈を持つ人物を選んだと答え、二人は以前からよく知っていたという点も理由に挙げていた。素朴な疑問として、そのような条件に見合う女性は見当たらなかったのだろうかと思った。その説明が物足りなかったように思う。村岡議員

は質問の中で、県民の中には、女性副知事への期待があったがゆえに落胆の声もあったことを取り上げていたので、もう少し丁寧な答弁があってもよかったのではないと思った。

岸田自民党総裁の下、さっそく党人事のニュースが報じられ、高市氏が政調会長に就くとのこと。総裁選でも政策がしっかりしており、高い評価を得ていたし、勉強家でもある。ぜひ、自民党らしい政策を打ち出してもらいたい。

緊急事態宣言は今日までの期限で、明日から解除となる。今日の県下の新規感染者は109人。減少傾向にはあるが、鈍化しているように思える。各指標もステージ3で、まだまだ気を緩めることはできない。感染防止対策を守りながら、日常生活を取り戻す努力をもうしばらく続けることが必要だ。

73. 文教常任委員会で付託議案、請願審査、町村会要望

2021年10月02日

1日（金）、朝の登校見守りに立った。この時期には肌寒く感じる風が吹いていた。

10時前には登庁。10時30分から文教常任委員会が開かれ、付託議案、請願3件の審査を行った。議案はいずれも原案の通り可決すべきものと決した。請願については、私立学校に対する助成の継続と拡充を求める意見書提出の件は全会一致で採択すべきと決し、あとの2件は不採択となった。



午後1時から自民党議員団の幹事長室と4期の懇談会。午後2時から兵庫県町村会からの要望をいただいた。懇談では、人口減

少、厳しい財政事情、教育のあり方など、町村が抱える課題について話題が広がった。

その後は議会事務局総務課、議事課のレクが続き、事務整理等をして午後4時過ぎに退庁した。

今日の県下の新規感染者数は84人。やっと3桁から2桁に。今日から宣言が解除され、飲食店の時短や酒類提供の制限が緩和された。元の日常を少しずつ取り戻すことになる。ワクチン接種のさらなる促進、6波に備えた医療体制の構築など今のうちに対策をしっかり打っておきたい。感染者を2,30人にまで抑え込みたい。

74. 「全国豊かな海づくり大会」(宮城県)に出席

来年は兵庫県明石市で開催

2021年10月04日

10月3日は、宮城県で開催された第40回全国豊かな海づくり大会に出席した。新型コロナウイルスの感染拡大で一年延期され、また台風16号の影響などいろいろな心配されたが、快晴の下、規模縮小で開催された。

次回開催地の兵庫県として、齋藤知事ら県当局、開催地の明石市、漁業関係者らとともに県議会を代表して出席した。

2日午後には宮城県に入り、東日本大震災から10年を経た復興の様子をこの目で確かめるために仙台空港近くの岩沼市「千年希望の丘」、名取市閑上の震災復興伝承館、「かわまちてらす閑上」などを視察した。

3日は朝から石巻市の式



典会場へ移動。真新しいセイホクパーク石巻で式典が行われた。

天皇皇后両陛下にはオンラインでの行幸で、お言葉を賜った。震災から立ち上がり、豊かな海と海に育まれてきた文化を取り戻し、未来へと歩み続けている宮城県との取り組みが紹介された。表彰式では、環境部門で兵庫県のひょうご豊かな海づくり協会が表彰された。小学生の「私の体は海でつくられている」という題の作文発表には感銘を受けた。



午後、移動し、石巻漁港で海上歓迎行事、放流行事が行われた。石巻漁港はギネスブックに載る世界一長い（約800メートル）魚市場・岸壁が整備されている。震災後、自民党議員団で一度視察したことがあり、当時はまだ完成していなかったが、快晴の下、岸壁には大漁旗を掲げた漁船が並び、放流台が設置されていた。さまざまな漁法の船がまず歓迎パレード。続いて、ホシガレイとヒラメの稚魚を約800人の出席者が次々と放流した。サプライズで近くの松島基地のブルーインパルスが青い空に白い雲の筋を引きながら二度飛来した。この式典にも天皇皇后両陛下がオンライン行幸された。

来年秋には兵庫県明石市で第41回豊かな海づくり大会が開かれる。来週17日にはその1年間のプレ大会が明石市で開催される予定だ。

2日には、兵庫県高校野球秋季大会で母校社高校が神戸学院大付属高校を破り、初優勝を飾った。その場での応援は叶わなかつ

たが、連絡を取り合いながら応援、祝福した。

75. 補正予算案可決 維新の議員報酬削減案は否決

2021年10月06日



5日（火）、朝、登校見守りに立ってから県庁へ。9時過ぎに登庁。9時30分から各会派代表者会議、10時から議会運営委員会、10時30分から自民党議員団総会が行われた。

11時に本会議が開かれ、令和3年度9月補正予算案が賛成多数で可決された。また、教育長、人事委員会などの人事案が同意された。維新の会が提出した議員報酬等の削減案は賛成少数で否決された。

今回の補正予算案は、総額約1577億8500万円。コロナ対策、中小企業支援策や県内旅行への割引支援なども含まれており、コロナ感染防止対策を回りながら経済活性化を進めていこうとするものだ。また、知事の任期限りの報酬、退職金の削減案（特例条例）が可決された。

午後1時30分から今日2回目の議運が開かれ、議会改革等について協議が行われた。

さて、岸田新内閣の文科相に兵庫県選出の末松信介参議院議員が就任した。コロナ禍で教育のあり方が大きく変化しつつあり、また、感染拡大への社会不安の中で子どもたちがさまざまに影響を受けている。私達県議会議員もコロナ禍で、教育現場を訪れる機会がほとんど無くなり、多忙を極める教師をはじめ関係者の声

を直接聞く機会も減っている。一番大事なことは、子ども達の育ちや学びを直に見て課題を見極めることだと思う。末松大臣にはぜひ、そうした姿勢と日本の将来を担う子ども達の教育を内容も含めて考えていただきたい。

夜は久しぶりに開かれた加東ライオンズクラブの例会に出席した。また、ノーベル物理学賞に眞鍋淑郎氏が決まったという嬉しいニュースもあった。

今日の県下の新規感染者数は71人。これが2,30人まで減少していくことがその他の指標を下げていくことになる。

76. 県社協や市長会の要望、人事委員会の報告、各会派代表者会議など県庁で一日

2021年10月13日

12日8日（火）、朝の登校見守りに立ってから県庁へ。

9時30分登庁。まず、秘書課と簡単な打ち合わせをし、10時から県社会福祉協議会の令和4年度予算に係る要望を受けた。吉本会長から要望の内容についての説明を受けた。コロナ感染拡大の中、社会福祉協議会の役割は増大しており、福祉の現場の声を反映した県、国への要望を聞かせていただいた。

10時30分から県市長会の要望を受けた。本年2



回目の要望であった。会長の谷口相生市長からご挨拶を、続いて、清元姫路市長、仲田三木市町、越田川西市長からお話をいただいた。意見交換ではワクチン接種や教育現場の現状などの話題が出た。その後、谷口相生市長と角石市議会議長から議員定数に関する相生選挙区の存続要望を受けた。



続いて、県人事委員会から職員の給与等に関する報告および勧告の概要説明を受けた。

午後も議長室で、議会事務局総務課、財政課、ビジョン課からの説明が続いた。また、教育委員会義務教育課からの報告を受け、不登校やいじめ問題への対応などについて現状や課題を聞いた。

今日は決算特別委員会の農政環境部の質疑が行われており、来客の合間に庁内放送を見る。その決算特別委員会終了後、午後4時30分から各党派代表者会議が行われ、議員報酬等の削減案について協議を行った。協議の結果、コロナ感染症対策への協力について、期末手当、政務活動費、議会費などを削減することで全会派の一致が得られた。

その後も同僚議員との情報交換、農政環境部から17日（日）に明石市で行われる全国豊かな海づくり全国大会の1年前プレ大会についての説明を受けた。

17日（日）には、近畿高校野球の1回戦が行われる。兵庫県代表（1位）の社高校は、滋賀県代表の近江高校と対戦することが決まった。

今日の県下の新規感染者数は52人。

77. 潜水艦進水式に出席 議員定数の要望も

2021年10月15日

14日（木）、10時20頃には登庁。さっそく秘書課と今後のスケジュール調整。11時、JT神戸支店の訪問を受けた。

今日は川崎重工業神戸工場で、防衛省発注の潜水艦の命名・進水式が行われ、出席した。今日進水した潜水艦は「たいげい」型の新鋭艦で戦後建造された潜水艦では最大となる。防衛省



事務次官によって「はくげい」と命名され、よく晴れた神戸港に進水した。これから艤装を行い令和5年に完成する予定だ。

2時に美方郡香美町の浜上町長、上田元県議が来室され、議員定数に係る要望を受けた。

続いて、3時過ぎには、安田加東市長、岩根副市長、高瀬技監が議長室を訪ねてこられた。社高校野球部の県大会優勝、近畿大会出場や山田錦によるふるさと活性化など話が弾んだ。



人事課、議会事務局総務課、議事課のレクを受け、退庁したのは4時30分過ぎだった。

今日午後、衆議院が解散した。来週火曜日の19日には総選挙の公示となる。まさに短期決戦。

今日の県下の新規感染者数は30人。報道によれば知事は21日までの時短営業などの行動制限を全面解除することも選択肢に

あると述べている。

78. 但馬ドームで日本女子ソフトリーグ戦 三木市で菅前総理が講演

2021年10月17日



16日〔土〕、今日は長距離移動の日だった。神鍋高原（豊岡市日高町）にある全但馬バス但馬ドームで、第54回日本女子ソフトボールリーグ1部第9節豊岡大会が行われ、兵庫県ソフトボール協会の会長（大会会長）として出席した。

大会にはオリンピックで活躍し日本中を感動させた選手らも所属する強豪チームが出場した。試合

前には、オリンピックへの記念品も贈呈した。トヨタ自動車レッドテリアーズのアボット選手は、みんなでオリンピックへのソフトボール復活を発信しようと呼びかけた。

午後3時から三木市文化会館で行われた自民党第四選挙区支部主催「元気出すぞニッポン講演会」に出席した。

支部長は藤井ひさゆき前衆議院議員・内閣府副大臣で、菅義偉前総理大臣・衆議院議員が講演した。会場は感染防止対策で人数制限がされていたが、会場をあふれる大勢の支援者が詰めかけた。菅前総理は、コロナ対策に全力



を注いだこと、とりわけ切り札となるワクチン接種を藤井副大臣に支持し進めたことをはじめ、デジタル庁の立ち上げ、携帯電話料金の値下げなど短期間ではあったが、実行した政策の成果を語った。記者会見で見る菅氏とは違い、表情豊かにユーモアも交えながら、時に力強く語る菅前総理だった。いよいよ19日には公示されるが、実質的に選挙戦に突入している。

今日は加東市から但馬ドームまで2時間、但馬ドームから三木市まで2時間で移動した。北近畿自動車道も但馬コウノトリ空港まで延びており、これまでに比べて時間距離が縮まったことを実感した。

但馬ドームで兵教大附属中勤務時代の教え子に出会ったのには驚いた。また三木市文化会館でも多くの教え子と再会できた。

今日の県下の新規感染数は17人だった。

79. 明石で全国豊かな海づくり大会1年前イベント

2021年10月18日



17日（日）、8時20分頃、加東市河高の交流センターへ。河高地区のコスモスまつりの準備に忙しい皆さんに挨拶をし、その足で明石市に向かった。

今日は明石市で行われる第41回全国豊かな海づくり大会兵庫大会1年前プレイベントに出席した。市民会館で式典が行われ、齋藤知事や泉明石市長の挨拶に続いて、絵画、作文の入賞者表彰などが行

われた。続いて、明石港ベランダ護岸に会場を移し、明石南高校

の吹奏楽、須磨翔風高校の和太鼓演奏が流れるなか、約100隻の漁船、明石の漁法を紹介する船の海上パレード、ヒラメとマダイの放流行事が行われた。

今日は朝まで冷たい雨が降っていたが、式典の頃には空は晴れ、青空に白い雲が飛ぶ好天となり、風はきつかったが、明石海峡大橋の雄姿、きらめく海の向こうに緑の淡路島と絶好の舞台となった。まさに御食国（みけつくに）ひょうご一広げよう碧く豊かな海づくりの名にふさわしい大会になった。

予定では、滋賀県大津市で行われる近畿高校野球秋季大会の社高校の初戦の応援に向かうところだったが、雨のために明日に延期となり、加東に戻り、19日の衆院選公示に向けてポスター貼りの準備作業を行った。市内を走っていると、夕日が五峰山の南の地平線に沈もうとしていた。

今日は県下の新規感染者数は31人と少し増えていた。

80. 全国都道府県議長会がオンライン会議 各会派代表者会議・コロナ対策調整会議

2021年10月21日

20日（水）、9時前に登庁。

今日は全国都道府県議長会がオンライン開催となり、午前中は地方自治委員会、国土交通委員会が行われた。午後は、役員会、共済会の理事会が行われた。議長室で、



パソコンの前に座り、オンライン会議。対面での会議とちがって、隣の席の議長さんらと挨拶を交わすこともなく、少し寂しい感じもするが、総務省、国土交通省の局長さんからそれぞれ、取り組みについての説明を聞くという点では内容は変わらない。マイナ

ンバーカードの普及が進み、行政のデジタル化が一層進んでいる状況が分かった。

休憩の間に教育委員会学事課長から来年度の高校募集計画について説明を受ける。また、昼休みには同僚議員と意見交換を行った。

午後のオンライン会議終了後、議事課と9月22日の本会議に向けた打ち合わせを行った。

午後4時から県議会コロナ対策調整会議、各会派代表者会議が行われた。コロナ感染状況、22日以降の時短営業や酒類提供の制限解除等県の対策本部会議の内容が報告され、質疑を行った。また、職員等、議員の期末・勤勉手当に係る条例改正案、議会のコロナ対策への強力方策の検討を行った。続いて、県内大学の県議会サテライトゼミの受け入れを了承した。今年は神戸学院大学と関西学院大学の2校のゼミ。

今日、阿蘇山が噴火したというニュースが流れた。兵庫教育大学附属中学校の教員をしていた時、修学旅行で訪れた阿蘇山草千里で記念撮影をしていた、まさにその瞬間に背後の阿蘇山が噴火し、噴煙をあげたことがあった。轟音に驚いて振り向く生徒の写真が翌日の熊本の新聞の一面を飾った。ニュースで流れる映像にあの日のことを思い出した。

今日の県下の新規感染者数は25人だった。8月下旬のピーク時には約1000人という数字だったが、現在は20人台に減っている。各指標もステージ2に下がった。しかし、6波に備え、医療体制を整えるとともに油断せず徐々に日常に戻していくことが大事。

81. 南あわじ「若人の広場」全国戦没学徒追悼祭参列

2021年10月22日

21日（木）、朝の登校見守りに立つ。子供達の服装も秋らしくなってきたが、それでも半袖半ズボンで平気という子もいた。



今日21日は、昭和18年10月21日神宮外苑で学徒出陣壮行会が行われてから78年目にあたる。学業半ばにしてペンを剣にかえて戦場に赴き、或いは軍需工場などに動員を受け、亡くなった約20万人の戦没学徒の御霊に対し、鎮魂と慰霊の祈りを捧げる「全国戦没学徒追悼祭」が南あわじ市の若人の広場で行われた。

全国で唯一の戦没学徒の慰霊施設である若人の広場で行われる追悼祭は、今年で27回を数え、神道青年会の神職による奉仕で齊行された。

丹下健三氏の設計になるこの施設は、阪神淡路大震災後、荒廃していたが、地元南あわじ市や兵庫県によって再整備され、現在、南あわじ市の管理する公園となっている。福良湾を見下ろす大見山にはペンを模した慰霊塔が天に向かって屹立している。その塔を望む広場で県や地元自治体、国会、県会、遺族会、自衛隊、警察、日本会議はじめ、神道、仏教、キリスト教関係者らが参列した。

最後に挨拶に立った三木英一日本会議兵庫県本部会長は、自身も戦争で父を亡くした遺族の一人として、学業半ばにして祖国のために尊い命を捧げ亡くなられ、子孫を残すことができなかった数多の若人のことを思うと胸が痛む。戦没学徒の思いを伝えていくためにこれからも働き続けたいと述べられ、参列者の胸を打った。

追悼祭終了後、あわじ花さじきを視察した。新しいテラス館や空中回廊からは、サルビアやコスモス、ソバの花が咲くさじきを一望



できる。今日は入園者も多く、年代も若い人から高齢者まで幅広く、リピーターも4割を超えると聞いた。

明日は本会議や政調懇話会など日程が詰まっている。今日の県下の新規感染者数は29人だった。時短営業や酒類提供の制限も解除となる。ただ、マスク着用や密をさけるなどの感染防止努力は今後も必要だ。

82. 9月県議会が閉会 政調懇話会でデジタル化の講演

2021年10月23日

22日（金）、朝、登校見守りに立ってから県庁に向かった。

9時30分過ぎには登庁。今日は第355回定例県議会（9月県議会）の最終日。朝から日程が詰まっていた。

10時から議会運営委員会が開かれた。維新の会の県議2名が衆院選立候補による自動失職が報告されたのち、知事より、コロナ対策補正予算、職員の給与に関する条例改正の追加上程議案が、また、議会としてコロナ対策への協力のために期末手当や政務活動費の削減を行うための議員提出の条例改正案の説明が行われた。

10時30分、自民党議員団総会が行われ議運の報告や議案の説明が行われた。

11時本会議が開かれた。まず、令和2年度決算審査結果が北口寛人決算特別委員会委員長から報告され、続いて討論、表決が行われた結果、賛成多数で認定された。次に知事から追加上程議案が上程され、所管委員会に付託、委員会審査のため暫時休憩となった。議案は総務、産業労働、文教の各委員会で審査された。



私は文教常任委員だったので審査にあたった。

本会議が再開され、表決の結果原案通り可決された。続いて、議員提出議案が上程され、原テツアキ議会運営委員長が提案説明を行い、全会一致で可決された。次に請願が上程され、委員会審査の結果が報告され、討論に続いて表決が行われ、1件、私立学校に対する助成に係る国庫補助制度の堅持及び一層の充実を求める意見書提出の件が採択された。続いて、意見書案「児童養護施設を退所した者への支援の充実を求める意見書」など11件が可決された。

こうして、9月30日から32日間にわたった今定例会が閉会した。今議会では、コロナ対策補正予算など28件、議員提出の2件が可決、また、令和2年度決算が認定された。請願は上記の1件が採択され、意見書は請願分を含めて11件が可決された。昨年に続いて、議会としてコロナ感染対策への協力を行うために期末手当や政務活動費、議会費など約8100万円を捻出することになった。

本会議終了後、各会派への挨拶回り、記者クラブでの発表などを行い、午後1時40分頃、ようやく昼食にありつくことができた。しかし、それも20分。



午後2時から、7階大会議室で政調懇話会が開かれた。議会活動の充実を目的として調査・研究の場として毎年行われており、52回目を数える。今回は、「デジタル化の目指す将来像」をテーマにデジタル化の先進国エストニアをよく知り、高松市などで地方自治体のデジタル化に関わっている山口功作氏を招き地方自治体におけるデジタル化の現状や課題、都道府県の役割などについて講

演いただいた。国でデジタル庁が創設され、デジタル化への取り組みが進められている中、エストニアや高松市の事例などを示しながら、その理念、組織などについて具体的にお話いただいた。

午後4時すぎに退庁。今日から飲食店への時短営業等への要請が解除された。新規感染者数は26人だった。日が暮れるのが一段と早くなった。夕暮れの稲が刈られた田圃の景色は寂しさを感じる。

83. 文教常任委員会で不登校や特定テーマの調査 兵庫県商工会議所連合会の要望

2021年10月26日

25日(月)、朝の登校見守りに立ち、県庁に向かった。10時前には登庁。

10時30分から文教常任委員会が開かれた。今日は閉会中の調査事件として「義務教育の推進」について調査を行った。内容が、学力の向上、心の育成、体験教育、幼児教育、学校組織、教員の資質・能力の向上等々範囲が広く、義務教育課長の説明に続いて、質疑が行われた。私は年々増加している不登校児童生徒の現状、対応策などについて質した。関連質問が続き、教委としても保護者、民間教育施設との連携にもさらに取り組みを進めるとのことだった。

昼休憩後、午後1時から委員会が再開され、今年度の特定テーマである「コロナ禍における学校運営」について、体育保健課、県立姫路西高校、県立芦屋特別支援学校からそれぞれ取り組みが発表され、質疑を行った。コロナ禍で感染防止対策で日常の学校教育のあり方がさまざまな制約を受ける中、オンライン授業や行事の規模縮小、簡素化な工夫を凝らした取り組みを進め、その中で新たな学習や学校生活のあり方の発見もあったとの報告を受

けた。コロナ禍で学校を訪れる機会がなくなり、学校現場の実情をこの目で確かめることができずにいたので、大いに参考になったと同時に、マイナスを乗り越え、さらにプラスに転じていく工夫・努力に敬服した。

午後2時から、兵庫県商工会議所連合会の令和4年度県政に係る要望をいただいた。家次会頭はじめ役員の方々からご挨拶を兼ねて、経済回復、ポストコロナを見据えた兵庫づくりについての要望を聞かせていただいたのち、内容についての説明、意見交換を行った。(写真)



終了後、調査課との打ち合わせ、同僚議員との情報交換などを行い、午後4時30分には退庁した。

今日は一日雨だった。県下の新規感染者数は19人。東京都は17人で、時短営等の制限は全面解除となった。

84. のじぎくの塔、島守之塔での慰霊祭に参列 沖縄戦で3000余の兵庫県人が戦没

2021年10月28日

27日(水)、沖縄県で行われたのじぎくの塔、島守之塔での慰霊祭に参列した。また、26日、27日の2日間にわたり、沖縄戦の戦跡、首里城の復興状況の視察などを行った。

26日(火)には、旧海軍司令部壕跡(豊見城市)を見学。「沖縄県民斯克戦ヘリ 県民ニ対シ後世特別ノ御高配ヲ賜ランコトヲ」の電報を最後に自決した大田実海軍司令官の部屋もあり、修学旅行生も熱心に見学していた。また、白梅の塔(糸満市)、ひめゆ

りの塔（〃）の学徒隊最後の地を訪れた。

27日（水）は、午前中に首里城（那覇市首里）の復興状況を視察した。元沖縄県職員で那覇市の歴史に詳しい城田さんの案内で、あの衝撃的な火災にあった世界遺産首里城、尚氏の王墓である玉陵を視察した。ちょうど、復興工事を見学できる新しいデッキが公開され、首里城内、外、そして首里の街並みも見渡すことができた。再建工事が完成するまであと5年はかかるとのことだった。

午後、摩文仁の丘（糸満市）の兵庫県戦没者3073柱を慰霊する「のじぎくの塔」で慰霊祭が行われた。兵庫県遺族会の主催で、兵庫県、沖縄県関係者（知事、県議会、市議会、神戸市、糸満市、遺族会員等）が参列し、追悼した。私も県議会を代表し追悼の言葉を捧げた。



続いて、丘の下にある「島守之塔」で、米軍による沖縄攻撃を目前に知事として赴任し、最後まで沖縄県民を守るために挺身した島田叡知事（兵庫県出身）、共に最後まで戦った荒井警察部長はじめ沖縄県職員の御霊に対して献花し追悼した。その後、平和祈念公園内の「平和の礎（いしじ）」で兵庫県戦没者の名が刻まれた前で献花をし、追悼した。この慰霊祭には、県議会から各会派の議員も参列し、献花を行った。



何度も訪れ、慰霊を重ねてきたが、のじぎくの塔に刻まれた加東郡出身の戦没者の名を確かめながら、郷土から沖縄を守るため

に戦い亡くなわれた方々の御霊にあらためて鎮魂と感謝の祈りを捧げた。

85. オンラインで全国都道府県議長会総会 衆院選

2021年10月29日

28日（木）、朝の登校見守りに立ってから県庁へ。10時前に登庁。さっそく兵庫教育大学の副学長さんらが来室され、教員養成の新しい取り組みについての構想を紹介いただいた。



11時から兵庫ジャーナル社のインタビューを受けた。9月議会を終えての感想や補正予算のポイントなどについて話した。

午後2時から全国都道府県議長会の定例総会がオンライン会議で行われた。香川県で行われる予定だったが変更になったものだ。

夜、午後7時過ぎから三木市内の施設で自民党第4区支部主催の元気出すぞニッポン講演会、藤井ひさゆき個人演説会が開かれ出席した。選挙も終盤。会場には三木市はじめ



神戸市西区、加東市など北播磨各地から、藤井ひさゆき候補の応援に多くの人々が駆けつけた。仲田三木市長に続き私も応援挨拶に立ち、最後まで応援を呼びかけた。藤井候補の演説のあと、自民党政調会長の高市早苗氏が応援演説に立ち、デジタル副大臣、ワクチン副大臣として活躍した藤井候補の活躍を紹介し、自民党への支持を訴えた。政調会長として自民党の政策集をまとめあげたこと、経済安保の重要性など、高市節でまさに元気が出た。

今日は県下の新規感染者数は20人。兵庫県も飲食店でのワクチン検査接種済証の実証実験を始める。行動制限のさらなる緩和に向けた実験だ。

86. 文教常任委がオンラインで但馬丹波の管内調査 県生協大会で挨拶

2021年10月30日

29日（金）、朝の登校見守りに立つ。今朝は北西の冬のような風が吹いて寒い朝だった。



10時30分過ぎに登庁。さっそく、議事課、総務課のレクを受けた。10分で昼食をとり、神戸市長田区のピフレ長田へ。2021年度兵庫県生協大会が開催され、県議会を代表してご挨拶を申し上げた。

2時35分から文教常任委員会の管内調査に出席。今回は但馬丹波地区の調査であっ

たが、コロナ感染拡大対策としてオンラインでの調査となっており、県庁3号館の7階会議室で、教育事務所や高校とオンラインで結んでの調査となった。

丹波教育事務所の調査では、ふるさと意識の醸成について、特色ある取り組みを行っている小学校の事例について質問した。丹波篠山市立古市小学校の伊能忠敬の足跡を実際に歩いて学ぶ学習、丹波市立北小学校の各学年の地域の宝に触れる学習など、体験をもとにふるさとの歴史や文化、自然の価値への気づきを大切にされた学習が行われている。

県立豊岡高校の調査では、SSH指定校、STEAM教育実践モデル校の先進的な取り組みについて、その目的や趣旨、生徒の受け止めなどについて質問した。文理融合型のSTEAM教育では、生徒の思考や表現の基礎となる感性を育むことを主眼として、演劇やロボット、プログラミング教育などに取り組んでいた。

午後5時に退庁した。今日の県下の感染者数は23人。下げ止まりの感があるとの報道もあるが、0人の県もあり、そうした日が来ることを期待しながら、感染防止に努め、ウィズコロナの新しい日常を取り戻していくこと。そして、第6波への備えをしっかりとっておくことが今の取り組みだ。

87. 豊岡市で「コウノトリ未来国際かいぎ」

2021年10月31日

30日(土)、朝から秋の高い青空が広がるいい天気だった。

今日は、豊岡市で開催される「第6回コウノトリ未来・国際かいぎ」に出席した。加東から会場の豊岡市市民会館までは1時間40分余り。高速道路が但馬コウノトリ空港まで延びたためぐっと時間距離が短縮された。



会議は今日、明日の2日にわたり、基調講演やセッションが行われる。開会式では、奥野卓司実行委員長(山階鳥類研究所所長)の開会宣言に続き、主催者を代表し、齋藤元彦兵庫県知事、関貫久仁郎豊岡市長が挨拶した。来賓を代表して山下信一郎文化庁文化財第二課長が祝辞を述べた。

その後、山際壽一総合地球環境学研究所長・京都大学名誉教授

が「いのちをつなぐ共生社会ーゴリラに学ぶ」と題して、基調講演を行った。ゴリラの生態研究の第一人者である山際氏は、エボラやコロナウイルスの人間への感染の原因として人間による熱帯雨林の開発があったことから話を始め、屋久島での調査、動物、植物の生態のバランス、人間の活動、文化へと話を進められた。コウノトリの話ではなかったが、まさにゴリラを通してコウノトリと人間、自然と科学の共生について考えさせられる話だった。

今日は県下の新規感染者数は19人だった。「国際かいぎ」は厳重な感染防止対策がとられて実施されていた。衆院選の選挙運動も今日まで。明日は投開票が行われる。

88. 淡路花みどりフェアグランドフィナーレ 福田地域敬老会 そして衆院選で藤井ひさゆき氏4選

2021年11月01日

31日(日)、今日は衆議院選挙投開票日、ハロウィン、そして私の68回目の誕生日、という節目の日だった。

朝、8時過ぎに投票所へ。社小学校体育館に設けられた加東市第一投票所で投票した。



9時50分から加東市福田地域の第9回ふれあい敬老会に出席し、お祝いを申し上げた。74歳以上の約120人が出席され、トーンチャイムや落語などの余興を楽しまれた。コロナのために2年ぶりの開催となったが、地域づく



り協議会や区長会、関係者の皆様のご尽力で開催となった。

午後1時30分から、淡路の洲本市文化体育館で開催された淡路花博20周年記念「花みどりフェア」のグランドフィナーレに出席し、県議会を代表してご挨拶を申し上げた。式に引き続いて、淡路人形座と華道家假屋崎省吾さんのコラボで生け花の実演が行われた。初めての試みにもかかわらず、伝統文化の人形の動きと假屋崎さんの大胆な花生けが見事に調和していた。

夜は、西脇市内の藤井ひさゆき候補の選挙事務所へ。8時には当確が出て万歳。接戦が伝えられたが、立民、維新を引き離しての4選だった。4区の5人の自民県議、5市1町の首長らをはじめ、報告会には多くの支持者が駆けつけた。祝福の言葉とともに地元北播磨、兵庫、そして日本のために一層の活躍を期待する声であふれた。

89. 町議会議長会要望 12月議会1ヶ月前の諸会議 北播磨未来フォーラム

2021年11月02日

今日から11月。10時45分に登庁。さっそく兵庫ジャーナル社の取材を受けた。

11時30分から兵庫県町議会議長会の令和4年度県政要望を受けた。西谷会



長（香美町）、石堂副会長（佐用町）、池田副会長（稲美町）、城谷監事（福崎町）から要望内容の説明を受け、意見交換を行った。

昼食をはさんで、調査課のレク、警察本部のレクが続いた。

午後1時から各会派代表者会議、1ヶ月前議会運営委員会が行

われた。それぞれ政務活動費、議会改革等についての協議も行った。

午後2時30分から自民党議員団総会が行われ、各会派代表者会議、議運の結果が報告された。冒頭、昨日の衆議院議員選挙の結果について県連幹事長の藤田孝夫議員から報告等が行われた。

午後4時から県庁2号館5階会議室で、北播磨未来フォーラムが県庁と北播磨県民局のある社総合庁舎をオンラインで結んで行われた。齋藤知事が北播磨地域で活躍する各分野の県民と2030年のビジョンについて意見を交換するというもの。山田錦の生産者、土地改良区で疏水博物館活動に取り組む職員、日本酒の蔵元、蜂蜜生産者、移住者、パン製造者、播州織など地場産業や地域づくり活動で北播磨の魅力を発信する10人がその取り組みや思いを語った。北播磨の県議も同席したが、意見を述べる機会はなく少々欲求不満に。

午後5時過ぎに退庁。衆議院議員選挙結果は自民党がマスコミの予想に大きく反して単独で絶対安定過半数を維持した。また、立憲民主党と共産党の野党共闘は支持されず、維新が大幅に議席を増やした。兵庫県では、比例復活で当選者が続出し、23人の議員が誕生した。西脇市議選で当選を果たした議員からも喜びの電話をいただいた。

今日の県下の新規感染者数は2人。休み明けとはいえ、限りなく0人に近い数字だった。

90. 兵庫津ミュージアム初代県庁館オープン 来年には「ひょうごはじまり館」も

2021年11月04日

11月3日(火)、朝のラジオ体操をしたあと、玄関に国旗を掲げた。今日は文化の日。戦前は明治節で、明治天皇の誕生日をお祝いしていた。

10時から神戸市兵庫区に建設された初代兵庫県庁が復元され、兵庫津ミュージアムの初代県庁館として開館し、館内のイベント広場で式典が行われた。

オープニングとして地元の方々による法螺貝、兵庫木遣音頭、七宮神社の獅子舞が披露された。まず、主催者として齋藤兵庫県知事が挨拶をし、続いて、久元神戸市長、私が県議会を代表して



祝辞を申し上げた。次に田辺眞人名誉館長がミュージアム建設に至る約30年の経緯を紹介。千年前から港町として栄え、明治以降も神戸の中心として栄えた兵庫区は歴史や文化の宝庫であったが、戦災で殆どを焼失してしまった。その兵庫区には初代県庁として使用された兵庫勤番所の建物があったことから、その復元をめざして取り組んできたが、兵庫県が150周年を記念して初代県庁の復元、さらに「ひょうごはじまり館」を開設し、兵庫県発祥の地として、また、兵庫五国の魅力発信拠点として整備することが決まった。そして、今日、まず初代県庁が先に開館することになった、というものであった。

式では開館を祝って鏡割も行われ、その後は内覧会にうつり、庁舎として使用された建物や同心屋敷、取次役所などを見学した。庁舎ではAR体験もでき、伊藤俊輔（博文）らが表れ、兵庫県が設置されたばかりの頃、部下に指示する姿を体験することができ



た。館内は、仮牢や知事執務室、浴室、雪隠なども復元されていた。明治元年から154年目に、まさか、勤番所が復元され、自分らの仮想人物がいろいろ喋っているとはさすがの伊藤博文も想像できなかつただろう。

祝辞でも述べたが、ぜひ、県内の小中学生は一度はこの兵庫津ミュージアムを訪れる仕組みをつくりたい。現在も小学4年生が県庁見学に来ているので、ミュージアムの見学をセットで行うことにすればと思う。また、田辺名誉館長は、この「ひょうごはじまり館」を拠点に「兵庫学検定」を行いたいとの「夢」を披露された。県内の中学生には「ふるさと兵庫の魅力発見！」が配布されており、今は書店でも一版販売されていることから、ぜひ兵庫検定につなげたいとのことだった。大賛成だ。ちなみに現在の県庁は5代目にあたる。

朝晩は寒いぐらいだが、日中は上着いらずの暑さ。今日も汗ばむ一日だった。今日の県下の新規感染者数は25人だった。

91. 在大阪中国総領事が着任の挨拶に来訪 ひょうご議友会役員会で挨拶 長田区で実証実験の視察

4日(水)、久しぶりに朝歩く。そして、登校見守りに立ってから県庁へ向かった。

10時30分から「ひょうご議友会役員会」が開かれ、議長としてご挨拶を申し上げた。先輩の諸先生方に久しぶりにお出会いすることができた。

11時40分から在大阪中国総領事の表敬訪問を受けた。この度着任され、その挨拶を兼ねての訪問だった。総領事以



下8人の訪問で、これまでにない多人数だった。名刺交換の後、懇談。そして、記念品贈呈、記念写真撮影を行った。懇談では議長が会長を務める県議会日中友好議員連盟（総46名）の約50年の交流を振り返っての話や、今後の友好関係の発展について大阪・関西万博や広東ベイエリアの開発なども話題になった。令和2年の海南省友好提携30周年ではコロナのために議員団派遣は中止、来年は広東省友好40周年になる。



午後1時から全国都道府県議会自治功労者表彰、兵庫県議会議長表彰の式が行われ、対象となる和田有一朗議員に表彰状を授与した。和田議員は、今回の衆院選で維新から出馬し比例当選している。国政の場での活躍を期待したい。

午後2時から、長田区の北京料理の神戸飯店さんを訪問し、国が実施している実証実験についてのお話を聞かせていただいた。接種証明、陰性証明があれば4人以上のグループでの飲食が可能となる。建物の一角では抗原検査も行われており、5分程度で結果が出る。まだ客足は戻っていないとのことであったが、団体・グループ客の多い年末年始の予約は順調に入り始めているようだ。第6波が来ないことを祈るばかりだ。

県庁に戻り、夕方まで来客や事務整理をし、午後5時から神戸市内で美しい憲法をつくる兵庫県民の会の役員会に出席した。

今日の新規感染者数は11人。減少が続いている。

92. 横尾忠則現代美術館「恐怖の館」展へ

2021年11月07日

6日(土)、朝、社中央公園から市役所、百旗墓地のコースを歩いた。青野ヶ原台地の向こうに加西の善坊山が朝霧の上に浮かんでいた。

今日は、神戸市灘区にある県立美術館分館の横尾忠則現代美術館で開催されている「横尾忠則の恐怖の館」展を鑑賞した。エレベーター内の血糊、真っ暗な部屋と笑い声や叫び声の効果音の演出も。2、3、4階と作品を見てまわるうちに横尾忠則の世界に引き込まれていく感じだった。



週末の神戸は人出も多く感じられた。書店で本を購入した。昨日聴いた渋沢栄一の生き方について触発された。

今日の県下の新規感染者数は23人だった。人出は多いがマスクの着用や店の出入りの消毒、検温などが行われ、感染防止行動がとられている。

93. 「ばかぢから i n 鴨川の郷」パワーリフティングで加東、北播磨の活性化

2021年11月08日

7日(日)、10時から、加東市上鴨川の「やしろ鴨川の郷」で行われた「ばかぢから i n 鴨川の郷」に出席し、冒頭、ご挨拶を申し上げた。

このイベントは加東パワーリフティング協会が主催し、地域をパワーリフティングで活性化したいとの思いで、これまで加東は



じめ丹波などで開催を重ねてきた。今では、50人以上の会員がいるという。また、代表の笹倉氏は環境問題に関心を持ち、薪ストーブの普及にも取り組み、薪割りでトレーニングという呼びかけも行っている。自身はアジア選手権優勝という経歴を持ち、同協会の林さんは世界大会にも出場し、優勝経験ももつ。

今日は青空と紅葉がまぶしい好天の下、遠くは北海道からの出場者もあり、力自慢の選手達がバーベルをあげて記録に挑んだ。帰りに県立嬉野台生涯教育センターに寄った。

今日の県下の新規感染者数は2人だった。政府の分科会では、新たな指標の話が出ており、新規感染者数の発表はなくなるとも。感染者数より、病床使用率、重症者数が今後の目安となるのか。

94. 兵庫県文化賞等四賞及び芸術奨励賞贈呈式 うれしの学園生涯大学40周年

2021年11月10日

9日(火)、9時には加東市下久米の県立嬉野台生涯教育センターへ。今日は県の地方高齢者大学「うれしの学園生涯大学」の創立50周年式典と学園祭が行われた。コロナ感染防止のために受講生のみの参加となったが、藤井ひさゆき衆議院議員はじめ、北播磨選出県議会議員、



仲田三木市長、藤本加東市教育長、上田北播磨県民局長、生涯大学学友会、うれしの友の会役員らが出席し、共に50年を祝った。藤井議員に続いて、私から県議会を代表してお祝いを申し上げた。

その後、加東事務所で岩根加東市副市長、高瀬技監が来所。市政に関する報告や県政に関係する案件の相談を受けた。



11時過ぎには登庁。午後2時から県公館で行われた令和3年度兵庫県文化賞等四賞及び芸術奨励賞の贈呈式に出席しお祝いを申し上げた。四賞とは文化賞、科学賞、スポーツ賞、社会賞で、各分野で功績のあった方々に贈られた。

また、芸術奨励賞は将来一層の活躍が期待される方々に贈られたもので、優れた活動や功績が評価されたもの。今回、東京オリンピック・パラリンピックに出場し活躍した兵庫県関係の選手に特別選手賞が贈られた。

今日の県下の新規感染者数は16人。寒くなって風邪を引かないようにしなければ。

95. 宗務行政功労者感謝状贈呈式が県公館で

2021年11月11日

10日(水)、10時前に登庁。10時30分から県公館で行われた兵庫県宗務行政功労者感謝状贈呈式に出席し、お祝いを申し上げた。

兵庫県宗教連盟に加盟する神道、仏教、キリスト教はじめ各宗教団体の役職員のうち、県の宗教行政の推進に寄与するなど顕著な功績のあった方々に感謝状が贈られた。コロナ禍の中、多くの

人々が不安や困難に直面する中、そうした人々の心に寄り添い、支えとなって活動される宗教連盟の皆さんの役割は大きく、多くの制約の中でのご尽力に心から敬意を表した。

その後は、議長室で執務。

ワーケーション知事室の新聞報道について知事秘書課への問い合わせ、同僚議員との情報交換などを行い、午後5時に退庁した。



96. 但馬広域行政組合から要望、県行政書士会と懇談

2021年11月12日

11日（木）、10時前に登庁。10時30分から但馬広域行政組合（豊岡市、朝来市、養父市、香美町、新温泉町）の首長さんらが来訪された。内容は、県議



会議員の定数、選挙区割りについての要望だった。現在、議員定数等調査特別委員会で検討が行われており、広い面積を有する但馬地域の声を県政に反映するためには、現状3人の議員数を堅持してほしいというものだった。人口減少が続く但馬地域の代表選出についての地元の切なる要望だった。

午後1時30分から兵庫県行政書士会の役員さんら6人が挨拶に来られた。懇談では、デジタル化が進む中で、行政



書士の活用をといた話題が出た。

今日は、議会各会派が知事に対して来年度予算に係る要望を行った。

今日の県下の新規感染者数は4人。ついに平日でここまで減少したか、と思わず数字をもう一度確かめた。

97. 兵庫県社会福祉大会に(南あわじ市) 加東シニアクラブのグラウンドゴルフ大会も

2021年11月13日

12日(金)、ラジオ体操で一日が始まる。朝の登校見守りに立ってから、加東市下滝野の総合運動公園の多目的グラウンドへ。加東シニアクラブ連合会のグラウンドゴルフ大会が開かれ、役240名の会員が参加した。五峰山から吹いてくる風は少々冷たいものの青空が広がり絶好のプレー天気だった。

10時から加東事務所で、加古川流域土地改良事務所から23日に行われる東条川疏水の日の行事についての説明や打ち合わせを行った。

午後1時、南あわじ市の文化体育館で行われた第69回兵庫県社会福祉大会に出席し、県議会を代表してご挨拶を申し上げた。今年には社会福祉協議会創立70周年にもあたる。多くの表彰者の中に、加東市の元社会福祉協議会会長の吉村さんや民生委員の田中さん、保育園長の高島さんが居られた。



午後4時、県庁に戻り、財政課、調査課、総務課からのレクを受け、5時前に退庁した。

今日の県下の新規感染者数は10人。国では飲食店での人数制限撤廃の検討がなされているとの報道もあった。第6波に備えつつ、経済を回復させ、日常を取り戻す。今日からふるさと応援「ひょうごを旅しようキャンペーン」の本格実施が始まった。

98. 加東市金婚夫婦を祝う会 社小リサイクル

2021年11月14日

13日(土)、今朝は社小学校のリサイクル運動で、自宅と事務所の新聞や雑誌、段ボール、アルミ缶など対象物をまとめて指定場所に運んだ。PTA活動の一つであり、年に2回行われる。

10時30分から、加東市やしろ国際学習塾の3階大会議室で令和3年度金婚夫婦を祝う会が行われた。今年は69組の申し込みがあり、そのうち32組が出席した。昭和47年に結婚され、半世紀



の人生を共に歩んでこられた。この年、私は高校を卒業し大学に入った。自分の人生を振り返ってみてもあらためてその道のりの長さを思わずにはおられない。写真は、懐かしい旧3町時代の映像をみる出席者、安田市長からお祝いの記念品を受ける代表。昨年はコロナ感染拡大のために行われず、今年もオープニングの音楽演奏や乾杯なども省略された縮小開催だった。

99. 全国都道府県議長会の要請活動や東京兵庫県人会などへに出席

2021年11月18日

15日(月)、16日(火)は、議長として、会議、国への要

望活動を行った。17日(水)は県庁で常任委員会への出席など移動、多忙な日程だった。

まず、15日は、愛知県庁で13都道府県議会議長会に出席した。歴史的建造物の庁舎の会議室で行われ、政令指定都市をもつ13都道府県により構成されている。



会議では、各都道府県からの意見書の提案が行われ、兵庫県からの「児童養護施設等を退所した者への支援の充実」、「新型コロナワクチン接種の推進」に関する意見書の2案を含む全意見書が決定された。

15日はそのまま東京へ移動。

16日は、全国都道府県議長会の副会長として、会長、副会長(8名)の役員で「令和4年度政府予算編成に関する決議・提案」(10月の全議総会決定)についての要請活動を行った。

主な内容は、アフターコロナに向けた地域経済の早期回復、地方税財源の充実確保、地方議会の団体意思決定機関としての位置づけを明確に規定する地方自治法の改正等の早期実現、東京電力福島第一原子力発電所事故対策など。

要請先は、竹内公明党政調会長、松野内閣官房長官、栗生副長官、木原副長官、磯崎副長官、福田自民党総務会長だった。

都道府県会館では、待時間に県の東京事務所を訪問した。また、要請活動終了後、有楽町の東京交通会館にあるふるさと回帰支援センターを訪問し、兵庫県のカムバックふるさとセンターも訪れた。地階にある兵庫県のアンテナショップも覗いてみた。日本酒コーナーも充実していた。

夜は、品川のホテルで行われた東京兵庫県人会に出席した。総会では、菅谷会長が退任し、池田新会長が就任した。また、齋

藤知事、井戸前知事も出席し、それぞれ挨拶を行った。関東加東応援団の芹生会長はじめ懐かしい人にもお出会うことができた。終了後、神戸へ戻り、そのまま泊。



17日(水)は神戸市内の宿泊所から登庁。10時30分から文教常任委員会、午後1時から関西広域連合連携協議会、3時から兵庫県旅館ホテル生活衛生同業組合と観光議員連盟との意見交換会、4時から加東土木事務所長からの説明と日程が続いた。その間、県保育推進連盟・社会福祉推進連の井藤会長と懇談も。

姫路市内の養鶏場で鳥インフルが発生し、県では緊急に対処を行っている。約15万羽の殺処分や移動制限、搬出制限などを行う。

100. 末松文科大臣を訪問、県選出国会議員への挨拶回りや県派遣職員を訪問

2021年11月19日

18日(木)、上京し、県選出国会議員や県派遣職員を訪問し、末松信介文科大臣とは教育問題について懇談した。

コロナの感染状況が落ち着き、また、衆院選挙も終わり、この機にあらためて県選出の国会議員等への挨拶回りや県派遣職員を訪問し、激励を行うことができた。

文部科学省では、加田裕之法務大臣政務官に同行いただ



き、末松信介文科大臣を訪問し、教育行政、教育現場の課題などについて懇談をすることもできた。

また、自民党本部に高市早苗政調会長を訪ね、ご活躍への期待を申し上げた。総務省、衆参両議員会館、党本部と駆け足の訪問だったが、これを機に県政推進への足がかりとしたい。

101. 県議会サテライトゼミで大学生と意見交換 原田の森ギャラリーで全国手工芸コンクール作品展

2021年11月20日

19日（金）、9時30分には、神戸市灘区の前田の森ギャラリーに。県・県芸術文化協会・県婦人工芸協会の主催で、第33回全国手工芸コンクールが開催された。



10時から開会式が行われ、県議会からは、議長、副議長、文化振興議連会長の各夫人が来賓として出席した。正木手工芸協会会長からコロナ禍の中、手工芸展が開催できたこと、多くの作品の出展があったことなどの喜びの声を聞かせていただいた。

会場正面には、文部科学大臣賞の浮世絵きるとの大作が展示されており、その精緻さや大きさに圧倒された。県議会議長賞はかんなくず工芸のキャスケードブーケだった。そのほか、シャドーボックスや押し花アート作品など、協会役員さんにご案内をいただきながら鑑賞し、手工芸の世界を堪能した。

午後は県庁で議事課、調査課からレクを受けたあと、午後2時から県議会の会議室で県議会サテライトゼミが行われ出席した。

今回は神戸学院大学の関谷ゼミの学生19人が参加し、議場見

学や事務局長の講義を聴いたあと、レポートの発表を行った。プラゴミの回収、衣料支援、福崎町の地方創生などをテーマに学生が調査、考案した対策について、出席した各会派の政調会長や関係常任委員長などから活発な質問、アドバイスが出された。コロナ禍の中、活動が制約される中での発表準備も大変だったと思う。若い人の県政課題への関心を高め、政治参加の契機とするという趣旨のサテライトゼミ。議員にとっても貴重な機会になった。



今日は皆既月食。帰途、欠けていく月を時々止まって観察した。帰宅した頃にはほぼ全体が欠け、幻想的な赤銅色の月が浮かんでいた。

鳥インフルの発生、防疫対策で、県職員、自衛隊員、警察官による懸命の対応が行われている。新型コロナウイルス、そして鳥インフルエンザとウイルスとの戦いが続いている。

102. 「高校生版県議会だより」を編集した長田高校生に感謝状を贈呈 新規感染者0人

2021年11月23日

22日(月)、朝から雨が降り始めた。登校見守りも久しぶりに傘をさして立った。

11時前に登庁。市町振興課、議会総務課からのレクを受けた。

12時30分には、兵庫県立長田高校へ。高校生版の県議会だよりを編集してくれた3人の



高校生に感謝状を贈呈した。県下の全高校生に配布され、県議会の役割や若者の政治参加などについての議長と副議長のインタビューが記事にまとめられている。友人や家族からの激励の反応もあったとか。また、高校時代に貴重な経験をさせてもらったことを今後に活かしたいといった感想も聞くことができた。

県庁に戻り、事務整理や打ち合わせなどを行った。寒冷前線通過の影響で一日中雨が降り続いた。

週明けの議長執務室の机上には、通信物や書類などが積まれているが、その中に『兵庫新報』第3号、『Wedge』12月号もあった。議長活動が取り上げられていたりするので興味深く読んでいる。

今日の新規感染者数の発表は0人だった。欧州では1日何万人という感染者が出てロックダウンなどの規制も強化されている。冬を迎えることから気を緩めるわけにはいかない。

103. 東条川疏水の日ーネットワーク博物館会議総会・活動発表と東条川二期地区事業の集い

2021年11月24日

23日(火)は、「勤労感謝の日」、「新嘗祭」の日だ。

朝、忠魂碑、佐保神社、大師殿のコースを歩き、祈りを捧げる。家では、玄関に国旗を掲げた。コロナ禍を体験して、日常生活の中にこのような節目になる日と行事はやはり必要だとの思いを強く持った。

今日はもう一つ、「東条川疏水の日」でもある。昭和26年11月23日、鴨川ダムが完成した日を記念して、東条川疏水ネットワーク博物館が申請して正式に認められ制定されたもの。

10時から加東市地域交流センター(旧称滝野文化会館)大ホールで令和3年度東条川疏水ネットワーク博物館会議の総会・活動報告会が開かれた。10年間の歩みを踏まえ、新たに「疏水学

習群」と「つなげる取組群」の2本立ての構成で活動を展開していくことや新規会員の承認などが決定された。活動報告では、県立社高校生活科学科の女子生徒が開発した加東市産のもち麦や桃、酒かすを使ったパウンドケーキやスープカレーなどのレシピを紹介。また、谷口神戸芸術工科大学准教授がコーディネーター役をつとめ、小野市立小野小学校の内藤教諭が疏水学習の取組、大阪大学の松本助教がソーシャルイノベーションの取組について発表した。また、南楚兵庫教育大学教授が疏水学習や地域学習についてコメントを行った。40年程前の教員の駆け出しだった頃、「東条ダムと嬉野台地の開発」という社会科学習単元の開発で、ダムと水路の虜になって「水」の道を子供達と追いかけた日々のことを思い出しながら、若い社会科の先生が熱心に疏水学習に取り組んでいる姿に感慨一入だった。



午後2時から同じ会場で、国営土地改良事業「東条川二期地区」事業着手及び推進の集いが開かれた。鴨川ダム、水路、サイホン、ため池など水利施設の老朽化による機能低下や災害リスクの増大に対する対策として補修工事を行い安定的な水の供給を図る事業だ。まさに持続可能な農と生活の発展を確保するための欠かせない大事業である。藤井衆議院議員、宮崎農水大臣政務官、大坪近畿農政局長、寺尾県農政環境部長、藤原、村岡、藤本の3県議はじめ、



多くの関係者が出席し、私も県議を代表して祝辞を述べた。事業概要の説明や講演も行われた。

今日は県下の新規感染者数は6人だった。祝辞時点では2人だったが、いずれにしても一桁が続いている。

104. 丹波篠山市で兵庫県連合自治会大会 JAみのりの取材で組合長と懇談

2021年11月26日

25日（木）、朝の登校見守りに立った。一緒に立っている方との話題は中学生の同級生刺殺事件や稲美町の放火事件。小学生や中学生が命を奪われる事件が続き、気が重い。

午前9時30分から約1時間、加東市社のJAみのり本所で月刊「MINORI」の令和4年新年号の取材を受けた。神澤代表組合長との対談形式で、みのり管内の加東、三木、西脇・多可の農業や地域活性化などについて懇談した。

午後1時、丹波篠山市の田園交響ホールで開催された第52回兵庫県連合自治会大会に来賓として出席した。オープニングでは地元で活動する楽団の演奏が行われた。大会では自治功労者表彰、会長表彰などが行われた。私は県議会を代表してご挨拶を申し上げた。



自治会の活動はコロナの影響で大きな制約を受けてきたが、人の絆、地域の絆を活かして明るい地域社会づくりに貢献いただいている。ここにきて感染者減少が続き、日常を取り戻しつつあるなか、自治会の活動も感染拡大防止に努めながら少しずつ元に戻

りつつある。

丹波の山々は紅葉が進み、美しい景色が広がっていた。無電柱化が完成した河原町妻入商家群の通りには、昔ながらの家並みの風情を楽しむ観光客が見られた。

今日は県下の新規感染者数は7人。県では対策本部会議が開かれ、飲食店の人数制限の撤廃などが決まった。

きょう11月25日は、昭和45年、三島由紀夫が市ヶ谷の自衛隊で憲法改正への決起を呼びかけ、自決した日だ。私は高校2年生だった。大学生の時には、仲間と大学構内で三島由紀夫・森田必勝両烈士の追悼祭を行ったこともあった。あの事件から半世紀余りが過ぎた。

105. 自治体病院開設者協議会からの要望を受ける

2021年11月27日

26日（金）、10時30分頃登庁。さっそく観光関係でDestinyネーションキャンペーンについての説明を受けた。

10時50分から兵庫県自治体病院開設者協議会からの国要望、県への要望を受けた。コロナウイルスの感染状況が落ち着いているが、今後のことは不透明である。そうした中、公立病院が果たすべき役割は大きい、財政的な後押しがなければ、それも持続できない。各自治体から現状についてもお聞きした。



終了後、議会事務局総務課、議事課、人事課から代表者会議や自治功労者表彰などについてレクを受けた。続いて、住宅政策課から空家対策、都市計画等についての条例改正案のパブリックコ

メントの内容について説明を受けた。

今日の県下の新規感染者数は5人だった。県は、病床確保、療養施設を増やし、第6波に備えている。また、飲食店での人数制限について、認証店での制限は無くし、2時間以内での利用とした。ただ、南アフリカで新たな変異株が出ているとの報道もあり、欧米での感染再拡大等懸念材料が多い。

今日は嬉しいことがあった。要望関係者の中に教員時代の教え子がおり、懐かしい対面となった。30年余り前の中学生だった頃とずいぶん変わっていたが、澄んだ大きな目は変わっていなかった。立派に成長し、活躍している今の姿に嬉しさがこみ上げてきた。

106. 自民県連セミナーで高市政調会長講演 加東で「社のおにわ亭」や「和心書道展」も

2021年11月28日

27日(土)、朝、忠魂碑、佐保神社、大師殿のコースを歩いた。佐保神社では境内の倉庫建替のため、東の石垣部分が取り除かれていた。

午前は、加東市内で開催された2つの催しに。一つはやしろショッピングパークB i o 2階の多目的スペースで開催された第47回和心書道会の書道展。小野里会長夫妻の作品はじめ、和心会の会員、うれしの学園生涯大学や加東市高齢者大学の書道部員らの作品が展示された。

もう一つは、社商店連合会が中心となって取り組んでいる商店街活性化をめざした「社のおにわ亭」。商店街のほ



ぼ真ん中にある古い米屋さんの建物をメイン会場にして駐車場や商工会館などに多くの店が出て、古民家の風情を楽しむとともに手作りのパンや工芸品、ピザなどが販売された。よく晴れて若い子供連れ家族の姿が目立った。11時過ぎに、すぐ近くの関電タワーの天辺に一羽のコウノトリが飛来し、瑞祥と人々の注目を集めた。

午後2時には神戸市内のポートピアホテルで自由民主党兵庫県連政経セミナーが開かれ、多くの人に参加した。本来なら講演と立食パーティーの2本立てだが、コロナ感染防止のため、講演のみとなった。講師の高



市早苗政調会長は、新たな変異ウイルスの侵入を防ぐための水際作戦の徹底を政府に要請したこと、経済回復のための大型補正予算、サイバー攻撃への対処など経済安保政策の推進などを話した。もっと外交や憲法改正などの話も聞きたいという声もあったが、いずれにせよ、高市政調会長への期待は大きい。

藤田孝夫県連幹事長（県議）は、自民党こそが改革政党であり、自民への批判票が維新に回らないよう自民党自身が改革を進め、来る参院選、統一地方選に備えなければならないと締めくくった。

南アで発見された新たな変異株はオミクロン株と名付けられた。すでに欧米やアジアでも出ており、厳戒が必要だ。ちなみに今日の県下の新規感染者数は5人だった。

107. 不登校を考える講演会―県内各地から親の会やフリースクールの代表者らが参加

2021年11月29日

28日(日)、今朝は冷えた。ベランダの床部分が薄く凍っていた。隣の駐車場の屋根も霜で真っ白だった。

午後1時から小野うるおい交流館エクラの会議室で「不登校を考える講演会」が開かれ出席した。主催は加東市に拠点をもつ「不登校・発達障害の子どもをもつ親のこころの居場所 あんりゅ」さん。代表の方からご案内をいただき、出席してご挨拶を申し上げた。小野市、加東市の女性市議会議員さんも出席された。会場には、北播磨各市や丹波市、神戸市、姫路市、加古川市、市川町などの広い地域から親の会やフリースクール関係者が参加し、熱心に聴講された。

講師は、「明日が見える」所長、「星の会」代表の加嶋文哉氏。大分県で小学校教師をしていた経験や自身も不登校の子どもをもつ親として経験し考えてこられたことをもとに講演活動や相談などを行っているとのこと。話を貫くものは、「不登校の主体は子どもである」ということだった。教育機会確保法によって、学校復帰だけをめざすのではなく、子ども社会的自立をめざすこととなった。社会的自立の事例として「メダカ屋に行った子」の話が紹介された。

昨年の不登校児童生徒数は19万人を超え、兵庫県内でも9千人を超えている。県議会の文教常任委員会で不登校について質疑が行われた際、不登校の親がどこかに相談している率は約50%と低いことが指摘された。今日の講演では、学校や教育委員会、専門機関などができない役割が「親の会」にはあり、「親が楽になれば、子ども楽になる」という言葉もあった。

今日の県下の新規感染者数は3人だった。オミクロン株が世界

各地で発見されているという報道が不気味だ。明日は、県議会コロナ対策調整会議が開かれる。

108. 県議会サテライトゼミ(関西学院大学) 各党派代表者会議やコロナ対策調整会議

2021年11月30日

29日(月)、10時50分頃登庁。11時から12月1日に開会する12月議会の議事について議事課からレクを受けた。その後、豊岡市議会の正副議長さんが来室され、選挙区定数についての市議会要望をいただいた。

午後1時から県議会コロナ対策調整会議、続いて各党派代表者会議が開かれた。コロナは現状では小康状態が続いているが、年末年始、新たな変異株の出現等、懸念される状況でもあり、次なる波に備えての医療体制づくり等について説明を受けた。代表者会議では、期末手当の支給率に係る条例改正、議員報酬の特例減額の取り扱い等について、協議を行った。また、北朝鮮人権週間におけるブルーリボン着用についての要請に関する周知をお願いした。

終了後、議長室で調査課と地方六団体の国への要望内容等について協議を行った。

午後3時30分頃から県議会サテライトゼミが開かれた。今回は関西学院大学の清水ゼミの3年生12人が4グループに分かれて、シェアサイクルの普及、オンラインを活用した地域コミュニティ活性化、持続可能な観光開発、持続可能な団地開発のテーマで発表を行い、出席した議員と質疑、意見交換を行った。コ



コロナ禍の制約の中、調査、研究を行い政策提案にまとめた学生の意欲、内容を高く評価したい。

6時前に退庁。すでに外は暗くなっていた。今日の県下の新規感染者数は2人。オミクロン株の発生が報じられてまだ4日目というのにアフリカ、中東、ヨーロッパ、オーストラリア、カナダ、香港など世界各地でこの変異株の感染者が確認された。岸田首相は、オミクロン株の侵入を防止するため、外国からの入国を全面停止することを発表した。

109. 12月県議会開会・永年勤続議員表彰・中小企業団体兵庫県大会・神戸姫路日経懇話会

2021年12月02日

1日（水）、朝の登校見守りに立ち、県庁に向かう。

9時頃登庁。11時の本会議開会までの時間に、会議や財政課、議会事務局などのレクが入った。9時30分から自民党議員団の総務会、10時から議会運営委員会、10時30分から自民党議員団総会が開かれた。



11時、第356回定例県議会が開会し、冒頭、議長として開会の挨拶を述べ、議事を進めた。会期は今日から13日までの13日間。議案上程、知事の提案説明が行われた後、職員の期末手当支給

率引き下げに関する条例改正案が委員会審査に付託された。総務、文教の2委員会で審査が行われた後、本会議が再開され、討論の後採決され賛成多数で可決された。続いて、議員の期末手当支給率の引き下げに関する議員提出の条例改正案の採決が行われ可決

された。

本会議終了後、永年勤続議員の功労者表彰式が行われ、30年、20年、15年、10年の各議員に対して、全国都道府県議会議長賞の伝達、兵庫県議会議長賞の授与が行われた。



昼食（弁当）を食べ、1時過ぎには神戸市内のホテルへ。第63回中小企業団体兵庫県大会が行われ、祝辞を申し上げた。2年ぶりの大会とのことだった。加東市関係の方や知人にもお出会いすることができた。

県庁に戻り、スポーツ振興課からのレクや来客があり、4時には神戸市内のホテルで行われた神戸姫路日経懇話会に出席した。今回は、川崎重工が、ロボット、新しいモビリティ、水素などに取り組み、社会課題に果敢に挑戦し続けていることについての同社社長の橋本氏の講演だった。「いかにはやく提案し実現していくか」を具体事例で紹介され、参考になった。



今日は、朝から日程がぎっしり詰まっていた。早や師走。オミクロン株の感染者の2例目が確認された。今日の県下の新規感染者数は5人だった。気を緩めず、次なる波に備えながら、日常を取り戻し、経済を回していく。

110. 本会議—代表質問日

2021年12月07日



6日（月）、8時30分過ぎには登庁。9時から議会運営委員会、9時30分から自民党議員団総会が行われた。

10時本会議が開かれ、今日は各会派の代表質問が行われた。

午前は、自民党、県民連合。午後は自民兵庫、公明、維新の5会派による質問が続いた。議会との関係、コロナ対策、予算編成、行財政運営、長期ビジョン、万博、観光振興、ワーケーション知事室、道路整備などについて、齋藤県政の姿勢を質した。知事は、鳥インフル対応のために実施できなかったワーケーション知事室を今月中旬に実施する計画であると答えた。

終了後、議長室でビジョン課、財政課からレクを受けた。今日の県下の新規感染者数は0人だった。全国的にも0人が広がっていた。オミクロン株は気懸かりではあるが、水際対策と、医療の備え、日常の感染防止対策をしっかりと続けて拡大を防いでいくしかない。明日は一般質問が始まる。

111. 本会議—一般質問2日目 議運や団総会、研究会等

2021年12月09日

8日（水）、今日は大東亜戦争開戦から80年の節目となる日。8時40分頃には登庁。9時から議会運営委員会、9時30分から自民党議員団総会が行われ、10時から本会議が開かれた。

今日は一般質問の2日目。午前2人、午後3人の5人が登壇し質疑質問を行った。自民党議員団の吉岡たけし議員（神戸市垂水



区)は、開戦の日にふれながら、兵庫県戦没者追悼式や沖縄の「のじぎくの塔」「島守之塔」での追悼祭、南あわじ市の若人の広場での全国戦没学徒追悼祭のようすを動画配信するなどしてはどうか、との提案

を行った。また、県民連合の栗山雅史議員は、齋藤知事の知事業務の見直し、兵庫県の経済成長などの公約について、具体的に知事の考えを質した。その上で、選挙公約は大事な有権者との約束でもあり、いずれ評価の時が来るので、しっかり取り組んでほしいとの指摘があった。

昼休憩時に、議事課のレク、自民党議員団の総務会、総務・幹事会、議員団総会が行われた。議案、請願等の態度についての協議も行われた。

一般質問の最後は自民党議員団の大谷かんすけ議員（尼崎市）。広報監の設置はじめ5問について質した。自身の感染体験から第6波への備えを万全にすることの重要性を指摘した。これで一般質問は終わり、議案、請願が常任委員会に付託された。

終了後、当局レクを受けた。その後、教育研究会に出席し、退庁したのは午後6時を回っていた。

今日、自民党県議団の松本裕一議員から嬉しい話を聞いた。松本議員の質問の傍聴者の中に、「議長は自分が小学校2年生の時の担任だ」と言った人があったということだった。教師になって最初に赴任した加古川市の川西小学校で最初に担任をした2年生の男の子だ。すぐに当時の可愛い顔や名前が浮かんできた。42年前のこと。もう50歳ぐらいか。

今日は県下の新規感染者は12人。明日は常任委員会が開かれる。

112. 兵庫県・神戸市調整会議

2021年12月11日

10日（金）、朝の登校見守りに立った。各地で子供の通学の列に車が突っ込むという事故が起こっている。朝のこうした見守りが不審者や交通事故から子供を守ることに役立っていることもあると思うと、「おはよう！」の挨拶にも力がこもる。

午前中は事務所で事務整理などを行った。年末年始の諸行事の案内への返事やスケジュール調整も。

午後3時30分登庁し、4時から神戸市役所で開かれた令和3年度兵庫県・神戸市調整会議に出席した。県、市それぞれから施策等協議事項の説明が行われた後、県、市の議長、副議長が発言し、意見交換を行った。私からは、新神



戸トンネル南伸部の具体化、兵庫津の初代県庁館、はじまり館の開設と誘客、活性化について提起した。久元神戸市長は、新神戸トンネルの箕谷から北播磨へ向かう神戸加東線の湊谷を縫うように走る狭隘部分をトンネルで抜くことで問題を解消し、南伸部の実現で神戸港、神戸空港へのアクセスを強化していきたいと答えた。神戸市の南北軸の強化のみならず、兵庫県の内陸部と神戸港、空港を結ぶ道路軸の整備を県市協調で推進すべき課題だ。

議長就任から半年が経ち、12月定例議会も13日に最終日を迎える。

113. 12月定例県議会閉会 コロナ対策の補正予算や 北朝鮮による拉致に関する決議も

2021年12月14日

13日(月)、朝の登校見守りに立ち、県庁へ。9時30分頃登庁。10時から議会運営委員会が開かれ、本日の議事日程などを協議した。10時30分から自民党議員団総会が行われ、議運の結果報告などが行われ、今年最後の団総会となることから執行部の挨拶があった。小西幹事長曰く、「まさに激動の一年だった」「議員各位、職員の皆さんのご協力に深く感謝します」の言葉に感慨深いものを感じた。

11時本会議が開かれた。午前、午後にわたり、開会日に上程された議案等、そして今日、追加上程されたコロナ対策などの補正予算案等について、各会派代表による質疑、常任委員会審査、表決が行われた。



今期定例会で可決された主な議案は、職員の給与や議員の報酬等に関する条例の一部改正、補正予算、条例など22件。「北朝鮮による日本人拉致問題の啓発活動を推進する決議」(全会派一致)。請願は2件「18歳以下への10万円相当給付をおなかの赤ちゃんにも適用することを求める意見書提出の件」他1件の2件を採択。意見書は請願による発議分2件を含め11件を可決した。



本会議終了後、各会派への挨拶回り、記者クラブ発表、議連の

会合出席などが続き、退庁したのは午後6時を過ぎていた。

今日、記者クラブの廊下に記者が群がっていた。オミクロン株の濃厚接触者の県内在住者が36人という発表があった、ということだった。

明日は14日、赤穂義士討ち入りの日だ。加東市家原の観音寺境内には四十七義士の墓碑がある。今年は法要のみが営まれる。早くコロナを収束させ、義士祭が盛大に行われるようにしなければ。

114. 赤穂義士追善法要—加東市家原の観音寺で

2021年12月15日

14日（火）、10時過ぎに加東市家原の観音寺へ。今日は赤穂義士討ち入りの日にちなんで追善法要が行われた。コロナ感染防止のために祭りの諸行事はなく、本堂で読経、義士の墓碑に線香を供えて、遺徳を偲んだ。先日の地震で、四十七義士の墓域の塀の基礎部分の石垣の一部が崩れていた。



法要のあと、歩いて近くの加東市民病院で整形外科の診察を受けた。2週間前、胸を強打した部分の肋骨が折れていた。日常の動作は無理をしなければ特に問題はないが、咳やくしゃみ、しゃっくりなどをすると痛みが走る。夕方には、市内のかかりつけの診療所で定期診察を受けた。待合室で知人と出会い、話が弾んだ。



午後、事務所で来客があり、相談を受ける。また、電話での相談もあった。路上で出会った友人としばしの立ち話も。今日の県下の新規感染者数は3人だった。

115. 「ひょうご議友会」の総会—諸先輩の懐かしい顔が 安田加東市長が4選不出馬

2021年12月16日

15日(水)、9時30分登庁。

10時から「ひょうご議友会」(兵庫県議会議員として8年以上)の総会が開かれるので、一足先に会場へ入り、出席された先輩諸氏に挨拶をし



て回った。お元気そうで、また、懐かしい思いがした。井澤会長に続き、現議長としてご挨拶を申し上げた。今日は総会、研修が予定されており、11月に開館した兵庫津初代県庁についての講演や現地調査も行われると聞いた。

総会退席後、議長室で北播磨県民局からの説明を受けた。昼前には、県庁1号館前の広場で行われた北播磨物産市で、日本酒、黒豆、いちご、葉ボタン、みかんなどを購入した。県の農林水産技術総合センター、県立農業大学校などで採れたもので品質は保証付き。今年は収穫祭などの催しがなかったので残念に思っていたところだったのでよかった。

午後、議長室で執務。同僚議員との情報交換や電話連絡などをし、3時過ぎには退庁。加東に戻り、市内を回った。話題は安田市長が今日の市議会で4期目の立候補をしないと発言したことだった。メールも次々に入った。体調不良が理由とのこと。

今日の県下の新規感染者数は5人だった。

116. 政務活動調査等協議会

2021年12月17日

16日（木）、朝の登校見守りに立った。

昼前には登庁。12時50分、「ひょうご農林機構」から要望を受けた。会長の藤本和弘さんから、令和4年度の兵庫県の農業・農村施策への意見、県下の農業委員会の活動ぶりや耕作放棄田の活用などについて伺った。



13時30分から、県議会の政務活動費調査等協議会が開かれた。兵庫県議会は政務活動費については使途問題から徹底した見直しを行ってきた結果、全国都道府県議会では、トップの適正さ、透明性を連続して維持している。今日の協議では、数件の課題について、各会派代表、学識の委員の意見交換を行った。

終了後、議長室で、健康増進課、都市政策課、景観形成室などの説明が続いた。終わったのは午後5時を過ぎていた。明日は文教常任委員会が開かれる。

今日の県下の新規感染者数は4人。日本国内の感染状況が落ち着いているなか、欧米、韓国ではデルタ株の感染再拡大が続いている。さらにオミクロン株の感染も広がっている。新型コロナウイルスとの闘いはまだまだ続いている。

117. 文教常任委員会 兵庫DC推進協議会

2021年12月18日

17日（金）、朝の登校見守りに立った。昨夜の雨で、玄関の南天の赤い実に水滴がついていた。昨夜は、骨折した肋骨とその

周辺が痛み、よく眠れなかった。

10時過ぎには登庁。今日は文教常任委員会が開かれ、私学教育の充実支援、兵庫県公立大学法人への支援と県内大学との連携について調査が行われた。「兵庫県の公教育の一翼を担う私学」というフレーズがいつも使われる。県内私立高校の生徒数は全体の4分の1を占めている。公立と私立がそれぞれ役割を担いながら兵庫県の教育を支えている。大事なことは、生徒、保護者が学びたいことを学びたい学校で、という選択肢を保証することだ。県は、私学振興助成として、私立高校等への経常費補助、授業料軽減補助等を行っている。こうした支援とともに少子社会の進行する中、入試制度や試験日程など、生徒の進路選択が保証されるように私学と県教委でしっかりと協議を行っていくようすることが大事だ。

午後は、文教常任委員会が再開され、委員会の今年の特定テーマである「児童生徒等に対する新型コロナウイルス感染症の影響及びその対応」について、有識者のお2人から講演を聴いた。県スールカウンセラー・スーパーバイザーの中村経子氏、兵庫県立大学大学院教授の富永良喜氏から、スクールカウンセラーの時間の確保、「心の健康授業」の必要性、ストレスチェック等について現場の実態や調査統計等にもとづいた指摘、提言を受けた。富永先生には、兵庫教育大学勤務時代からご指導をいただいている。

午後2時30分、県公館で行われた兵庫DC（ディスティネーションキャンペーン）推進協議会の設立総会に途中から出席した（写真）。令和5年に実施されるJRグループと地域が一体となって行う全国規模の観光キャンペーンの兵庫県での実施を推進していくための組織が発足した。キャッチコピー



は「兵庫テロワール旅」。北播磨では、山田錦、播州織、金物など食と体験を軸とした企画が考えられている。今朝の神戸新聞には、山田錦の見出しが躍るタブロイド判が入っていた。

4時30分から議長室で、兵庫ジャーナル社の取材を受けた。その後も同僚議員との情報交換などを行い、退庁したのは5時30分を過ぎていた。

夕刊で大阪市内で起きた火災の惨事を知った。放火の疑いがあるという。明日は県下で雪が降りそうだ。今日の新規感染者は2人だった。直近1週間の感染者数は3人台になった。

118. 拉致問題を考える国民のつどい in 兵庫・神戸

2021年12月19日

18日（土）、早朝から雪が舞った。日が昇るまで屋根も庭もうっすらと雪化粧。午前中は、資料整理や活動報告紙の作成などをした。

午後1時20分頃には、県公館に。今日は「拉致問題を考える国民のつどい in 兵庫・神戸」が行われた。この集いは、今年2月に行う予定だったが、コロナ感染拡大のために延期され、さらに次の4月予定も再延期となり、今日、ようやく実現したものだ。



政府を代表して、松野内閣官房長官が、続いて齋藤兵庫県知事、久元神戸市長が挨拶をした。今年亡くなった拉致被害者有本恵子さんの母、有本嘉代子さんを偲び、有本夫妻のビデオメッセージ、中学生に宛てた手紙の朗読（東播磨高校放送部の山本さん）、そして、有本明弘さんが参集者へ拉致問題の解決を直接訴えた。続



いて、拉致被害者の家族であり、横田めぐみさんの弟の家族連絡会事務局次長の横田哲也さんが拉致被害者の一刻も早い帰国を実現するよう強く訴えた。次に特定失踪者の家族であり、特定失踪者家族会副会長の吉見美保さんが妹の秋田美輪さんの失踪、解決を訴えた。特定失踪者は800人以上、兵庫県関係は36人に及ぶ。有本恵子さん、田中実さんの2人の拉致被害者と合わせて、県民一丸となって帰国を実現させなければならない。有本明弘さんの「恵子、待っとけ」の強い言葉、横田さんの「めぐみだけが帰ってきて嬉しくない。みんな帰ってこなければいけないんだ」の言葉が強く胸を打った。

今朝、家族会会長の飯塚さんが逝去されたとのニュースが報じられ、悔しい思いが胸を覆った。学生時代の終わり頃から各地で失踪事件が起き、北朝鮮による拉致だと知った時からすでに40年余りが経ってしまった。12月定例県議会では、「北朝鮮による日本人拉致問題の啓発活動を推進する決議」が全会一致で可決された。また、ブルーリボンバッジの着用で意思表示を呼びかけた。今日の会場にも多くの県議会議員が出席した。拉致議連も自民党単独の議連から超党派の議連になり、県議会としても全力を尽くして拉致問題の解決に向けて取り組みを進めていく。

今日の県下の新規感染者数は7人だった。

119. 県公館で兵庫県教育功労者表彰式

2021年12月21日

20日(月)、朝、登校見守りに立った。朝のうちに市内を回り、用事を済ませた。天気はよく、風が冷たい。兵庫教育大学構内から三草山がよく見えた。

11時30分登庁。さっそく、議会議務局総務課のレクを受ける。続いて、12時からパワーリフティング世界大会優勝の藤井さんの訪問を受け、金メダルなどを見せていただいた。午後1時、自民党兵庫県連事務局に用事で出かけた。



午後2時から、県公館で行われた令和3年度兵庫県教育功労者表彰式に出席し、お祝いを申し上げた。県立大学、高校、市町立小中学校、特別支援学校、教育委員会などから116人に功労賞が贈呈された。地元の小学校長さんや先日、オンラインで調査を行った豊岡高校の校長さんのお顔もあった。式後、公館正面正門前で記念撮影をした。



県庁に戻り、健康増進課から食の安全と食育に関する計画の説明を受けた。そのあとも議長室で執務して4時には退庁した。夜は社高校同窓会の役員会だった。

今日の県下の新規感染者数は1人だった。

120. 地方六団体代表として、国との協議に出席

産業遺産情報センターや領土・主権展示館も見学

2021年12月22日

21日（火）、日帰りで上京し、「国と地方の協議の場」に出席した。

地方六団体（知事会、都道府県議会議長会、市議会議長会、町

村議会議長会、市長会、町村会）と国（総理大臣、各大臣）が協議を行うもので、今年度3回目。今回は都道府県議会議長会の会長の代わりに副会長である私が出席した。

午後1時過ぎに都道府県会議館で打ち合わせを兼ね「地方六団体代表者会議」が行われ、その後、総理大臣官邸に移動。午後2時から、岸田総理大臣はじめ、13大臣出席のもと、国と地方の協議が行われた。

岸田総理大臣、平井知事会長の挨拶のあと、地方六団体からそれぞれ発言を行い、これに対する国側からの発言が行われた。続いて、意見交換にうつり、再び地方側からの発言、国側からの発言があり、1時間で会議は終了した。

主な内容は、令和4年度予算及び地方財政対策、新型コロナウイルス感染症対策。都道府県議会からは、地方一般財源総額の確保、学校教育の質の向上（ICT活用指導力向上に必要な人材確保、35人学級の推進）、大規模災害対策（防災・減災・国土強靱化の取組推進）、地方議会の団体意思決定機関としての位置づけと議員の職務等の明確化（地方自治法改正に向けた検討）を要請した。末松文科大臣からは、GIGAスクール構想を推進する運営支援センターを200ヶ所設置、支援員8000人の確保をめざしており、3000人確保している、との発言があった。柴田会長の代わりに出席し、大役を果たすことができた。



会議に先立つ午前中、産業遺産情報センターを訪れ、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の展示を見学し、説明を受けた。元端島（軍艦島）島民の方から直接お話を聞くことができた。ピーク時には6000人以上が住み、家族のように暮らしていたとの話だった。朝鮮人労働者への虐待や差別などなかったとのことだった。当時の島民の証言映像も閲覧できるようになっている。ぜひ一度は訪れる価値のある施設だ。

国と地方の協議を終えたあと、「領土・主権展示館」を訪れ、展示内容を見学した（写真）。北方領土、竹島、尖閣等日本の領土、主権について、歴史的な資料や地図、写真など展示や映像、学習などができるようになっている。中学校の社会科教師だったので、地理、歴史、公民の3分野で日本の領土について教えてきたが、子供達には、こうした確かな資料に基づいた領土に関する教育を行っていくことが大切だとあらためて思った。

今日、国会議事堂の前を車で走っているとき、黄色い帽子をかぶった小学生が国会見学に来ている姿を見かけた。産業遺産、領土・主権展示館の2つの施設も小中学生が見学、学習に来ることができる施設になっていればと思った。国として、ぜひ本格的な施設をつくってもらいたい。

帰りの新幹線車中で県下の新規感染者数が20人になっていることを知った。

121. 各会派代表者会議、今年最後の登校見守りも

2021年12月24日

23日（木）、今日は終業式。今年最後の登校見守りに立った。午前から午後にかけて、市内回りや事務所で事務整理、自宅で文書作成などの仕事をした。インターネット中継で行財政運営調査特別委員会を視聴しながら、在地元で仕事ができるのはありが



たい。委員からは県政改革案（一次案）に対してきびしい質問が相次いでいた。14人の委員が9時30分から午後5時15分まで質疑を行った。

午後4時から議長室で来客。特別委員会終了後の午後5時30分から各会派代表者会議が行われた。終了後、本会議場の議長席への階段の一部改修が行われ、実際に歩いてみて感触、安全性を試した。退庁したのは6時を過ぎていた。

今日の県下の新規感染者数は5人だった。ところで、大量保管されているアベノマスクを廃棄処分することが発表された。希望者には配布されるようだ。実は私は、去年、アベノマスク数枚を洗いながら活用していた。メガネは曇らず、肌感触がよかったので愛用していた。不織布マスクが効果的とされ、いくつか試してみたが、アベノマスクに優るものが見当たらなかった。看護師をしている姪から奨められた不織布マスクを使い始めてからアベノマスクは使っていなかった。しかし、寒くなってからの朝のウォーキングでは冷たい空気を吸い込まずにすむので愛用していた。今は朝の登校見守りの際、布マスクと重ねて使うこともある。廃棄されるのであれば、アベノマスクを使いたいと思う。写真の布マスクの下にはアベノマスクを着けている。

122. 兵庫と沖縄の友愛提携50周年記念事業

「命どう宝」が県公館で

2021年12月26日

25日（土）、朝久しぶりに歩いた。佐保神社境内の倉庫新築工事もだいぶ進んでいた。午前、事務所で来客があり、話が弾

んだ。午後、1時30分過ぎには県公館に。

今日は、島田叡生誕120年・兵庫沖縄友愛提携50周年記念事業「未来につなぐ命どう宝」が開催された。



会場には、沖縄県から照屋副知事はじめ、県人会、県立那覇高校同窓会の皆さん、兵庫県からは齋藤知事はじめ県関係者、県議会議員、遺族会、県立兵庫高校同窓会など多くの関係者が出席した。

主催者の齋藤知事に続いて、私が県議会を代表してご挨拶を申し上げた。会は、友愛提携50年の歩みを振り返る動画の上映、五百旗頭真県立大学理事長による「島田叡 その生と死」と題した講演、島田叡生誕120年にちなんだ朗読劇のダイジェスト版の上映と出演者のトーク、首里城の復興状況について的那覇高校生による報告、最後に兵庫高校と那覇高校の両生徒による平和のメッセージが発表された。盛り沢山のプログラムだったが、島田叡知事の生き方を偲びながら、兵庫と沖縄の友好交流をさらに深める契機となるいい会だった。

会場では、沖縄訪問でお世話に嘉数氏、首里城復興にあたって石原県参与、島田叡を描いた小説『群青の墓標』の作者の横家氏はじめ、懐かしい出会いもあった。また、若い高校生が沖縄戦を通して平和と戦争、その中での島田叡の生き方としっかり向き合いながら自分の生き方を考えていこうとしている姿に感銘を受けた。

島田叡知事と荒井退造警察部長の沖縄戦での命懸けの行動を描いた映画「島守之塔」が来年春には上映される予定。平成13年に自民党議員団で沖縄を訪れた際、嘉数さんの案内で那覇市郊外

の高台の墓地の中にある県庁壕に入った時のことが今も鮮明に蘇ってくる。戦況が悪化する中、3ヶ月もの間、島田知事等はこの壕の中で執務した。湿気と暗闇。島田叡の最期の地は不明のままだ。

123. 自民党議員団総会 議長室執務

2021年12月28日

27日（月）、朝、各区長さん宅を回りながら社の市街を歩く。冷たい空気だが、背中に汗が滲んだ。

10時30分過ぎに登庁。11時から自民党議員団総会が開かれた。総会では、北浜みどり議員から提出されていた退団届の扱いについて協議し、退団が了承された。これで、自民党は31名となった。

その後は、議長室で議事課、調査課と打ち合わせなどを行い、議長執務室の片付けをしたり、同僚議員との情報交換なども行った。

令和3年はコロナに明け、知事選挙、衆院選挙、そして、議長就任、デルタ株の猛威との闘いの激動の一年だった。そして、年末にはオミクロン株の感染に脅かされながらも少しずつ日常を取り戻しつつある。ただ、世界は感染再拡大の脅威の中にあり、ロックダウンも行われている状況だ。

県政改革方針（案）、すなわち行財政運営方針等の見直し案が提示され、県内市町長は、提示に至る経緯の唐突さや来年度予算編成のこの時期、厳しい内容等について、知事自身の丁寧な説明もないことに強い不満を表明したことが新聞で報じられている。

23日の行財政運営等調査特別委員会でも各委員から厳しい質問が相次いだ。一方で、大阪・兵庫連携会議が開かれ、2人の知事の結束をアピールする写真と記事も紙面を飾っている。政令指

定都市の大阪市と神戸市の市長も一緒に、とのコメントもあった。齋藤流県政改革が形として動き出し、県議会の対応に注目が集まっている。オミクロンの感染拡大を警戒しつつ、緊張感をもって迎える年末年始だ。

124. 事務所も仕事納め一夜は消防年末警戒発団式

2021年12月29日

28日（火）、朝、社中央公園から市役所、百旗墓地のコースを歩いた。

今日は役所などの仕事納めの日で、私の加東事務所も午後はスタッフらで大掃除。私は午前はメッセージの作成、昼前から加東市民病院で診察を受けた。整形外科で肋骨の骨折、内科で今年最後の診察を受けた。

その後は自宅で電話の諸連絡。夕方、事務所でスタッフに挨拶し、令和3年の事務所の仕事納めとした。

夜9時から、市役所近くの防災倉庫前の広場で加東市消防団の年末警戒の発団式が行われ出席して一言激励を申し上げた。加東4万市民が安心して年を越せるように警戒をお願いした。コロナ感染防止



のために、詰所には4人以内で待機、その他の団員も自宅等で待機するといった制約の中での警戒が今年も実施され、勿論飲酒は厳禁。時間は8時から12時までに短縮されたが、3日間ご苦労様だ。分団長をしている教え子が早くコロナが終わってほしいと嘆いていた。

大雪とオミクロン株。今年の年末も自然災害と感染症に脅かさ

れている。こうした脅威に強い社会をつくっていくことが大事だ。

125. 年末恒例の作業 兵庫県でもオミクロン感染確認

2021年12月31日

30日（木）、今日は年末恒例の作業の一日だった。

夜は、帰省してきた息子、近くに住む娘、孫と餅つきをする。これも餅つき器を使ってやる年末恒例のこと。つくづく、餅つき器を作った人は偉いと思う。今年は娘が持って来た餅とり器も試した。

小さい頃は30日の早朝に母の実家に行き、餅つきをしていた。餅を小さくちぎって大根おろしにつけて食べたその大人の味と風景、杵の音と合いの手の音とリズムが懐かしく思い出される。

県から、県内在住者がオミクロン株への感染が確認され、急遽、各部幹部職員による会議が行われるとの電話があった。全国的にも大都市圏で感染拡大していたことから早晩県内でも感染が出ることは想定されていた。年末年始で人の動きと出会いの機会が広がる時期に感染力の強いとされるオミクロン株とは。しかし、過度に怖れることなく、マスク着用、換気、密をさける等の感染防止行動を徹底していくことが大事なことだ。

126. 仕事始め—議会事務局で年頭の挨拶

芸文センターでニューイヤーコンサートも

2022年01月05日

4日（火）、今日は仕事始め。10時30分には登庁。議会棟7階の大会議室県議会事務局職員に対して、年頭の挨拶を行った。そのあと、さっそく事務局からレクを受けた。

昼には、神戸市内のホテルで開かれた新年合同祝賀会に。齋藤知事、久元神戸市長らが挨拶。家次神戸商工会議所会頭の発声で

新年を祝った。

午後4時過ぎから県立芸術文化センターで行われた恒例のニューイヤーコンサートに。井戸前知事や金澤前副知事の姿もあった。



年が明けて、全国的に感染が広がりつつある。伊勢神宮に参拝した岸田総理も水際対策から国内対策への切り替えを進めると述べていた。県下でも今日は26人の新規感染者があった。

127. 新春恒例の行事や

東条川疏水の地域教材開発室開設式など

2022年01月06日

5日（水）、今日は加東市で新春の恒例行事が午前、午後行われた。会場は河高の滝野総合運動公園体育館スカイピア。



まず、9時から「あったか加東伝の助かるた大会」が行われ、園児から小学校高学年までの子供達が練習してきた腕前を競った。コロナ感染防止のために付き添い応援の保護者は2階から見守った。



午後は1時30分から同じ会場で、「新春書き初め大会」が行われた。会場には150人余りの小中学生が並び、「かとう」「げんき」「生きる力」「感謝する心」「生命

を尊ぶ」などそれぞれの学年の課題を思いを込めて紙に書いた。

午後2時30分から、加東市下久米の兵庫教育大学で、北播磨県民局と兵庫教育大学が連携して設置した「地域教材開発室」の開設式が行われた。東条川疏水ネット



ワーク博物館の取組が始まってから10年。地域の大切な宝であるこの疏水を次の世代に伝えようとさまざまな取組が行われてきたが、中でも加東市、小野市の小学4年生が出前授業や現地見学などの疏水学習に取り組み、その価値を学んできたことを踏まえ、先生達がさらに教材開発や研究を行うための拠点となる施設が設置されたもの。この疏水学習をリードし、開発室の準備を行ってきた兵庫教育大学教授の南埜猛さんが開設を前に急逝された。私も教員時代から社会科教育、地域教材開発について指導していただいていただけに残念で仕方なかった。ご冥福をお祈りするとともにこの開発室が多くの若い教師らに活用されるように支援をしていきたい。

全国でコロナ感染が再拡大している。兵庫県でも59人の感染が確認された。沖縄県ではその急拡大に対応するため蔓延防止措置を要請した。

128. 雪が舞う登校見守り 加東市長選 感染急拡大

2022年01月13日

しばらくブログを休んでしまったが、今日から復活。12日(水)、3学期になってから初めての登校見守りに立った。雪が舞う中の見守りだった。

午前、午後とも加東市で。昨日11日、岩根加東市副市長が市

長選挙への出馬表明を行ったことが新聞各紙に報じられた。すでに藤尾市議会議員が出馬を表明している。

不在の間、加東市では成人式や東条学園小中学校の新校舎竣工式などが行われた。その様子は新聞記事で確認した。



また、市内各地区町内会等では初集（総）会が開かれた。中止、書面、縮小など感染対策に配慮した形がとられたケースも少なくない。

一方、全国的に新型コロナウイルス感染の急拡大が続いており、12日は兵庫県下で500人を超えた。隣の大阪府では約1700人と一気に急増している。県では、12日午後に対策本部会議を開き、4人会食などの対処方針を決めた。明日13日（木）、これを受けて県議会のコロナ対策調整会議が開かれる。感染の急拡大、濃厚接触者の急増により沖縄県などでは、エッセンシャルワーカーはじめ、社会インフラへの影響が出ており、これへの対応が必要だ。

129. 県議会コロナ対策調整会議

県下で新規感染が900人超

2022年01月14日

13日（木）、朝、登校見守りに立った。朝から空気が冷たい。午後1時登庁。議会事務局議事課、総務課のレクを受けた。

午後2時から各会派代表が出席する県議会コロナ対策調整会議が開かれた。12日の県対策本部会議を受けて、当局の説明を受けたのち質疑が行われた。会議の冒頭に13日の新規感染者数

が900人を超えたとの情報が入り、その急増に緊張感が走った。県議会の常任委員会の活動や議員活動についても一層の感染防止行動が必要な状況に入っているとの意見もあり、検討を行うことになった。

会議終了後も高校教育課、住宅政策課からのレク、秘書班との当面の日程調整などを行い、午後4時40分には退庁した。

加東事務所で、明日の県道天神バイパスの開通式、週末の予定などを確認した。雪が心配だ。

感染者数が100、500、900人台と倍々のペースで急拡大している。症状は無症状、軽症が多いとはいえ、病床利用率も増えており、医療従事者を含めてエッセンシャルワーカーの感染拡大により医療機能、社会インフラが大きな影響を受けることが懸念される。今、3度目のワクチン接種、検査体制、経口薬など、感染拡大防止対策が進められている。

130. 天神バイパスの開通式(加東市東条地域) 安全、便利な交通と地域の活性化へ

2022年01月15日

14日(金)、朝の登校見守りに立った。近畿中部の平地でも積雪の予報だったが、雪が舞ったという程度だった。

今日は、主要県道小野藍本線の天神バイパスの開通式が行われ、出席しお祝いを申し上げた。天神バイパスは平成12年に事業着手され、約20年の歳月をかけてついに全線開通した。地元の天神、掬鹿谷地区の方によれば、東条町時代の構想、計画から約50年かかったという話もあった。地元の方々



の協力、そして、県、市の関係者の尽力によりこの天神バイパスが開通したことは大きな喜びだ。両側歩道の安全な歩行、便利な生活路であり、さらに地域の発展にもつながる天神バイパスの開通にすべての関係者に敬意と感謝の意を表したい。



開通式では、道沿いの東条こども園の5歳児園児らの元気いっぱいのお祝いの歌の披露もあり、雪が舞う寒風の中だったが、出席者、地元の皆さんと一緒に晴れの通り初めを行った。この子供達がやがて成長し、この開通式に立ち会ったことを誇りに思うことがあるだろう。

その後は、地元の「道の駅とうじょう」で経営、管理状況などを聞かせていただいた。

今日の県下の新規感染者数は929人と昨日に続いて900人を超えている。

130. 1. 17ひょうご安全の日のつどい

2月議会1ヶ月前の諸会議

2022年01月18日

17日(月)、27年前の阪神淡路大震災発災の午前5時46分と同じように家で起きていた。あの揺れは北播磨の加東市でも恐怖を感じた。外へ飛び出してみると、南東の方角から何度も地震波のようなものが大



地と自分の体をぶるんと揺らして通り抜けていくのを感じた。神戸市の東公園の祈りの中継に合わせて亡くなった方々のご冥福を祈った。

今日は、10時過ぎに登庁。打ち合わせを行ったのち、防災服に着替えて、HAT神戸人と防災未来センター慰霊モニュメント前で行われる「ひょうご安全の日 1.17のつどい」に出席した。寒風の吹くなか、神戸市立須磨翔風高校生徒による勇壮な和太鼓演奏のオープニングから始まり、11時20分式が始まった。



私はひょうご安全の日推進県民会議の副会長（県議会議長）として開会のことばを述べた。式では、齋藤知事の主催者挨拶、小寺内閣府大臣政務官の来賓挨拶、子どもたちからのメッセージ（県立舞子高校生徒、神戸市立渚中生徒、同灘の浜小学校児童）、県立長田高校音楽部生徒による献唱曲「しあわせ運べるように」の合唱、河田県民会議企画委員長による安全の日宣言、県立西宮高校音楽部による献奏曲の演奏、参列者による献花が行われた。

県庁に戻り、2月県議会の1ヶ月前議会運営委員会、各党派代表者会議、自民党議員団総会などの諸会議が行われた。代表者会議では、感染者の急増状況を踏まえ、1、2月に予定されていた各常任委員会の管内調査をオンラインで、もしくは中止することで一致した。会議後、現在特別委員会で審議されている県政改革方針（行財政運営方針の見直し）一次案の修正案のレクを受けた。

今日は県下の新規感染者数は683人。月曜日としては多い数だ。東京都など全国で蔓延防止重点措置の検討がなされている。「安全の日宣言」には、「パンデミックと南海トラフ地震などの大

規模災害との複合災害の襲来が心配だ」との言葉があった。感染拡大の中、津波避難も実際にあったばかりだ。感染症と自然災害に強い社会づくりこそ、ポストコロナの課題だ。

131. 文教常任委員会 自民党議員団の部会 県連で党本部とオンライン会議

2022年01月19日

18日（火）、朝、雪が舞う中、登校見守りに立った。

10時10分頃登庁。10時30分から文教常任委員会が開かれた。令和4年度予算要求概要の説明があったのち、閉会中の調査事件の調査として、「生涯スポーツ・競技スポーツの振興について」「ワールドマスターズゲームズ2021関西について」を調査した。ワールドマスターズについては、5年先に延期の検討中で、その状況についての質問や報告もあった。また、コロナ感染急増状況を踏まえ、26、27日の管内調査はオンラインでの調査に切り替えることになった。

午後1時から自民党議員団の健康福祉部会勉強会が開かれ、健康づくり推進プラン、歯と口腔の健康づくり推進条例について、当局の説明を聞き、質疑が行われた。

その後は、議長室で同僚議員と情報交換をしたり、庁内テレビ中継で行財政運営調査特別委員会の審議を視聴した。

午後4時から自民党県連本部で、党本部と近畿ブロック各府県連をオンラインで結んだ会議に出席した。「新時代にふさわしい真の国民政党として自民党はどうあるべきか」をテーマに近畿各府県のメンバーと共に意見を申し上げた。兵庫県連からは、「大志ある有為な人材の発掘」について意見を述べた。

今日は県下で過去最多となる1645人にのぼり、加東健康福祉事務所管内（北播磨）でも40人を超える感染者が確認された。

東京都を含む11都県に蔓延防止重点措置が適用されることになり、大阪府、京都府、兵庫県も適用について協議するとの報道があった。学校や幼児への感染が広がっているとのこともあり気懸かりだ。県立学校（高校）の感染による臨時休業の一報も杯居ている。

132. 県立社高校の課題研究発表会

うれしの学園生涯大学支部作品展

2022年01月23日

22日（土）、早朝、起きてテレビをつけてびっくり。九州地方、大分、宮崎を中心に震度5強の強い地震があったことを知った。とっさに南海トラフ巨大地震のことが頭に浮かんだ。最近地震が続いていることから連想してしまう。

火山爆発、津波の被害を受けたトンガへ自衛隊機が飲料水などの救援物資を積んで出発した。今日も県下では2727人の新規感染者があり、感染症と自然災害の脅威を考えてしまう。

10時過ぎに、加東市下滝野の滝野交流センター大ホールへ。令和3年度の県立社高校の3科（普通、体育、生活科学）合同研究発表会が行われた。「夢をカタチに」をテーマに、課題研究の成果を発表するもので、探求学習、地域創生など、各科の特色を活かした研究実践の成果をグループ毎に発表した。



加東市内にある唯一の県立高校として、地域と連携した研究課題は、人口増、移住、交通、高齢者対策など加東市の活性化を考えたものだった。生活科学科の「地域とつながる食育の環境」

では小学校やこども園などとの連携で、地域素材を活用した給食やおやつづくりに取り組み、その成果や課題をまとめていた。また、近畿経済産業局長賞に輝いた地域創生の研究では、加東市特産のもち麦、観光と地域特産の食材のメニュー開発などへの取組発表が行われた。大いに参考となるものだった。体育科の動体視力アップの研究は野球部員によるもので、科学的実践的な練習方法にもつながる研究だった。

高校生が地域を素材として課題研究に取り組み、実践と提案を行っていることに若者への期待と信頼感が膨らむ発表会だった。

隣の図書館2階の「ギャラリー伝」では、県の地方高齢者大学うれしの学園生涯大学の加東支部の作品展が開催された。会場には、陶芸、木彫、竹細工、切り絵、絵画、書道、手芸・・・多くの分野の力作が展示された。それぞれの作品のレベルの高さに圧倒されながら、展示の仕方に苦労したという話なども伺いました。

133. 行財政運営調査特別委員会で各会派が意見開陳 ひょうごのみんなで作る日本酒

2022年01月25日

24日(月)、朝の登校見守りに立った。休んでいる子がいると、何か気懸かりだ。

11時半頃登庁。さっそく議事課、総務課のレクを受けた。

午後1時、福島県議（神戸市兵庫区）とNPO法人とんとん代表の江藤さんが来室。「兵庫に関わるみんなで作る日本酒」の取組で純米吟醸酒「Number」をつくっておられる。グローバルギャップの認証を受けた



山田錦を作っている加東市の玄米家の藤本さんと大関、そして、県内の障害者のみなさんが関わってできた日本酒で、1本購入で100円が共同募金に寄付されるしくみになっている。

午後1時30分から行財政運営調査特別委員会が開かれ傍聴した。今日は県政改革案（一次案修正案）に対する各会派の意見開陳が行われた。

最大会派の自民党は、都市部と多自然地域からなる兵庫の多様な地域性を踏まえた広域行政の役割をもつ県として、各市町に早く新規事業を示すこと、県民局のもつ参画と協働の拠点としての役割を再認識することを述べた上で、ボトムアップ型といいながらスクラップ化が目立つことや、県市町協調、信頼感を損ねないよう丁寧な説明が必要なこと、効率性重視で廃止や縮減は拙速でありもっと検討すべきなど指摘した。市町との合意形成を協議する場を設けることを提案した。各事業についても老人会や商店街等への補助金の削減はすべきではないなど、検討を迫った。県民連合もビルドが見えないと指摘、公明も各市町の声として、事前の話なく唐突な出し方への疑問、ビルドがなく廃止ばかり、説明責任を果たすべきなどがあったことを紹介した上で、各事業に対する意見を開陳。一方、自民兵庫、維新は概ね賛成の姿勢、知事の改革への支援を示した。最後に委員外委員の共産党が意見開陳をした。これに対して最後に挨拶に立った齋藤知事は、8月就任以来、兵庫県の財政事情の予想以上の厳しさ、これまでの井戸県政20年の大きな流れ等を認識する中で、新しい流れでやっていくのは今しかないという思いでいると強調した。知事査定も大幅に縮減し、ビルドは4年度予算の中で示していくと述べた。

4時から自民党議員団の文教部会だったが、別件の会議で出席できなかった。終了後、5時から調査課のレクを受け、5時30分には退庁した。

今日は、県下の新規感染者数は1841人。月曜日はいつも少なく出るが、1800人は多い。明日25日、国は兵庫県に蔓延防止等重点措置地域への追加適用をする。県の対策本部会議も予定されており、26日にはこれを受けて県議会コロナ対策調整会議を開くことになっている。

134. 県議会コロナ対策調整会議 オンラインで文教常任委員会管内調査や全国都道府県議長会総会

2022年01月27日

26日（水）、朝、登校見守りに立った。一年生の姿が見えない。学年閉鎖のようだ。6年生は学級閉鎖になっているようだ。加東市内でも新型コロナウイルスの感染による休業が出てきている。



10時半頃には登庁。決裁事務やスケジュール調整などを行い、11時から県議会コロナ対策調整会議。昨日の県本部対策会議を受けて、蔓延防止党重点措置の適用に伴う県の対処方針について当局から説明を受け、各党派代表者による質疑を行った。

濃厚接触者の待機期間、無料検査体制、自宅待機者への相談支援、旅館業への影響、飲食店等への協力金等、急拡大する感染状況に対し、危機認識をきびしく持って先手先手で対応していくことが必要との意見もあった。

午後1時15分から文教常任委員会の管内調査がオンラインで行われ、播磨東教育事務所と結んで調査が行われた。地域BWAを活用したICT教育の事例や加東市の小中一貫校東条学園開校、加西市STEAM教育の実践事例などが報告された。

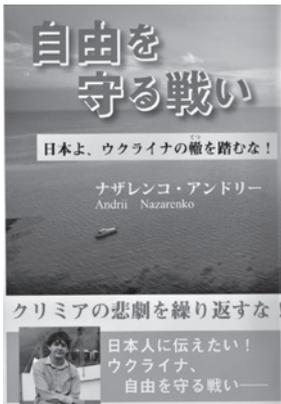
休憩の後、午後2時35分から淡路教育事務所とオンラインで結び調査を実施した。途中で抜けて、議長室でオンライン会議として行われた全国都道府県議長会定例総会、議員共済総会に出席した。

16時からビジョン課から新ビジョンの最終案の説明を受けた。その後も同僚議員との情報交換などを行い、午後5時過ぎに退庁した。

今日は県下の新規感染者数が4300人を超えた。学校の臨時休業も相次いでいる。

135. 今日も4300人超の新規感染者

2022年01月29日



28日(木)、朝の登校見守りに立った。6年生も学年閉鎖になったということだった。

県下の新規感染者数は4300人超で3日続いた。

ウクライナ情勢が緊迫している。昨年、日本会議兵庫で、ウクライナ人のナザレンコ・アンドリー氏の「日本よ、ウクライナの轍を踏むな」の講演を聴いた。氏の警告をあらためてかみしめる。また、佐渡金山の世界遺産登録をめぐる韓国が抗議している。「明治日本の産業革命遺産」の登録に際しても端島炭鉱(軍艦島)をめぐる抗議を受けた。しかし、昨年未だに東京の同資料館を訪れ、元島民の方から端島炭鉱の生活について、韓国が抗議するような事実はまったくなかったことを聞かせていただいたことを思い出す。

136. 知事に行財政運営調査特別委員会調査報告書を手交

2022年02月01日



31日(月)、朝の登校見守りに立った。学年閉鎖が続いているようだ。

11時前には登庁。11時から自民党議員団総務会に出席した。

午後3時45分、議長室で藤田孝夫委員長、内藤兵衛副委員長から行財政運営調査特別委員会の調査報告の提出を受けた。昨年9月議会で設置されて以来、行財政運営方針の見直しの審議を重ね、まとめられたもの。

続いて、4時20分から知事室で齋藤元彦知事にこの報告書を手交した。知事には、この報告書にある議会の意見を踏まえて2月議会に提出が予定されている県政改革方針、条例改正案を作成されるよう、また、引き続き、議会として審議を行い、チェック機能を果たしていきたいとの旨を伝えた。

知事は、今日開催された市町懇話会において就任後初めて市町長と顔を合わせて意見を交換したことに触れながら、報告書を踏まえ、持続的な行財政運営の構築に向けて今後も議会と協議を行っていききたいと述べた。知事として初めての令和4年度当初予算案も最終段階にあり、2月議会で審議されることになる。

今日の県下の新規感染者数は3002人。月曜日としては多い数だ。

137. 今日「北方領土の日」

2022年02月08日



7日(月)は、北方領土の日だ。第二次世界大戦の末期、そして、ポツダム宣言受諾後にソ連が我が日本の領土に侵攻し奪ったもので、その後も不法に占拠し続けていることに対して、北方領土(択捉、国後、歯舞、色丹)は

日本固有の領土であり、返還されるべきとの国民の要求を背景にして昭和56(1981)に定められたもの。2月7日は、幕末の安政2年(1885)に日本とロシアの間で国境を定めた日魯通好条約が調印された日だ。すなわち、境界は択捉島と得撫島の間と確認したもので、これにちなんで定められた。

昨年12月21日に東京の「領土・主権展示館」を訪れ、展示内容を見学した。この施設では、北方領土、竹島、尖閣等日本などの領土、主権について、歴史的な資料や地図、写真など展示や映像、学習などができるようになっている。

学生時代から北方領土返還運動に関心を持ち活動にも参加していた。当時、2月7日にはソ連大使館への抗議行動も行った。また、中学校で社会科を教えるようになってからは、北方領土がわが国の固有の領土であることを地理、歴史、公民の3分野で教えてきた。総合学習や選択社会科の時間も活用して、領土に関する教育を行ってきた。北方領土に関する真実をしっかりと次の世代に教え伝えていかなければ、永遠に島は還ってこないという思いからだった。

写真の旗は北海道出身の妻が持っていたもので、今は事務所の壁に掲げている。近年、ロシアは北方領土の開発や軍事演習なども頻繁に行うようになっており、平和条約と領土は別物として、

領土を返還する気はないという姿勢だ。しかし、北方領土はわが国固有の領土であり、ロシアは不法に占拠していることを日本国民は国際社会に訴え続けなければならない。

予定では、東京で行われる北方領土返還要求全国大会に出席することになっていたが、コロナウイルス感染拡大の影響で止めとなった。残念だった。ウクライナへのロシア軍侵攻の脅威が高まっている。ウクライナでは市民が軍事演習に参加している映像が報じられていた。映画「氷雪の門」のシーンが蘇ってきた。

今日は、新規感染者数も減る月曜日だが、約3500人もの数が発表された。まだまだ感染拡大が続いている。とにかく、防止行動の徹底とワクチン接種の促進で拡大を抑え込むしかない。

138. 兵庫・姫路G7関係閣僚会合誘致推進協議会

2022年02月09日



8日（火）、9時45分から議長室で「兵庫・姫路G7関係閣僚会合誘致推進協議会」の第1回会合にオンラインで出席した。2023年に日本で開催される主要国首脳会議（G7サミット）及び関係閣僚会議の外務

大臣・保健大臣会合を姫路市に誘致しようというもの。会長に清元姫路市長、副会長に齋木姫路商工会議所会頭、顧問に齋藤県知事が就任した。今後のスケジュールは6月頃開催地の決定まで国関係へ要望を行うことになった。

午後1時から、北播磨県民局から令和4年の主要施策案等について同僚議員と一緒に説明を受けた。北播磨の魅力をいかに発掘し、磨きをかけ、元気な地域にしていくのか。厳しい予算の中で、

県民とともに作りあげていく北播磨の姿が見えるようにしていきたい。その後も当局レクを受けたり、来客もあり、3時半過ぎには退庁した。

今日の県下の新規感染者数は、6300人超。やはり拡大傾向は止まない。加東健康福祉事務所管内（北播磨）の新規感染者数も連日、100～200人と高止まりだ。

ところで、冬季五輪のジャンプ混合団体戦では、高梨沙羅選手のジャンプに感動した。1回目の大ジャンプに無慈悲な失格通告。しかし、それに挫けず2回目のジャンプに挑んだ高梨選手。なんと気丈な。着地した高梨選手のゴーグルの向こうに涙が見えた。よくぞ飛んだ。小林陵侑選手は飛び終えたあと、「高梨選手をハグしました」とインタビューに答えていた。その言葉に高梨選手の勇気を称える気持ちが伝わってきた。高梨沙羅さん、あらためて、感動しました。ありがとう。

139. 建国記念の日を祝う会(県民会館)

2022年02月12日

11日(金)、朝、玄関に国旗を掲げた。今日は「建国記念の日」、すなわち紀元節だ。

午後1時から県庁向かいの県民会館けんみんホールで行われた「建国記念の日を祝う会」に出席した。この会は、兵庫県神社庁や日本会議兵庫など諸団体からなる「建国記念の日を祝う兵庫実行委員会」が主催し、毎年盛大に行われている。今年もコロナ禍の中での開催となったが、感染防止対策が施された会場には、衆参国会議員、県会、神戸市会の議員はじめ、多くの参加者があった。

祝う会は3部構成で、第1部は合唱グループよりどりみどりの歌。神話を歌った「はじまりのうた—中今を生きる」やひょうご五国の歌などが披露された。



2部は奉祝祝典。国歌斉唱からはじまり、橿原神宮、皇居遙拝、橿原奠都の詔の朗誦、そして主催者挨拶、来賓挨拶が続いた。私も出席の多くの県議会議員を代表して挨拶を申し上げた。紀元節の歌を全員で歌い、決議文の採択、聖

寿万歳を行い式典は滞りなく終わった。

第3部は、記念講演。「この国の希望のかたち」の演題で、伊勢雅臣氏が講演した。伊勢氏は「国際派日本人養成講座」編集長で、執筆や講演活動を通して日本の歴史や文化、教育などについて発信を続けている。今日は、建国記念の日にちなみ、神武天皇による日本の建国の理想について、「元元を鎮むべし」の詔を現在、そして未来の日本の課題とその解決に照らしながら、実現の方法を探るというお話だった。「元元」とは、「おおみたから」すなわち人々、国民のことで、「鎮む」とは安らかにするといった意味。神武創業の理想は、国民を幸福にするためだという理想がある。伊勢氏は、男系男子による皇位継承を神話や歴代天皇の系譜を分かりやすく解説し、また、高校「歴史総合」の教科書記述などの偏向問題を指摘しながら、日本の国の理想を正しく次の世代に伝えていくことの大切さを話された。

恒例の奉祝パレードはなかったが、コロナ禍の中、建国を祝う絵が2682年の今年もできたことを喜びたい。

今日の県下の新規感染者数は5500人超だった。明日は3回目のワクチン接種を加東市役所の集団接種で受ける。

140. 文教常任委員会 防衛議連総会・講演会

2022年02月15日



14日(月)、朝の登校見守りに立ってから県庁へ。

10時30分から文教常任委員会が開かれた。2月議会提出予定議案の説明、閉会中の調査事件とし社会教育、文化財保護について調査を行った。

冒頭に学校におけるコロナ感染状況、対応等についての報告があり、高校入試の対応、学びの保障等について質問も行われた。

午後3時15分から自民党議員団の兵庫県議会防衛議員連盟の総会・講演会が行われた。防衛議連は平成3年の発足以来30年以上にわたって自衛隊への支援や防衛研修などを行ってきており、現在は、私が会長を務めている。

今日は国防ジャーナリストの小笠原理恵氏をお招きし「台湾有事―防災にも活躍する自衛隊が抱える苦悩」と題した講演を聴いた。小笠原氏は、自衛官を守るための執筆、講演など幅広く活動している。講演では、予算、人員不足の自衛隊の現状、基地警備、機密情報保持などの課題について具体的な事例を挙げて指摘した。

終了後、教育委員会からの説明を受け、5時30分には退庁した。

今日は、県下で3266人の新規感染者があった。また、谷口俊介副議長の感染が確認された。この感染による議員の濃厚接触者はいない。3回目のワクチン接種による左腕の軽い筋肉痛もなくなった。

141. 第357回定例県議会が開会 コロナ対策の補正予算可決

2022年02月17日



16日（水）、朝の登校見守りに立ってから県庁へ。9時20分過ぎには登庁。

10時から議会運営委員会が開かれ、委員の交代や本日の議事順序など、報告、協議が行われた。10時30分からは自民党議員団総会。窓の外は珍しく雪が舞った。降雪地帯の議員もまさか神戸で雪を見るとはとつぶやいていた。

11時、第357回定例会が開会した。会期は、今日16日から3月24日までの37日間。諸般の報告の中で、選挙管理委員の新任者の紹介が行われ、上田良介氏ら3名が紹介された。齋藤知事から令和4年度当初予算案、条例案が提出され、提案趣旨説明が行われた。

休憩の後、午後1時30分、本会議が再開され、令和3年度補正予算案が上程された。知事の提案趣旨説明に続き、自民党議員団の松本裕一議員をはじめ、各党派代表、無所属議員による質疑が行われた。議案は各常任委員会に付託され、審査が行われた。本会議が再会され、全会一致で原案通り可決された。このあと、競馬組合議会議員の選挙が行われ、浜田知昭議員が当選した。

開会の挨拶でも述べたが、今議会では、齋藤知事が就任後初めて編成した令和4年度当初予算はじめ、条例、「ひょうごビジョン2050」の策定などの重要案件の審議が行われる。予算特別委員会の設置が予定され、また、行財政運営方針の見直しについ

でも議論が行われる。兵庫県の今後の針路を決める重要な議会であり、二元代表制の一翼を担う県議会として県民の目線に立って議論を尽くしていかなければならない。今日は、緊急な対応が必要な新型コロナウイルス対策として、自宅療養者等相談支援センターの設置、時短営業の飲食店等への協力金、旅行・宿泊割引支援事業など総額約995億円の補正予算を可決した。

今日の県下の新規感染者数は5200人超で高止まりしている。本会議終了後、当局のレクや議員との情報交換を行い5時30分頃退庁した。まだ雪がちらついていたが、東の空に大きなまん丸い月が出ていた。

142. ひょうごの農とくらし研究発表会

2022年02月19日



18日(金)、12時40分には県公館へ。今日は令和3年度「ひょうごの農とくらし研究発表大会」が開催され、その表彰式に出席し、お祝いを申し上げた。

式が始まる前に6人・団体の受賞者から、取組について

の説明を聞かせていただいた。子牛の生産、ジェラートの販売、地元産の農産物加工、惣菜や配達・体験農業、有機米生産、もち麦栽培の各取組はどれも兵庫の農と食を通じて地域を輝かせる取組だった。表彰式では議長賞もあり授与させていただいた。

3時過ぎから、県立美術館で開催中の古代エジプト展を見学した。コロナ感染防止対策で入場者制限もあるなか、多くの人が訪れ、熱心に展示に見入っていた。古代エジプト王朝の遺跡、絵文

字、像などの展示とともに、ミイラの展示室で、壁に立て掛けられた棺とミイラは圧巻だった。かつて中学校で社会科を教えていた頃、さまざまな資料を用いて古代エジプト文明を紹介したことを思い出しながら、やはりこうして本物から学ぶことの大切さを実感した。

今日の県下の新規感染者数は5000人超。北播磨でも200人超が確認されている。減少傾向と言われるも以前数千人台の新規感染者が出ている状況だ。蔓延防止等重点が3月6日まで延長された。制約は続くが、ワクチン接種の促進と感染防止行動で乗り越えていかねば。

143. ウクライナ 3回目ワクチン接種

2022年02月20日

ウクライナ情勢が緊迫の度を高めている。ロシアは侵攻準備を整え、ウクライナ国内の親口派勢力の動きと呼応しつつも軍を進める。これに対してウクライナの人々は自ら志願して国を守ると銃をとり訓練に参加している。すでに東部地域では砲撃音も聞こえると伝えられている。黄色い小麦の大地と広い空の青を表したウクライナの国旗。過去、幾度となく他民族や国家に侵略された歴史をもつウクライナ。独立を守るという絶対の事態に今直面している。日本ができることは何なのか。

今日の県下の新規感染者数は4800人超だった。身近な高齢の方から3回目の接種を迷っているという話を聞いた。何を迷っておられるのかというと、副反応だった。3回目もファイザーを選択し少しでも軽い方がいいだろうと。私はモデルナを打ったが、大した副反応はなかったという話をし、副反応を気にして接種が遅くなる方が結果として重症化のリスクが高くなる、と専門家も言ってるという話もし、それも分かっているが、やはり副反応

が軽い方がいいらしい。個人差もあり、私と同じ日に3回目にモデルナを接種した人が何の副反応もなく、翌朝は地区の草刈りに出た、といい話も聞いた。12日に接種したので、1週間が経ち、抗体もできただろう、と思っている。

144. 障害者芸術・文化祭の美術工芸作品公募展表彰式

2022年02月21日



20日(日)、12時30分過ぎに
県立美術館へ。

今日は第17回兵庫県障害者芸術・文化祭「美術工芸作品公募展」の表彰式が行われ、出席してお祝いを申し上げ、県議会議長賞の受賞者に表彰状を授与した。

式の前に作品展を鑑賞した。今回は絵画、書道、写真、工芸品の各部門の300点近い応募があり、どれも感性豊かな表現の作品ばかりで、その魅力に引き込まれてしまった。太い筆で大胆に書かれた「山」の字、段ボールで作られた仏像、鮮やかな色の花園、鉄道の信号機、相撲力士のごつつあん姿等々、作者の心の世界がそのまま広がっているようだった。審査員の方もこうした展覧会という発表の場があることが障害者にとって大きな励みになっていると話しておられた。

副議長だった平成29年から県議会では、障害者アート展を催し、この美術工芸作品展の入賞作品などを県議会棟で展示していたが、現在は、原田の森ギャラリーに常設展示が行われている。コロナ収束の暁には、もっと多くの人々が作品展を鑑賞できるようにしていきたいものだ。

県立美術館では、開催中の古代エジプト展に多くの見学者が訪れていた。

今日の県下の新規感染者数は4350人。急減傾向は見られず高止まりだ。

145. 本会議で各会派代表質問

— 県政改革方針案や県政運営の基本姿勢などを問う

2022年02月23日



22日(火)、今日は「竹島の日」。島根県議会でこの条例が制定された日だ。竹島は歴史的にも法的にも日本の領土である。ところが韓国が「独島」と呼んで不法に占拠し続けている。加東事務所の入口に竹島のポスターを常時貼って啓発している。中学校の社会科教師時代は、竹島

についてしっかりと指導してきた。北朝鮮による同胞の拉致、韓国による領土の拉致に抗議する意味で、胸にブルーリボンとブラウンのリボン(土地を表す)バッジをつけて登庁。

朝の登校見守りに立ち、県庁へ。9時30分には登庁。10時から本会議が開かれた。今日は各会派の代表による代表質問日。午前には自民党、県民連合。午後には自民党兵庫、公明党・県民会議の4会派による質問が行われた。

先陣を切った自民党議員団幹事長の小西隆紀幹事長(丹波篠山市)は、県政改革方針条例の問題点はじめ、知事が掲げる「躍動する兵庫」づくり、県政運営の手法に関して、知事の姿勢や考え方の根幹にあるものを質した。また、中華人民共和国と朝鮮民主

主義人民共和国という価値観の異なる国とどう向き合うのかと質した。また、県民連合幹事長の上野英一議員、公明党幹事長の伊藤勝正議員も県政改革条例案について、参画と協働を理念としながら、審議会の委員から県内団体代表を削り、委員数を減らしたのはなぜかと質した。

今日の県下の新規感染者数は4000人超。代表質問ではオミクロン株の急拡大への知事の対応についての質問もあった。

ロシアがウクライナ東部の親口地域の独立を承認した。すでにこの地域ではウクライナ軍と親口派軍との戦闘が起きており、要請に応じてロシアは軍を派遣することになる。筋書き通りの侵攻、占領だ。国際法や取り決めなども侵攻の意志の前には無力であるかのように見える。昭和20年の終戦後に北方領土へ侵入したソ連が今なお不法に占拠し続け、さらに軍事拠点化しつつある。韓国による竹島不法占拠も続いている。自国の主権、領土を守るとはどういうことなのかを突き付けられている。

146. 天皇誕生日－国旗を揚げてお祝い

2022年02月24日

23日（水）、今日は天皇陛下の62歳の誕生日。朝、玄関に国旗を揚げてお祝いをする。忠魂碑、佐保神社、大師殿のコースを歩くと、すでに社商店街の若宮町の街灯には日の丸の小旗が掲げられていた。

新型コロナウイルス感染の影響で、皇居での一般参賀が行われないのは残念だ。学生時代に4月29日の天皇誕生日に一般参賀をした時の感激を忘れることはない。澄み切った青空の下、まぶしく光る日の丸の旗の波、天皇陛下万歳の声が繰り返し打ち寄せる波のように何度も起きた。コロナが収束し、皇居での一般参賀が晴れやかに行われるようになることを祈るばかりだ。

今日の県下の新規感染者数は4747人。明日から県議会の本会議一般質問が始まる。

147. 本会議一般質問始まる ロシアのウクライナ軍事侵攻

2022年02月25日



24日(木)、9時30分頃登庁。10時から本会議が開かれ、一般質問が始まった。一番目の登壇者は自民党の長瀬たけし議員(神戸市東灘区)。県と神戸市の協調について、三宮駅周辺の再開発、県庁舎再整備と元町地区再開発等について、丁寧な説明、抜本的

な見直しなどを質した。市役所と県庁の建て替えという100年に一度の好機を逃すなという思いを強調した。2番は県民連合の北上議員、午後は自民兵庫の奥谷議員、公明党の竹尾議員、休憩再開後は自民党の岡つよし議員が質問に立った。

本会議終了後、教育関係者と意見交換を行い、午後6時過ぎに退庁した。

ウクライナへのロシアの軍事侵攻はプーチン大統領の筋書き通りに展開しているようだ。ウクライナの親口派勢力の要請にもとづき、軍事力をもって一方的にウクライナの主権、独立を踏みにじっていく。この手法が、台湾や尖閣、沖縄に向かわないようにすることが日本のにとって一番大事なことだ。

北方領土も竹島も終戦や講和条約締結のどさくさに紛れて不法に奪われたままだ。千島列島の最北端の占守島(シムシュ)の守備隊は終戦でいったん置いた武器を再び取ってソ連軍の侵攻をく

い止めるべく必死に戦った。ウクライナにおいても市民が武器を取り祖国を守ろうと立ち上がっているとの報道もある。

一昨年の夏、日本会議兵庫県本部の講演会で、ウクライナ人のナザレンコ・アンドリー氏が「日本よ、ウクライナの轍を踏むな！」と呼びかけた言葉をかみしめている。氏は、ウクライナがソ連、ロシアに侵略された歴史の体験から、日本の状況が当時のウクライナに酷似していると警鐘を鳴らし、国の独立を守る意志、覚悟がなければいとも簡単に侵略されてしまう。そのことに日本人は気づくべきだ、と強調した。目が覚めたときにはもう侵攻が始まっていた、のでは遅い。代表質問で、自民党の小西幹事長は、中国、北朝鮮にどう向き合っていくのかと知事に質したが、日本海の正面はロシアである。ロシアとの交流もある兵庫県として、ウクライナ侵攻にどういう態度をとるのかも問われている。

新型コロナウイルスとの闘いも続いている。今日の県下の新規感染者数は2766人。休日明けで前日より低いがそれでも3000人弱だ。

148. 本会議一般質問2日目 **ロシア全面侵攻**

2022年02月26日



25日（金）、朝、玄関の室内温度が0度だと妻が叫んだほど、よく冷えた。エアコンの暖房だけでは室温がなかなか上がらないので、石油ファンヒーターを併用した。

9時30分には登庁。市町振興課から報告を受ける。

10時から本会議が始まり、まず自民党の大豊康臣議員（加西市）

が登壇し、ひょうご公民連携プラットフォームはじめ7問について質した。続いて県民連合の迎山議員、昼休憩をはさんで、自民兵庫の中野議員、公明党の坪井議員が質問。休憩再開後、自民党の春名哲夫議員（宍粟市）が登壇し、関西広域連語、大阪関西万博など7問について質した。

本会議終了後、自民党議員団の建設部会が開かれ、県立公園の明石公園の歴史的景観維持向上に向けた取組について当局説明と質疑が行われた。同僚議員との情報交換などをし、午後5時過ぎに退庁した。

ウクライナへのロシアの軍事侵攻の様子や、プーチン大統領、バイデン米国大統領、国連事務総長、EU首脳、ヨーロッパ各国首脳の声明なり発言が報じられている。目が覚めたらロシアの侵攻が始まった、という現実には、ウクライナの首都キエフの人々が車などで避難する映像も報じられた。一方、ロシア国内では戦争反対のデモも各地で起きているという報道もあった。国際社会がロシアに対して厳しい制裁を行うとしているが、プーチン大統領はそれも折り込み済みだという。そもそもある日突然これだけの大規模な軍事侵攻が起きるのではなく、軍の移動や終結、演習等が計画され、行われてきた。侵攻が始まってからでは遅い。あるテレビの解説者が「ウクライナは何をしていたのでしょうか」と話していた。その言葉を聞きながら、「では日本は何かしていますか」と逆に聞きたかった。

日本も岸田首相が国際社会とともにロシアに制裁を加えると発表した。やるべきことは、こうした機に乗じて、日本や日本周辺で軍事的な覇権拡大行動を起こさせないように手を打つことだ。そういうことをやると、こうなるということを見せておかねばならない。北朝鮮によるミサイル発射が連続し、中国による尖閣海域への侵入が続いている。自衛隊、海上保安庁が必死に守ってく

れているが、相手にすれば、何もしてこない、できるのはそこまでだと見透かされているというのが実情だろう。自らの手足を自ら縛っている体制では、自国の主権と独立は守れない。今何をしておくべきかを見定め、覚悟をもって準備しておくべきだと思う。

今日の県下の新規感染者数は3435人。塩野義製薬のコロナの飲み薬の承認申請がなされたというニュースがあった。軽症から中等症の患者が飲む薬であり、重症化を抑えることができるという。国産飲み薬が一日も早く承認され行き渡ることを期待するばかりだ。

149. コロナ禍の学校生活を送った高校生が卒業 —県立社高校卒業式で目頭が熱くなる

2022年02月28日



27日(日)、今日は県立社高等学校の卒業式が行われ、同窓会長として出席した。

創立108年目の歴史の長い伝統校である社高校。県立社高等女学校、新制の社高等学校となって発展を続けてきた。今日は74回生192名

が巣立っていった。この学年が入学の年に1学級減となり5学級になったが、翌年1学級増となり6学級になった。私は24回生なので、ちょうど半世紀後の後輩ということになる。

昨日の同窓会入会式の歓迎の言葉の中でも触れたが、50年前は札幌冬季五輪で日の丸飛行隊の快挙に国中が沸き、連合赤軍のあさま山荘事件で国中が震撼した年だった。今年は、北京冬季五輪があり、ロシアがウクライナに侵攻するという事件が起きてい

る中の卒業になった。半世紀を経て、時代は変わっても同じような出来事が起きている。

昨日の同窓会入会式でも感心したが、今日の卒業式ではもっと感心した。1時間余りの式中、卒業生は背筋を伸ばし、姿勢を正して臨んでいた。若浦校長は、コロナ禍でいろいろ制約が多い高校生活だったが、自分たちなりに工夫を凝らして、行事や部活など成果をあげてきたことを高く評価されていた。卒業生代表の答辞では、2年のクラス替えの直後に休校、新しいクラスメートとは画面を通しての生活に。修学旅行や文化祭、体育大会などの行事ができなくなっていく中、岡山県への一泊の遠足や文化発表会など先生達や自分達の工夫によって盛り上げていき、今となっては貴重な体験、思い出ともなった、と振り返っていた。それを聞きながら、本当に大変な時期に高校生活を送ったんだなあとその間の苦悩や努力の日々を思うと目頭が熱くなった。

国歌、蛍の光、校歌は感染防止のため、静聴になったのは残念だが、保護者、在校生の代表は式場でこの卒業式に同席することができた。また、他の在校生は教室でリモートで3年生の立派な姿を見、そして、送ることができた。クラス毎に担任に最後の挨拶をして退場していく卒業生の姿は晴れやかであった。社高校は令和5年度に創立110周年を祝うことになっている。

今日の県下の新規感染者数は3460人だった。

150. 本会議一般質問4日目 「ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議」を全会一致で議決

2022年03月02日

3月1日(火)、8時30分過ぎには登庁。9時から議会運営委員会、9時30分から自民党議員団総会が行われた。

10時、本会議が始まり、まず自民党の北口寛人議員(明石市)



が登壇し、県立明石公園のパークマネジメントをはじめ6間について質した。次は維新の会の岸口議員が質問に立った。

昼休憩時に2回目の自民党議員団総会が行われた。1時本会議が再開され、日本共産

党の入江議員、無所属の中島議員が質問。休憩再開の後、今定例会一般質問の最後に自民党議員団の藤田孝夫議員（養父市）が登壇した。藤田議員は、県民ボトムアップ型県政はじめ5間について質した。

門間雄司議員から予算特別委員会の設置及び議案付託動議が出され、予算特別委員会が設置、21名の委員が選出された。続いて、上程中の議案、請願4件が常任委員会・特別委員会に付託された。

次に「ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議」案が上程され、全会一致で可決、採択された。ロシア軍のウクライナ侵攻は「ウクライナの主権と領土の明確な侵害」であり、日本政府は「国際社会とも連携し、あらゆる外交努力によって、ロシアのウクライナからの無条件即時撤退と原状回復に全力を尽くすことを強く要請する」ものである。

本会議終了後、予算特別委員会が開かれ、挨拶を申し上げた。その後、委員長、副委員長の選出、運営要領の協議が行われ、いよいよ令和4年度当初予算案の審査が行われることになった。

同僚議員との情報交換などを行い、午後5時30分頃退庁した。久しぶりの本格的雨になった。帰路の山中は濃霧に包まれていた。

今日の新規感染者数は3600人超。依然高止まりの感がある。

齋藤知事は国に対して蔓延防止等重点措置の延長を要請した。期間は国の判断に委ねたとのこと。

151. 在大阪ロシア連邦総領事に「非難決議文」を届け抗議

2022年03月05日

4日（金）、朝の登校見守りに立った。午前中は事務所で事務整理などを行い、12時40分頃登庁。片山副知事からコロナ対応についての報告を受けた。

1時15分、2号館の県庁記者クラブを訪れ、今日、在大阪ロシア総領事へ、去る1日に採択された「ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議」を届け、議会の意思として、抗議することを発表した。

午後4時、大阪府豊中市にある総領事館を訪れ、テルスキフ・アレクサンダー在大使館ロシア連邦総領事に直接抗議文と決議文を手渡した。総領事には、ロシアによるウクライナ侵攻は、ウクライナの主権と領土を侵害する許しがたい行為であり、即時撤収、平和回復を実行すべきであるという、兵庫県議会の意思を伝えた。駐日ロシア大使、ハバロフスク地方知事宛の同じ文書を手渡し、これに対して総領事は、文書を受け取り、本国に報告すると答えた。

面談では、総領事は今回の事態に至った経緯などについてロシア側の主張を説明し、国際社会、日本のメディアが伝えている情報は一方的だと述べた。私からは、地方議会が外交に関する決議を行うことは異例なことで、県議会全会一致の決議の重み、540万県民の意思を総領事に直接伝えにきたことを受け止めてもらいたいと話した。約30分間の面談だった。3回目の停戦協議が行われ、人道面での合意も伝えられる中、今日はロシア軍による原子力発電所への攻撃が報じられるなど、侵略が続いている。

総領事館周辺は警察のきびしい警備が行われていたが、館内は

静かで、落ち着いた環境で面談ができた。また、総領事は今年の1.17追悼のつどいにも参列したと話し、丁寧な対応ぶりだった。今日は、予算特別委員会の審査が行われた。また、蔓延防止が21日まで延長された。県下の新規感染者数は3418人で減ってはいるが、依然高い数字が続いている。

152. 兵庫教育大学が教員養成の新たな役割 領土を守る

2022年03月11日

10日(木)、兵庫教育大学が文部科学省から教員養成フラッグシップ大学に指定された。

「フラッグシップ」とは「旗艦」という意味の英語で、日本語でいえば教員養成の旗艦大学に指定されたということだ。旗艦とは、艦隊司令官が乗っている司令塔の船で、教員養成を担う大学グループの中心として、わが国の教員養成のあり方を牽引していく位置、役割を認められたということになる。14大学が公募に応じ申請したなか、東京学芸大学、大阪教育大学、福井大学と兵庫教育大学の4校が選ばれた。

教員養成の大学院大学として40年余りに当時の加東郡社町下久米に開学した兵庫教育大学。学部生より大学院生の方が多という大学で、現職教員が全国各地から入学し、専門的な力を磨いた。私は昭和56年から附属小、57年から開校した附属中で平成16年春まで勤務した。その間、2年間は大学院で学んだ。附属学校での22年間は、社会科教育や総合学習などの研究実践と女子ソフトボール部の指導に明け暮れた日々だった。今も月に一、二度は大学構内の書店を訪れている。また、今年は、教師時代からのテーマである東条川疏水に関する取組で、県と大学が連携して進める地域教材開発室の開設式にも出席した。今回の指定を契機に教員養成、教育研究と実践研究のメッカとして益々の発

展に期待したい。

ロシアが北方領土に免税特区を設定することを決めた。終戦後の軍事侵攻、不法占拠、そして軍事化と実効支配を強化している。ウクライナの人々はその領土を守るために戦っている。領土をロシアに支配させないことが自由、独立を守ることだからだ。

隣の韓国の大統領選挙で保守系の尹氏が勝った。日韓間には、竹島、慰安婦、徴用工、佐渡金山など歴史認識問題があり、特に竹島の不法占拠という領土問題がある。韓国では竹島を独島と呼び、教育で韓国の領土と教え込んでいる。わが国の学習指導要領でも日本の固有の領土として指導するようになっている。教科書の記述を充実させ、竹島が日本の領土であることを子供達が理解するようにすることが大人の責任だ。

今日の県下の新規感染者は3000人弱。明日11日は東日本大震災から11年目を迎える。『災害文化を育てよ、そして大災害に打ち克て』と題した河田恵昭先生（人と防災未来センター長）の自叙伝を読み終えたばかりだ。

153. 3.11東日本大震災から11年 夕方兵庫県で地震も

2022年03月12日

11日（金）、朝、忠魂碑から佐保神社、大師殿のコースを歩き、登校見守りに立った。交通安全旗を持って通学班の先頭を歩く役目は5年生が引き継いでいる。また、今日は公立高校の入学試験が行われた。

今日は3.11東日本大震災から11年目だ。新聞、テレビなど報道では、当時の津波の映像や復興の様子を振り返りながら、被災地と被災者の今を報じていた。被災地には自民党議員団や有志で何度も訪問した。宮城県では、被災地支援に派遣されている若い県庁職員とも現地で懇談の場を持ったこともあった。昨年秋

には石巻漁港で行われた全国豊かな海づくり大会に出席し、その復興ぶりを目をみはった。これからも復興は続く。同時に必ず起こる南海トラフ巨大地震への備えを忘れてはならない。

今日もウクライナへの空爆や戦車部隊の進軍、ミサイル攻撃などの映像とともに避難するウクライナの人々の姿が報じられている。破壊された市街、避難する人々の姿が、今日は震災の被災地の景色と重なってしまう。しかし、決定的に違うのは、自然災害と戦争（侵略）という違いだ。戦後76年間、日本は度重なる自然災害により多くの人命を失ってきた。しかし、戦争はなかった。だが、戦後日本が享受してきた自由、平和と繁栄をこれからも続けるためには、予想される事態に対する備えが必要だ。今、ロシアのウクライナ侵略により世界の軍事的緊張が高まっている。北朝鮮がこの事態の中でミサイル発射を行い、ロシアが北方領土で軍事演習を行うとの情報もある。尖閣海域には中国公船が侵入している。韓国では保守系の大統領が勝利をした。これを機に日米同盟を軸に東アジアの安全保障体制を強化していくことが必要だ。

午後6時頃、事務所から帰宅すると、自宅に来ていた娘に孫が抱きついていてた。今、家がバシッという大きな音を立てたと興奮気味に話した。調べてみると地震だった。加東市は震度1だったが、丹波あたりが震源で福知山市では震度3だった。それでも震源が浅かったので一瞬のうちに震動が伝わったのだろうか。いつ起こるか分からない地震。震度1でも揺れれば怖い。話題が避難場所になり、娘は、家の近くの公園になっていると話していた。

今日の県下の新規感染者数は2800人台。国では感染高止まりでも蔓延防止等重点措置の解除の方向でその基準について検討しているとの報も。

154. 播磨と伯耆を結ぶ中国横断自動車道開通 播磨道の播磨新宮 I C と穴粟 J C 間が開通

2022年03月13日



12日(土)、今日は中国横断自動車道(姫路鳥取線)の播磨道(山陽道と中国道)の未開通部分の播磨新宮 I C と中国道穴粟 J C を結ぶ道路が開通し、これで鳥取道と播磨道が全線開通した。その開通式が西播磨の光都(上郡町)

にある県立先端科学技術支援センターで行われ出席した。

式には主催者である西日本 N E X C O の前川社長、来賓として齋藤兵庫県知事はじめ末松文科大臣や県選出国會議員、県会議長(私)や地元県議、地元関係市町長、国交省関係者ら来賓、地元住民、工事関係者らが出席し、開通の意義や効果、発展の期待を述べ祝った。

その後移動し、高速道路本線上でテープカット、くす玉割り、通り初めが行われた。この播磨道の開通により、山陰と山陽の南北高速軸が完成し、災害や救急、観光などさまざまな面でネットワークが強化された。

ところで、ウクライナの状況が深刻さを増している。首都キエフ包囲網は狭められ、各都市ではロシア軍の攻撃で街は破壊され、人々が犠牲になっている。避難の人々の「誰も戦争を止めてくれない」という悲痛な叫びが突き刺さってくる。国連でのロシアが提起した「生物兵器」云々には呆れるばかりだが、核兵器使用への準備態勢や原発への攻撃、制圧などの行動が現実に行われており、歯止めが無くなっている。「日本よ、ウクライナの轍を踏むな」

の言葉が今更ながら重くのしかかる。今、日本ができるあらゆることを躊躇なく行うことが大事だ。

今日の県下の新規感染者数は2639人。21日の蔓延防止の期限まであと9日となり、政府も解除の方向で検討しているとのこと。漸減状態だが、ワクチン接種の促進でこのまま抑え込んでいきたい。

155. 知事コロナ感染影響で会期延長 議員定数等調査特別委の報告書

2022年03月17日

16日(水)、11時前には登庁。さっそく議会事務局長、議事課と協議、打ち合わせを行った。12時には商工会関係者の来訪を受け懇談。午後、教育委員会、警察本部から令和4年関係の事案についての説明を受けた。また、2時30分には荒木副知事が来室。知事の感染、対応等について報告を受けた。

15時から議会運営委員会が開かれ、知事の感染による議会対応について協議が行われた。冒頭、荒木副知事から報告があり、これを受けて私から、知事が感染のため25日まで療養予定なので、予算特別委員会の総括審査を含め知事出席の下で進めるのが望ましく、24日までとなっている会期を延長したいとの考えを述べ、協議をお願いした。会期の延長についての異議はなく決定された。これに伴う審議日程についての説明があり、22日の本会議で会期延長の議決を、28日、29日に予算特別委員会、30日に本会議を開き、議案の表決を行うことになった。委員会では、委員から今回の知事のコロナ感染について、知事の危機管理について意見が出た。自民党の小西幹事長は、会派の議員の中には、一般質問の登壇に備え、1週間前から家族から離れて单身ホテル住まいまでして感染防止に努めた者もいるとの例を挙げ、有事の中の



知事としての危機管理が必要と苦言を呈した。

議運終了後、4時15分には、議員定数等調査特別委員会の藤原昭一委員長、黒田一美副委員長から特別委員会の調査報告書を受け取った。去年の6月議会で設置されて以来、調査を重ね委員全員の賛同でまとめられたものである。選挙区数は39選

挙区から38選挙区へ1減、美方郡選挙区は豊岡市選挙区と強制合区し「豊岡市及び美方郡選挙区」（定数2）、相生市選挙区は特例選挙区とする、ただし令和9年の選挙から特例選挙区の規程を適用しない旨の附則を設ける等の結論が得られた。私からは急ぎ条例改正に向け手続きをしていきたいと述べた。

今日の県下の新規感染者数は2985人と3000人に迫る数字だった。蔓延防止等重点措置は解除されることになるが、感染は依然続いている。18日には県議会コロナ対策調整会議が開かれる予定だ。

156. 宮城・福島で地震

包括外部監査報告 友好団体との意見交換

2022年03月18日

17日（木）、朝起きて、深夜に宮城・福島を中心に東日本で最大震度6強の地震があったことを知った。映像で見る発生時の部屋の中の強い揺れのように緊張感が走った。東北新幹線の脱線現場、原発、停電した市街、津波警戒の港湾のようすなどが報じられていた。11年前の東日本大震災を思い出させるものだった。



朝の登校見守りに立ち、県庁へ。9時50分には登庁。議会事務局との打ち合わせなどを行ったあと、10時20分から、議長室で令和3年度包括外部監査結果の報告書を監査人から受け取り、説明を受けた。今回のテーマは「農

林水産行政に関する財務事務の執行及び事業の管理について」で、県の外郭団体、試験研究機関などの問題点等について説明を受けた。

今日は自民党の各種友好団体との意見交換会の1日目で、午前、午後、議会棟の3会場で団体と議員の意見交換が行われた。私は、助産師会、郷友連盟、遺族会、Lpガス協会、歯科技工士連盟、老人福祉事業協会、婦人共励会、旅館ホテル生活衛生同業組合、商工連合会との意見交換会に出席した。

その間、同僚議員との情報交換や議連の予定などを協議し、5時30分頃退庁した。

県下の新規感染者数は2300人台。蔓防が解除となっても感染はなくなるわけではない。感染症と自然災害との戦いは続く。いかにこれらに強い社会を築いていくかが私たちの課題だ。今日の意見交換会でもコロナ禍でのきびしい現状、日常回復への期待が話題となった。

157. 自衛隊練習艦隊司令官の表敬訪問を受ける コロナ対策調整会議や友好団体との意見交換も

2022年03月19日

18日(金)、今朝は一転寒さが戻った。雨も降り出した。

9時前には登庁。9時20分、片山副知事が来室。同意人事案件についてだった。荒木副知事、西上教育長、松田人事委員会委員が退任し、副知事には服部洋平氏（県土整備部長）を、教育長には藤原俊平氏（防災監）を、人事委員会委員に田中基康氏（会計管理者）という内容。この人事案件は30日の本会議に提出される。

10時から自民党友好団体との意見交換会2日目が始まる。兵庫県測量設計業境界、土地改良団体連合会、商工会議所連合会、県社会福祉協議会に出席した。

12時30分、自民党議員団総会が開かれ、示された同意人事案件が伝えられた。団内での協議は後日行われる。午後も友好団体との意見交換が行われ、兵庫県保育推進連盟・保育協会に出席。そのあと、議事課と22日の本会議や議会運営委員会についての打ち合わせを行った。



14時30分、阪神基地に寄航中の自衛隊練習艦隊司令官の小牟田秀覚海将補の表敬訪問を受けた。練習艦隊は呉基地に所属し、初級幹部約160名が乗り込み、約4ヶ月の遠洋航海を行い訓練を行うとともに各国を訪問し視野を広め親善を深める。

3時から県議会コロナ対策調整会議が開かれ、蔓延防止等重点措置の解除、県の方針、対応等についての説明を受けた。感染状況は緩やかに減少していること、高齢者への3回目ワクチン接種が進みつつあることなどの状況も報告された。

その後、再び友好団体の県視覚障害者福祉協会、全国小売酒販

政治連盟兵庫県支部、私学総連合会との意見交換に出席した。

終了後、同僚議員らとの情報交換を行い5時30分過ぎに退庁した。

今日は約2200人の新規感染者があった。

158. 本会議で会期延長、議員定数条例を可決 各会派代表者会議、自民党議員団総会など諸会議

2022年03月23日

22日(火)、冷たい雨の中、登校見守りに立った。明日は小学校の卒業式だ。

9時30分には登庁。10時から議会運営委員会が開かれ、今日の本会議の議事順序などを協議した。10時30分から自民党議員団総会。議運の結果報告などがなされた。

11時、本会議が開かれた。知事はじめ県当局席は空席。議員になって以来、初めての議場風景に一瞬戸惑いを感じた。まず3月30日まで6日間の会期の延長が可決された。次に議員提出の議員定数条例(兵庫県議会議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例)の一部改正案の提案説明を藤原昭一議員定数等調査特別委員会委員長が行い、続いて討論、表決が行われ、賛成多数で可決された。これにより、美方郡選挙区は豊岡市選挙区に合区され定数は2人となり、相生市選挙区は特例選挙区として存置されるが、令和9年以降の選挙から適用しないことが附則に加えられた。

本会議終了後、各会派代表者会議が行われ、政務活動費、議員連盟の件について協議を行った。1時30分から今日2回目の自民党議員団総会。各会派代表者会議の結果報告、その他、諸連絡が行われた。

2時から神鉄粟生線の現状に係る説明会、3時から日台親善議

連、3時30分から拉致問題解決議連など、議連の会議が続き出席した。

4時から新聞記者、その後も同僚議員との情報交換などを行い、午後5時前には退庁した。

ロシアによるウクライナ侵略をどう子供に教えるか、ということについて、学校での取組をテレビで紹介していた。今、現実には起きている「戦争」について、起きている事実を伝えるとともに、わが国の立場や各国の動きなども教えることが必要だ。そこで忘れてならないのは、わが国の固有の領土である北方領土がロシア（ソ連）により不法占拠されたままであること、その歴史的経緯すなわち、終戦時の南樺太、千島列島へのソ連軍の侵攻について教えることだ。ウクライナで起きていることは76年前に樺太、千島で起きたことで、その後もずっと、不法占拠が続いていることを教える必要がある。

今日の県下の新規感染者数は629人だった。連休明けなので少なく出ている。今日から蔓延防止等重点措置も解除された。感染者数が平日でも減り続けるように感染防止行動をとりながら日常生活を取り戻していきたい。

159. 兵庫県スポーツ優秀選手賞表彰式 県議会スポーツ振興議連表彰式

2022年03月24日

23日（水）、11時過ぎには登庁。議事課から説明を受けた。また、異動の挨拶の来客があったりした。

12時30分から、議長応接室で、兵庫県議会スポーツ振興議員連盟の表彰式が行われた。今年度は4名の方が表彰を受けられた。

1時からフェニックス共済の持ち回り会議。そして、2時から



県公館で行われた兵庫県スポーツ優秀選手賞、体育協会表彰、障害者スポーツ協会賞の表彰式に出席し、お祝いを申し上げた。県議会からは、私とスポーツ振興議連会長の山本敏信議員が出席した。



受賞者の中に加東市関係の方が数名おられた。また、私が会長を務める県ソフトボール協会の役員さんの顔もあった。

県庁に戻り、議事課と打ち合わせ、自民党議員団の農政環境部会勉強会に出席した。

インボイス制度の導入の問題点について関係者と意見交換を行った。

5時過ぎに退庁。6時からのウクライナのゼレンスキー大統領の国会演説の中継放送を視た。予想していたよりも穏やかな印象を受けた。チェルノブイリ原発への攻撃、日本のロシア制裁、ウクライナ支援への評価と継続要望、日本との価値観、文化面での友好などを訴えたものだった。

報道では、ウクライナ軍の攻勢やプーチン大統領の孤立、生物化学兵器や核兵器の使用への懸念など、さまざまな情報が報じられている。中でも情報戦で、ゼレンスキー大統領の偽動画や偽電話などには驚いた。

今日の県下の新規感染者数は2100人余だった。東京都は蔓延解除に伴いでリバウンド警戒期間として都民に感染防止行動

を呼びかけている。密回避、マスク着用、消毒は続けたい。

160. 齋藤知事出席で予算特別委員会再開、総括審査

2022年03月29日

28日(月)、9時30分には登庁。齋藤知事がコロナ感染から復帰し、議長室に姿を見せて、会期延長など迷惑をかけて申し訳なかった、知事としても初めての予算だったので、議会の配慮に感謝している、との挨拶があった。

10時、7階大会議室で予算特別委員会が開かれ、総括審査が始まった。予定では16日に行われる筈だったが、知事出席の下で行うという判断で、12日間延びた。

冒頭に齋藤知事からの発言があり、コロナ感染のために迷惑をかけたとの一言があった。また、感染者となって知ったこともあり、今後の感染対策に活かしたい、SNSでの励ましや誹謗中傷とも受け取れる批判もあったことも明かした。

委員会では、自民党の伊藤副幹事長が朝鮮学校への補助金、神戸マラソンへの県の支援に意義についてなどを質したのをはじめ、各党派代表による質疑が行われた。また、日本共産党から組み替え提案が行われたが、表決の結果、令和4年度当初予算案は原案の通り可決すべきものと決せられ、共産党の組み替え案は否決された。

委員会終了後、調査課、議事課と30日の本会議等についての打ち合わせなどを行い、5時30分に退庁した。今日の県下の新規感染者数は

962人だった。

161. 令和4年度当初予算可決 会期延長の357回定例県議会が閉会

2022年03月31日



30日(水)、9時過ぎには登庁。今日は会期延長した第357回定例県議会の閉会日。朝から日程がぎっしり詰まっていた。

9時30分常任委員会。文教常任委員会では、24年度関係条例の付託議案、請願の

表決が行われた。

10時議会運営委員会。冒頭、齋藤知事の発言があり、自身のコロナ感染で迷惑をかけたことを詫びた。条例案の撤回の申し出、追加提案の議案の説明、議事日程などを協議した。

10時30分自民党議員団総会。議運の結果などが報告された。日本会議議員連盟からは、選択的夫婦別姓問題の最新世論調査結果、冊子が配布された。

11時本会議が開かれた。冒頭に齋藤知事の発言があった。内容は議運の時の発言と同じ。まず、行財政運営に関する条例の改正案の撤回が了承された。次に令和4年度当初予算案の審査結果が浜田予算特別委員会委員長から報告された、各常任委員会の結果報告のあと、討論が行われ、各党派代表の6人、無所属議員2人の8人がそれぞれ賛成、反対の討論を行った。表決の結果、原案通り可決された。続いて、知事からコロナ経済対策補正、繰り越し予算、行財政運営条例修正案の追加議案が上程され、提案説明の後、各常任委員会に付託された。午後1時だった。

昼食休憩後、各常任委員会が開かれ付託議案審査が行われ、そ

の後、行財政運営調査特別委員会が開かれ、修正提出された条例案の審査が行われた。行特委では、委員から撤回、再提出に関して厳しい意見も出されていた。



午後3時45分本会議が再開。各委員会の審査結果報告の後、討論、表決が行われ、原案通り可決された。次に知事から同意人事に関する議案が提出された。荒木副知事辞任に伴い服部県土整備部長を後任に、西上教育長の辞任に伴い藤原防災監を後任に、松

田人事委員会委員の辞任に伴い、田中会計管理者を後任にというもの。討論に続き表決が行われ、了承された。続いて、議員報酬及び費用弁償に関する条例改正案など議員提出議案3件が上程され、可決。次に、請願4件が上程され、討論、表決の結果、いずれも不採択。続いて意見書8件が上程され全会一致で可決された。続いて、決議案1件「2023年主要国首脳会議にかかる関係閣僚会合の姫路市開催を求める決議」が上程され、全会一致で可決された。

最後に荒木副知事、西上教育長、服部県土整備部長、藤原防災監の4人が辞任、後任の挨拶を述べ、閉会した。議長の閉会の挨拶では、昭和53年以来の会期延長で43日間の長きに及んだこと、令和4年度当初予算はじめ重要案件の審議、とりわけ行財政運営に関する条例の改正での原案撤回、修整案の再提出など、最終日まで熱心に審議されたこと、ロシアのウクライナ侵攻への非難決議、在大阪ロシア総領事館への抗議を行ったことなどにふれ、今後もコロナなど多くの課題の解決に向かって県議会の役割を果

たしていくことを申し上げた。閉会は午後5時前だった。

各会派控室への挨拶回り、記者クラブでの発表を行い、退庁したのは午後6時頃だった。長い一日だった。

今日の閉会の挨拶でも毎日新規感染者が2000人程度確認されていることにふれたが、今日も2156人だった。

県議会本会議、決算特別委員会での質問抜粋

1. 議長 就任あいさつ

第354回定例県議会 令和3年6月9日(水)

お許しをいただきまして、一言ごあいさつを申し上げます。

ただ今、議員各位のご理解とご支援により、歴史と伝統に輝く兵庫県議会の第124代議長にご選任いただきましたことは、私にとって誠に身に余る光栄であり、謹んで厚く御礼を申し上げます。

また、この兵庫県議会の発展に尽力してこられました歴代議長はもとより、先ほど職を辞されました原テツアキ前議長のご在任中のご精励と、県議会の発展に取り組まれたご功績に対しまして、心から敬意と感謝を申し上げる次第であります。

まず始めに、新型コロナウイルスに感染され、治療されている方々の一日も早い回復を願うとともに、亡くなられた方々、ご遺族に対し、改めてお悔やみを申し上げます。

また、医療機関等における多くの関係者の方々が、心身ともに限界の中で長期間にわたりコロナウイルス感染症と闘っていただいていることに深く感謝と敬意を表します。

さらに、県民の皆様にも多大なご負担とご協力いただいていることに対しまして、心から御礼申し上げます。

世界的大流行となりました新型コロナウイルス感染症ですが、本県では本年4月に3度目となる緊急事態措置実施区域に指定され、現在も継続中であります。

現状といたしましては、県民一丸となった取り組みの効果が現われつつあり、新規感染は減少してきていますが、医療提供体制のひっ迫が続いております。

県民の生命と暮らしを守っていくためにも医療提供体制のさらなる強化はもとより、新規感染者を増やさない対策の決め手となるワクチ

ン接種を一日も早く完了することが最重要であると考えることから、国から供給されるワクチンが円滑に県民の皆様に接種されるように本県議会としても真摯に取り組んでまいり所存であります。

さて、令和3年は、「ポスト・コロナ社会」を見据え、適切な行財政運営を推進するため、選択と集中を徹底し、新時代にふさわしい「すこやか兵庫」の実現に向け、地域の自主自立を基本とし、兵庫の五つの国の個性や強みを活かした地域分散型社会への道筋を付ける節目の年にしなければなりません。

今回の新型コロナウイルス感染症の経験を契機に、人々の日常生活の生活様式や働き方の新しいスタイルが急速に多様化していくことが想定されることから、今まさに大転換の時であると考えます。

この大きな変化を乗り越え、多様な社会で共存する地域創生が必要とされる今こそ、あらためて全議員が、社会の絆を再構築し、人、暮らし、産業、地域が個性を活かしながらバランスを保って輝いていけるよう、地域の声を的確に代弁し、それぞれの地域で今何が必要なのか、何をすべきなのかを、積極的に提言していかなければなりません。兵庫の新時代を切り拓くために、当局と県議会、県民が、ともに考え、思いを共有しながら、新たな一步を踏み出す1年となるよう、議長として全力で取り組んでまいります。

これまでから真摯に取り組んでいる議会改革につきましても、「ペーパーレス化の方針」に基づき、昨年度導入した公用タブレットを用いて、緊急事態発生時においても、県民の皆様の声を県政に反映していくため、委員会のオンライン開催等、ICTを活用しながら、適切な議会機能の維持を図ることに努めてまいります。

また、議会基本条例に議会機能の充実・強化がうたわれています。歴代議長をはじめ、議員各位の懸命な努力により、着実に図られていることから、今年度におきましても、これまでの改革の歩みを振り返り、さらに発展させるよう、精力的に協議・検討してまいります。

兵庫の将来をも左右するこの重要な時期に、議長という要職を担うこととなり、私は、改めてその責任の重大さに身の引き締まる思いが

いたします。

県民の皆様の参画と協働なしに現下の困難に立ち向かうことはできません。県民541万人の力を結集して、不屈の精神を持ってすれば、いかなる困難も乗り越えられることを確信するしだいであります。

議員各位はもとより、井戸知事をはじめ県当局の皆様、並びに報道関係の皆様方におかれましては、何卒格別のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げまして、議長就任のごあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

2. 令和3年6月定例会 議長 閉会あいさつ

第354回定例会 6月9日(水)

閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る6月1日に招集されて以来、本日まで9日間の会期でありました。議員各位の終始極めて慎重かつ熱心なご審議によりまして、新型コロナウイルス感染症関連の緊急経済対策である令和3年度6月補正予算、条例、事件決議、議会運営委員会、常任委員会等の議会役員の選任などの重要案件を、いずれも議了することができましたことを、大変嬉しく存じます。

知事をはじめ、当局各位の、今期定例会での審議に寄せられました真摯なる態度に深く敬意を表しますとともに、審議の過程で議員各位から述べられました意見等につきましては、今後の県政の推進に当たり、十分に反映されることを強く望むものであります。

さて、去る昨年12月定例会において、井戸知事から令和3年7月末までの今任期をもって知事の職を辞する旨、所信の表明がございました。恐らく、この議場で相まみえることは、本日が最後でありましょう。ここに、議会を代表いたしまして、これまでの県政推進にかかわる井戸知事のご尽力に対し、厚くお礼申し上げます。

井戸知事は平成8年4月、阪神・淡路大震災からの復興元年と言われる時期を迎えた本県に、貝原前知事の補佐役の副知事として着任さ

れ、豊かな識見と優れた行政手腕により、ふるさと兵庫の発展のため、ご尽力いただきました。

そして、平成13年8月に、第48代兵庫県知事に初当選され、就任に当たり、この議場において、「県民を中心とし、県民と歩む、参画と協働の県政を推進する」と、その決意を述べられました。以来、県政を担当された5期20年の間、目まぐるしく変動を続ける社会経済状況の中、県民との参画と協働を基本姿勢に、県民の幸せと社会の発展を願って、県政の展開に心血を注いでこられた井戸知事のお姿は、我々の胸に深く刻み込まれております。

特に、貝原前知事よりバトンを引き継がれた震災からの復興に当たっては、単なる震災前の状態に戻す復興でなく、21世紀の成熟社会に相応しい兵庫の未来像への創造的復興に向け、県民と語り合いながら懸命に道を切り開いてこられました。この足跡に対して深く敬意と謝意を表すものであります。

また、復興の象徴として迎えた平成18年ののじぎく兵庫国体、復興のシンボルとして整備された県立美術館や芸術文化センター、県内外の自然災害への迅速な対応と、災害の教訓を生かした県民緑税や総合治水条例などの時代を先導する対策、そして地方分権を先導する関西広域連合の発足など、その功績を挙げると枚挙に暇がありません。

そして今任期においては、震災復興で悪化した財政再建のため、約20年にわたり懸命に取り組まれた行財政構造改革を成し遂げるとともに、県政150周年、震災25年という大きな節目を迎え、令和の新時代とともに兵庫の大きな飛躍が期待されたところです。その矢先での、新型コロナウイルス感染症の感染拡大と長期化で、兵庫県は大きなダメージを受けております。

このような中での昨年12月の井戸知事の決意表明は、苦渋の決断であったことと推察いたします。7月末まで残り50日余りとなりますが、決意表明でも述べられておりましたポストコロナ時代を先導する取組を、新しい時代にうまく引き継がれることを切に願うところです。また、知事の座を去られても、どうかご健康で今後とも兵庫県政

伸展のため、折に触れご尽力、ご援助を賜りますことを衷心よりお願い申し上げます。

県議会においても、新型コロナウイルス感染症の収束に全力を挙げて共に取り組んでいくとともに、ポストコロナ社会を見据えた兵庫の基盤づくりも着実に進め、魅力あふれる兵庫の創造をめざし、未来に向かって歩みを進めていくため、引き続き、県民の負託に全力を挙げて応えてまいります。

これから、まさに熱い夏を迎えます。議員各位におかれましては、何とぞご自愛の上、県政発展のため、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、報道関係各位のご協力に対し、感謝申し上げます、閉会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

そして、井戸知事、本当に長い間、ご苦勞さまでございました。ありがとうございました。

3. 令和3年9月定例会 議長 閉会あいさつ

第355回定例会 10月22日（金）

閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る9月21日に招集されて以来、本日まで32日間にわたる会期でしたが、その間に審議されました案件は、令和2年度歳入歳出決算の認定をはじめ、補正予算、条例、同意人事案件など県政の重要案件でありました。

議員各位の慎重なるご審議によりまして、全ての議案が議了できましたことを大変嬉しく存じます。

特に、決算特別委員会の委員各位には、膨大な決算議案について、連日にわたり、慎重かつ精力的にご審査賜りましたことに対しまして、改めて心より深く感謝を申し上げます。

また、知事をはじめ、当局各位には議会審議に真摯にご対応いただき、深く敬意を表します。審議の過程で議員各位から述べられました意見等につきましては、今後の県政執行に十分反映されますことを強

く望むものであります。

今期定例会では、新型コロナウイルス感染症対策の充実・強化に加え、コロナ禍で落ち込んだ地域経済の活性化、県民生活の安定化に向けた支援を図るため、会期中、二度にわたり補正予算が上程され、成立したところです。

新型コロナウイルス陽性確認者数は、県民の皆様の多大なご負担とご協力で大きく減少し、本日から飲食店等への県による営業時間短縮の要請等は解除されました。ただ、第6波を招かないように、引き続きワクチン接種を進めつつ、決して油断せずに、一人一人の感染防止の徹底は続けていく必要があります。その上で、地域経済、県民生活の早急な回復を図り、ポストコロナにおける新たな兵庫への基盤を固めていかななくてはなりません。

県議会は、コロナ禍で必死に奮闘しておられる県民の皆様の声を積極的に施策に反映させるべく、審議を尽くし、議決機関としての責務を果たし、県民の負託にしっかりと応えてまいります。

また、新型コロナウイルス感染症対策に資するため、昨年度に引き続き、期末手当や政務活動費などの削減を行うこととしました。今後とも、議会機能の強化や県民に開かれた議会の実現を図り、県民の皆様に寄り添い、県民の皆様とともに、新しい時代にふさわしい、魅力あふれる兵庫を創り上げていく所存です。

昨日、南あわじ市の「若人の広場」で開催されました全国戦没学徒追悼祭に参列し、先の大戦において、学業半ばで動員を受け、戦地や軍需工場で亡くなられた全国約20万人の若者の御霊に謹んで哀悼の誠を捧げました。現在の平和と繁栄は幾多の犠牲の上に築かれたことを決して忘れてはならない。我々議員の使命が県民の命と暮らしを守ること、そして若者たちに素晴らしい兵庫県の未来を引き継いでいくことだと、コロナ禍の現状と照らして、改めて強く心に刻んだ次第です。議員各位におかれましては、県政発展のため一層のご精励を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、報道関係各位のご協力に対し、感謝申し上げます、

閉会の挨拶とさせていただきます。
ありがとうございました。

4. 令和3年12月定例会 議長 閉会あいさつ

第356回定例会12月13日(月)

閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る12月1日に招集されて以来、本日まで13日間の会期でありました。議員各位の終始極めて慎重かつ熱心なご審議によりまして、補正予算、条例、事件決議などの重要案件を、いずれも議了することができましたことを、大変嬉しく存じます。

議員各位のご精励とご協力に対しまして、心より厚くお礼を申し上げます。

また、知事をはじめ、当局各位の議会審議に寄せられました真摯なる態度に、深く敬意を表しますとともに、審議の過程で議員各位から述べられました意見等につきましては、今後の県政執行に十分反映されることを強く望むものであります。

特に、本日、拡大防止対策や地域経済の活性化対策などの新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急の補正予算が成立したところですが、現在のコロナ禍による危機を乗り越えていくためには、感染対策と日常生活の回復の両立を図るポストコロナ社会をしっかりと見据えた、本格的な取組が必要です。

齋藤新知事の本県での初めての予算編成となる来年度当初予算では、コロナ禍の中で相当厳しい判断を迫られることとなるかと思えます。今後、県議会でも行財政運営調査特別委員会や、来年2月定例会で設置予定の予算特別委員会等での議論を通じ、我々議員も知恵をしばり、県民の皆さんや当局と共に、新たな時代に向けた施策に取り組んでまいります。

令和3年も、残すところあとわずかとなりました。振り返りますと、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会での日本選手団や、大リーグ・大谷翔平選手などの大活躍には、大きな勇気と感動を

いただきました。一方で、昨年に引き続き新型コロナウイルスの感染拡大をはじめ、鳥インフルエンザの発生など私達の安全安心を脅かす出来事が続きました。

この危機を乗り越えていく中で、私たちは、地域の絆や人を思いやる気持ちの大切さを改めて確認したところです。長期にわたり、医療現場や保健所、宿泊療養施設で新型コロナウイルスへの対応にあたって来られた関係者の皆様、そして感染防止に協力し、歯を食いしばって事業を継続して来られた事業者の皆様のふるさと兵庫を愛する気持ちは、きっと兵庫の素晴らしい未来として実を結ぶものと信じています。

明日、14日は忠臣蔵でおなじみの赤穂義士討入の日です。浅野家と縁(ゆかり)が深い、私の地元、北播磨でも義士祭などの行事が行われます。年末・年始は帰省など地域や家族の絆を深め、こうしたふるさとの歴史・文化に触れる重要な機会です。これから寒さが一層厳しくなる時期を迎えますが、県民の皆様には、十分な感染対策をしていただいた上で、是非、ふるさとで家族や友人と楽しくなごやかな年の瀬を過ごし、良い新年をお迎えいただくよう祈念します。

そして、本日、決議を行ったところですが、遠く北朝鮮の地において、ふるさとに帰ることができない県民の方々がおられることを、私たちは、決して忘れてはなりません。拉致被害者とその家族の一刻も早い再会を信じ、県議会としても最大限の努力を行っていくことをここにお誓い申し上げます。

議員各位には、ご健勝のうえ、県民福祉向上のため、今後とも、なお一層のご活躍を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりましたが、報道関係各位のご協力に対し感謝申し上げ、閉会の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

5. 令和4年2月定例会 議長 閉会あいさつ

第357回定例会 3月30日(水)

閉会に当たりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

今期定例会は、去る2月16日に招集され、昭和53年以来の会期延長があり、本日まで43日間の長きにわたる定例会となりました。その間に審議されました案件は、令和4年度当初予算をはじめ、多数の重要案件でありました。

そのような中であって、議員各位の熱心なご審議によりまして、いずれも適切妥当な結論をもって議了できましたことを大変嬉しく存じます。

特に、行財政の運営に関する条例の改正条例案に関しては、本会議及び行財政運営調査特別委員会において、活発な議論が行われました。その結果、開会日に知事より提出された案は撤回の上、議論を踏まえた修正案が本日、再提出され、委員会での審査を経て、議決の運びとなりました。

知事をはじめ、当局各位の議会審議に寄せられました真摯なる態度に深く敬意を表します。あわせて今定例会での全議案に対する審議の過程で議員各位から述べられました意見等につきましては、今後の県政執行に十分反映されますようお願いいたします。

また、2月24日にウクライナに侵攻したロシアに対し、本県議会では無条件即時撤退と原状回復に全力を尽くすことを強く要請する決議を3月1日に行いました。3月4日には在大阪ロシア連邦総領事館を訪問し、抗議文を私から総領事に手交しました。本日現在、ロシアの侵攻は続いており、多くの命が犠牲となっています。政府は国際社会と連携して、あらゆる外交努力によって、国際秩序の維持を図り、この悲劇を一刻も早く終わらせる必要があります。

さて、新型コロナウイルス感染症について、本県は、1月27日から指定されていたまん延防止等重点措置の実施地区から、3月21日をもって解除されました。ただ、未だに一日2千人程度、新規感染者がおられ、県民の皆様には、3回目のワクチン接種を積極的に行うな

ど、一人一人が自覚と責任を持って、引き続き感染対策に万全を期していただきますようお願いします。

令和4年度は、齋藤県政の実質的な初年度であります。また、ポストコロナ時代への確かな歩みを踏み出す重要な年でもあります。本定例会で議決された令和4年度当初予算により、県下各地で様々な事業が積極的に展開され、コロナをはじめ課題山積の中で、新時代を切り開く「躍動する兵庫」の実現につながっていくことを、期待してやみません。

県議会としましても、議決機関としての責務を果たすことで、県民の皆様の負託にしっかりと応えてまいります。

桜の開花が各地で見られ、本格的な春が訪れようとしています。理不尽な侵略を受けているウクライナの人々、新型コロナウイルス感染症と闘っている皆さん、誰も取り残されず、全ての方々に本当の春が等しく訪れることを祈念してやみません。

最後になりましたが、報道関係各位のご協力に感謝申し上げ、閉会の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

6. 決議文・抗議文

決議 第2号

ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議

ロシア軍は2月24日、ウクライナに侵攻した。

これは、ウクライナの主権と領土の明確な侵害で、国連憲章の原則に反するとともに、関係国の平和を求める努力を踏みにじる行為である。G7では、深刻な国際法違反であり、国際秩序に対する深刻な脅威であるとして強い非難を表明した。

兵庫県議会は、国際間の法秩序と対話による世界平和の実現を希求し、政府においては、国際社会とも連携し、あらゆる外交努力によって、ロシアのウクライナからの無条件即時撤退と原状回復に全力を尽

くすことを強く要請する。

以上、決議する。

令和4年3月1日

兵 庫 県 議 会

ロシアのウクライナ侵攻に対する抗議文

3月1日に県議会で「ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議」を全会一致で決議し、これを兵庫県議会の意思としてロシアに伝えるべく、3月4日に在大阪ロシア総領事館を訪ね、総領事に直接面会し、抗議を行った。合わせて、駐日ロシア大使、ハバロフスク地方知事宛での抗議文を手渡し、伝えるよう要望した。

2022年3月4日

駐日ロシア連邦特命全権大使

ミハイル・ユーリエヴィチ・ガルージン 閣下

兵庫県議会議長 藤本 百男

ロシアのウクライナ侵攻に対する抗議

貴国が、今年2月24日にウクライナに対し、軍事侵攻を開始したことは、ウクライナ主権と領土の明確な侵害であり、国連憲章の原則に反するとともに、関係国の平和を求める努力を踏みにじる行為です。

多くの住民の犠牲を生み、加えて核兵器の使用を示唆したことは、平和を希求する人々の願いに背く行為であり、看過できません。

去る3月1日、兵庫県議会は、国際間の法秩序と対話による世界平和の実現を願い、「ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議」を決議したところです。

兵庫県議会議長として、貴国が、世界平和を願う全世界の声に耳を傾け、無条件で即時撤退し、平和的な解決の道を探ることを強く求め

ます。

同文を在大阪ロシア連邦総領事 アレクサンドル・テルスキフ 様宛てに手渡した。また、兵庫県と交流のあるロシアのハバロフスク地方知事 デクチャリョフ・ミハイル・ウラヂミロフィチ 様宛ての文書を手渡した。

2022年3月4日

ハバロフスク地方知事

デクチャリョフ・ミハイル・ウラヂミロフィチ 様

兵庫県議会議長 藤本 百男

ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議について

ロシア連邦が、今年2月24日にウクライナに対し、軍事侵攻を開始したことは、ウクライナ主権と領土の明確な侵害であり、国連憲章の原則に反するとともに、関係国の平和を求める努力を踏みにじる行為です。

多くの住民の犠牲を生み、加えて核兵器の使用を示唆したことは、平和を希求する人々の願いに背く行為であり、看過できません。

去る3月1日、兵庫県議会は、国際間の法秩序と対話による世界平和の実現を願い、「ロシアのウクライナ侵攻を非難する決議」を決議しましたので、お知らせします。

貴地方と本県は、1969年に友好・姉妹提携を結び、50年余にわたり交流を深めてきた歴史があり、平和への願いは互いに変わらないものと考えます。

兵庫県議会議長として、一刻も早い平和的解決がなされ、貴地方と本県の友好交流が更に促進する環境が整うことを心から祈念しております。

令和3年5月～令和4年3月の活動記録

月 日	曜	活 動 内 容
5月1日	土	加東事務所
5月2日	日	加東事務所
5月3日	月	加東事務所
5月4日	火	議会運営委員会 自民党議員団総会
5月5日	水	加東事務所
5月6日	木	加東事務所
5月7日	金	加東事務所
5月8日	土	加東事務所
5月9日	日	加東事務所
5月10日	月	登庁 県庁執務
5月11日	火	加東事務所
5月12日	水	登庁 県庁執務
5月13日	木	加東事務所
5月14日	金	加東（市民病院他）
5月15日	土	加東事務所
5月16日	日	社農会作業 加東事務所
5月17日	月	警察常任委員会 自民党議員団総会 議員研修（性暴力関係）
5月18日	火	加東事務所
5月19日	水	加東事務所
5月20日	木	加東事務所 仲田一彦後援会（三木市）
5月21日	金	自民党議員団総会 共にかがやく兵庫の会 市内回り
5月22日	土	加東事務所
5月23日	日	加東事務所
5月24日	月	加東事務所
5月25日	火	議会運営委員会 自民党議員団総会 自民議員団東播淡路会
5月26日	水	金澤和夫氏と加東市内回り
5月27日	木	加東こども家庭センター看板設置式
5月28日	金	
5月29日	土	
5月30日	日	三木市長選挙告示仲田候補出陣式 加東市内回り
5月31日	月	県庁執務

Ⅳ 令和3年5月～令和4年3月の活動記録

6月1日	火	第354回定例県議会開会 議会運営委員会 議員団総会
6月2日	水	自民党加東市支部幹事会 加東市内回り
6月3日	木	神戸市内の各種団体回り 美しい憲法をつくる兵庫県民の会
6月4日	金	本会議（代表質問日） 議会運営委員会 自民党議員団総会
6月5日	土	加東事務所
6月6日	日	加東事務所
6月7日	月	本会議（一般質問日） 議会運営委員会 自民議員団総会
6月8日	火	警察常任委員会（付託議案・請願審査） 議会事務局打ち合わせ
6月9日	水	本会議（閉会） 第124代議長に就任 記者会見・挨拶回り
6月10日	木	就任挨拶（議会事務局）、議長引き継ぎ、正副常任委員長会議 金澤事務所開き（姫路） 社商店連合会役員会
6月11日	金	J Aみのり組合長面談 県政報告紙「まほろばwith」23号 県政資料シリーズ第Ⅷ集発刊
6月12日	土	加東市内回り 事務所
6月13日	日	加東事務所
6月14日	月	加東商工政治連盟（打ち合わせ） 加東事務所
6月15日	火	加東ライオンズクラブ委員会
6月16日	水	文教常任委員会 自民党議員団総務会 総会 挨拶回り 日本会議兵庫北播磨支部6月例会
6月17日	木	神戸市内団体、報道機関挨拶回り
6月18日	金	県議会コロナ対策調整会議 自民党県連選対委員会
6月19日	土	関西マスターズスポーツフェスティバル総合開会式（県民会館）
6月20日	日	加東事務所 市内回り
6月21日	月	加東市内団体挨拶回り かなざわ和夫氏と語る会
6月22日	火	議長就任挨拶回り（神戸市内） 加東L、C例会
6月23日	水	関西広域連合連携協議会 自民議員団臨時総会 挨拶回り
6月24日	木	議長室執務
6月25日	金	議長就任挨拶回り（神戸市内） 新聞社インタビュー等
6月26日	土	自衛官募集相談員会東播連合会定期総会
6月27日	日	加東事務所
6月28日	月	ひょうご未来の高校教育あり方検討委員会播磨東北部地区説明会
6月29日	火	ひょうご農林機構第1回社員総会
6月30日	水	まほろばWith24号発刊 ワクチン接種1回目
7月1日	木	兵庫県知事選挙告示 議長室執務
7月2日	金	加東事務所・市内回り

7月3日	土	加東事務所・市内回り
7月4日	日	兵庫県公立大学法人芸術文化観光専門職大学開学記念式典
7月5日	月	議長室執務
7月6日	火	議長室執務 自民党県連党紀委員会 加東LC例会
7月7日	水	全国都道府県議会議長会・委員会オンライン会議
7月8日	木	(眼科)
7月9日	金	(静養)
7月10日	土	加東事務所
7月11日	日	加東事務所
7月12日	月	(眼科)
7月13日	火	自民党議員団総会 議長室執務
7月14日	水	兵庫県功労者表彰式
7月15日	木	加東事務所
7月16日	金	文教常任委員会 県納税功労者表彰式 議会広報番組収録
7月17日	土	加東事務所
7月18日	日	兵庫県知事選挙投票日
7月19日	月	加東市内回り・事務所執務
7月20日	火	ひょうごユニバーサル社会づくり賞贈呈式並びにみんなの声 かけ運動応援協定締結式 加東LC例会
7月21日	水	ワクチン接種(2回目・加東市民病院)
7月22日	木	日本会議兵庫県本部総会・講演会(湊川神社)
7月23日	金	加東事務所
7月24日	土	兵庫県ソフトボール協会第2回常任理事会
7月25日	日	社農会共同作業 恩師のお別れ会 御大神宮祭
7月26日	月	阪神・淡路大震災からの復興を支えた復興基金 感謝のつどい
7月27日	火	加東市商工会長訪問
7月28日	水	兵庫県町議会議長会定期総会 自民党加東市支部幹事会
7月29日	木	県議会コロナ対策調整会議 建設常任委員会管内調査(北播磨県民局) 地元議員出席
7月30日	金	議員定数等調査特別委員会 井戸知事退任挨拶対応
7月31日	土	地区リサイクル運動
8月1日	日	加東市子ども会育成連絡協議会親善ドッジボール大会
8月2日	月	兵庫県地方議会協議会 県議会コロナ対策調整会議
8月3日	火	警察常任委員会北播磨管内調査(小野署) 加東LC定例会
8月4日	水	加東事務所 市内回り

Ⅳ 令和3年5月～令和4年3月の活動記録

8月5日	木	各会派政務調査会① 美しい日本の憲法を守る県民の会役員会
8月6日	金	各会派政務調査会② 自民党議員団総会
8月7日	土	自民党兵庫県連大会に代わる総務会（神戸市内）
8月8日	日	加東事務所・自宅整理 加東L.Cシークレット花火準備・警備
8月9日	月	台風9号接近 加東L.C作業
8月10日	火	加東事務所・講演準備
8月11日	水	加東事務所・自宅整理
8月12日	木	県議会コロナ対策調整会議
8月13日	金	加東事務所
8月14日	土	加東市滝野地域 英霊供養塔で慰霊
8月15日	日	終戦の日 忠魂碑で慰霊
8月16日	月	加東事務所 片付け 講演準備 蔓延防止対象区域全県に
8月17日	火	議員定数等調査特別委員会 自民党議員団総務部会勉強会
8月18日	水	文教常任委員会 自民議員団総務部会 県議会コロナ対策調整会議
8月19日	木	県庁執務 教育委員会レク
8月20日	金	加東事務所 緊急事態宣言発令
8月21日	土	加東事務所（加東市高齢者大学講演中止）
8月22日	日	加東事務所
8月23日	月	各会派代表者会議 議会運営委員会 議会政策法務研修 関西広域連合連携協議会 自民党議員団総会 自民党県連役員会議
8月24日	火	加東事務所（文教常任委員会管内調査中止）
8月25日	水	加東事務所（播磨東教育事務所来所中止）
8月26日	木	加東事務所（北播政経懇話会中止）
8月27日	金	県議会酒米日本酒振興議連勉強会（加東農林振興事務所と） 県議会広報だより高校生版インタビュー（議長室） 当局レク等
8月28日	土	加東事務所
8月29日	日	加東事務所
8月30日	月	神戸新聞情報文化懇話会 県庁執務
8月31日	火	加東事務所
9月1日	水	加東事務所 市内回り（加東警察署等）
9月2日	木	国際フロンティアメッセ2021 美しい憲法をつくる県民の会
9月3日	金	議長室執務 自民党県連新旧執行部会議
9月4日	土	加東事務所
9月5日	日	自宅
9月6日	月	加東事務所

9月7日	火	加東市内回り
9月8日	水	自宅
9月9日	木	兵庫県社会賞選考委員会 議長室執務
9月10日	金	県議会コロナ対策調整会議 各会派代表者会議 議長室執務
9月11日	土	加東事務所
9月12日	日	加東事務所
9月13日	月	緊急事態宣言延長～9月末 議長室執務
9月14日	火	兵庫県文化賞審査会 各会派代表者会議 議会運営委員会 自民議員団総会 議長室執務
9月15日	水	自民党議員団重要政策提言 議長室執務
9月16日	木	自民党議員団総会 佐賀県への災害見舞金贈呈（大阪市）
9月17日	金	文教常任委員会・オンライン委員会テスト 議長室執務
9月18日	土	加東事務所 台風14号近畿南部横断
9月19日	日	自宅
9月20日	月	加東事務所
9月21日	火	第355回定例県議会（開会） 議会運営委員会 議員定数等調査特別委員会 自民党議員団総会
9月23日	水	自民党加東市支部幹事会 加東事務所
9月24日	木	加東事務所
9月25日	金	加東事務所
9月26日	土	加東事務所
9月27日	日	道普請 加東歴史の会例会
9月28日	月	本会議（代表質問） 議会運営委員会 自民議員団総会
9月29日	火	本会議（一般質問①）
9月30日	水	本会議（一般質問②） 各会派代表者会議 県議会コロナ対策調整会議
9月31日	木	本会議（一般質問③） 決算特別委員会設置 議員団総会
10月1日	金	文教常任委員会 兵庫県町村会要望
10月2日	土	東日本大震災復興施設見学
10月3日	日	全国豊かな海づくり大会（宮城県）出席
10月4日	月	加東事務所
10月5日	火	本会議（表決） 加東L.C例会
10月6日	水	加東市内回り 事務所執務
10月7日	木	議長室執務 美しい日本の憲法をつくる兵庫県民の会役員会
10月8日	金	加東市内回り 事務所執務

Ⅳ 令和3年5月～令和4年3月の活動記録

10月9日	土	加東事務所
10月10日	日	加東事務所
10月11日	月	加東事務所
10月12日	火	議長室執務 県社協、市長会の要望 人事委員会報告等
10月13日	水	西脇市長訪問 加東事務所執務
10月14日	木	海自潜水艦進水式 議長室執務 香美町長 加東市長来訪
10月15日	金	加東事務所
10月16日	土	日本ソフトボール女子リーグ（豊岡） 日本を元気にする講演会（三木）
10月17日	日	全国豊かな海づくり大会一年前イベント（明石市） 河高コスモスまつり
10月18日	月	自民党加東市支部幹事会
10月19日	火	衆院選公示 決算特別委員会総括審査 加東LC例会
10月20日	水	全国都道府県議会議長会オンライン会議 各会派代表者会議 県議会コロナ対策調整会議
10月21日	木	全国戦没学徒追悼祭（南あわじ市「若人の広場」）
10月22日	金	第355回定例県議会閉会 県議政調懇話会
10月23日	土	摺河学園創立100周年記念式典（姫路市）
10月24日	日	加東事務所
10月25日	月	文教常任委員会 兵庫県商工会議所連合会要望
10月26日	火	沖繩県視察（南部戦跡）
10月27日	水	のじぎくの塔・島守の塔慰霊祭 首里城復興状況視察
10月28日	木	全国都道府県議会議長会総会（オンライン会議） 藤井ひさゆき候補個人演説会（高市早苗政調会長）
10月29日	金	文教常任委員会管内調査（オンライン） 県生協大会
10月30日	土	コウノトリ未来国際かいぎ（豊岡市）
10月31日	日	「花みどりフェア」グランドフィナーレ（洲本市） 福田地区敬老会
11月1日	月	兵庫県町議会議長会要望 各会派代表者会議 議会運営委員会 自民党議員団総会 北播磨未来フォーラム（オンライン）
11月2日	火	久元喜造神戸市長来室 県立美術館鑑賞
11月3日	水	兵庫津初代県庁館開館式典
11月4日	木	在大阪中国総領事の表敬訪問を受ける ひょうご議友会役会 実証実験現場視察（神戸市長田区） 全国都道府県自治功労者表彰
11月5日	金	神戸姫路日経懇話会（神戸市内）
11月6日	土	横尾忠則現代美術館鑑賞（「恐怖の館展」）

11月7日	日	「ばかじから i n 鴨川の郷」(パワーリフティング大会)
11月8日	月	行財政運営調査特別委員会傍聴
11月9日	火	兵庫県文化賞等四賞及び芸術奨励賞贈呈式 うれしの学園生涯大学創立50周年記念式典(生涯教育センター)
11月10日	水	兵庫県宗務行政功労者表彰(県公館)
11月11日	木	但馬行政事務組合要望 県行政書士会役員来訪
11月12日	金	兵庫県社会福祉大会(南あわじ市) 加東事務所来客 加東市シニアクラブ連合会グラウンドゴルフ大会
11月13日	土	加東市金婚夫婦を祝う会 社小リサイクル
11月14日	日	加東事務所(事務整理)
11月15日	月	13都道府県議会議長会議(愛知県名古屋市)
11月16日	火	全国都道府県議会議長会要望活動(東京) 東京兵庫県人会
11月17日	水	文教常任委員会 関西広域連合連携協議会 県ホテル旅館生活衛生同業組合意見交換会
11月18日	木	東京事務所、国会、自民党本部への挨拶回り
11月19日	金	県議会サテライトゼミ(神戸学院大学) 全国手工芸コンクール展
11月20日	土	東条ミニ文化祭・兵庫東条書道展 加東事務所
11月21日	日	自民党県連選対会議(県連本部)
11月22日	月	県議会だより高校生版感謝状贈呈(長田高校)
11月23日	火	東条川疏水ネットワーク博物館会議総会東条川二期事業着手推進大会
11月24日	水	代表者会議 議会運営委員会 自民党議員団総会 自民党加東市支部幹事会
11月25日	木	兵庫県連合自治会大会(丹波篠山市) みのりJA取材
11月26日	金	兵庫県自治体病院開設者協議会要望
11月27日	土	自民党県連政経パーティー 社のおにわ亭 和心書道展
11月28日	日	不登校を考える講演会(小野市内)
11月29日	月	各党派代表者会議 サテライトゼミ(関西学院大学) 豊岡市議会正副議長 来訪
11月30日	火	北播政経懇話会
12月1日	水	第356回定例県議会開会 永年勤続議員表彰 中小企業団体兵庫県大会
12月2日	木	加東で仕事
12月3日	金	加東シニアクラブ連合会滝野支部グラウンドゴルフ大会
12月4日	土	加東市長杯親善中学野球大会
12月5日	日	兵庫県ソフトボール協会常任理事会(明石)
12月6日	月	本会議一代表質問 議会運営委員会 自民党議員団総会

IV 令和3年5月～令和4年3月の活動記録

12月7日	火	本会議—一般質問①
12月8日	水	本会議—一般質問② 議会運営委員会 自民議員団総会 教育研究会
12月9日	木	文教常任委員会 自民議員団総会
12月10日	金	兵庫県・神戸市調整会議（神戸市役所）
12月11日	土	加東市内回り
12月12日	日	加東市
12月13日	月	12月定例会閉会 記者クラブ発表
12月14日	火	赤穂義士追善法要（加東市観音寺） 加東事務所
12月15日	水	ひょうご議友会総会 議長室執務
12月16日	木	政務活動費調査等協議会（県議会） 議長室執務
12月17日	金	文教常任委員会 兵庫県DC推進協議会設立総会（県公館）
12月18日	土	拉致問題を考える国民の集い（県公館） 神道政治連盟県本部講演会
12月19日	日	加東事務所
12月20日	月	兵庫県教育功労者表彰式 議長室執務
12月21日	火	国と地方の協議（総理大臣官邸） 産業遺産情報センター 領土・主権展示館
12月22日	水	加東事務所
12月23日	木	各会派代表者会議 議長室執務
12月24日	金	加東事務所
12月25日	土	兵庫・沖繩友愛提携50周年事業
12月26日	日	加東事務所
12月27日	月	自民党議員団総会
12月28日	火	仕事納め 加東市消防年末警戒発団式
12月29日	水	加東事務所
12月30日	木	加東事務所
12月31日	金	加東事務所 除夜の鐘（持寶院）
1月1日	土	
1月2日	日	初詣（佐保神社、出雲大社教社分院） 寺年賀
1月3日	月	社農会初総会
1月4日	火	県議会事務局年頭挨拶 県・神戸市・神戸市商工会議所新年合同祝賀会 県立芸文センター新年コンサート
1月5日	水	加東伝の助かるた大会 加東市子連協新春書き初め大会 兵庫教育大学地域教材開発室開設式（東条川疏水関連）
1月6日	木	県立姫路循環器病センター入院・治療
1月7日	金	々

1月8日	土	々
1月9日	日	々
1月10日	月	々
1月11日	火	退院・自宅
1月12日	水	加東事務所
1月13日	木	県議会コロナ対策調整会議 議長室執務
1月14日	金	県道小野藍本線天神バイパス開通式 道の駅とうじょう（相談）
1月15日	土	加東事務所
1月16日	日	地区初総会
1月17日	月	1. 17ひょうご安全の日 各会派代表者会議 議会運営委員会 自民党議員団総会
1月18日	火	文教常任委員会 自民党県連会議
1月19日	水	加東事務所
1月20日	木	事務所
1月21日	金	県立社高校課題研究発表会（滝野交流センター）自民党加東市支部幹事会
1月22日	土	加東事務所
1月23日	日	加東事務所
1月24日	月	行財政運営調査特別委員会（傍聴） 自民党議員団文教部会
1月25日	火	北播磨県民局 加東土木事務所 加東警察署 加東事務所
1月26日	水	文教常任委員会管内調査（東播淡路）※オンライン調査 全国都道府県議会議長会総会（オンライン会議）
1月27日	木	加東事務所
1月28日	金	加東事務所
1月29日	土	ザ・フジイ・ガーデン竣工式典 加東LC献血宣伝活動 加東事務所
1月30日	日	地区初総会
1月31日	月	行財政運営調査特別委員会調査報告書知事へ 自民党議員団総務会
2月1日	火	加東ライオンズクラブ献血奉仕活動
2月2日	水	加東事務所
2月3日	木	加東事務所
2月4日	金	自民党議員団健康福祉・文教部会合同勉強会 自民党県連会議
2月5日	土	自民党加東市支部総会に代わる幹事会
2月6日	日	兵庫県ソフトボール協会常任理事会（明石市）
2月7日	月	加東事務所
2月8日	火	兵庫・姫路 G7 関係閣僚会合誘致推進協議会 北播磨県民局からの説明
2月9日	水	各会派代表者会議、議会運営委員会、自民党議員団総会

IV 令和3年5月～令和4年3月の活動記録

		自民党議員団健康福祉部会
2月10日	木	加東事務所
2月11日	金	建国記念の日を祝う会（神戸市県民会館）
2月12日	土	3回目ワクチン接種（加東市役所）
2月13日	日	自宅静養
2月14日	月	文教常任委員会 兵庫県議会防衛議員連盟総会・講演会
2月15日	火	加東事務所 加東ライオンズクラブ例会
2月16日	水	第357回定例県議会（開会） 議会運営委員会 自民党議員団総会
2月17日	木	加東事務所
2月18日	金	ひょうご農とくらし研究発表会表彰式（県公館）
2月19日	土	加東事務所
2月20日	日	兵庫県障害者美術工芸作品公募展表彰式（県立美術館）
2月21日	月	本会議（追加議案上程） 関西広域連合連携協議会 各党派代表者会議 議会運営委員会 自民党議員団総会
2月22日	火	本会議（代表質問）
2月23日	水	加東事務所
2月24日	木	本会議 一般質問① 公教育研究会
2月25日	金	本会議 一般質問② 自民党議員団建設部会
2月26日	土	県立社高校尚友会入会式 自民党兵庫県連「県連大会に代わる総務会」
2月27日	日	県立社高校卒業式
2月28日	月	本議 一般質問③
3月1日	火	本議一般質問④ 「ロシアによるウクライナ侵攻を非難する決議」を採択 予算特別委員会設置 議会運営委員会 自民党議員団総会
3月2日	水	文教常任委員会 行財政運営調査特別委員会審査傍聴
3月3日	木	本会議 補正予算、条例など可決 スポーツ振興議連総会 酒米日本酒振興議連勉強会 自民党議員団農政環境部会 文教部会
3月4日	金	在大阪ロシア総領事館で総領事に抗議文と決議を伝える
3月5日	土	やしろ歴史民俗研究会役員会
3月6日	日	兵庫県ソフトボール協会理事総会（明石市）
3月7日	月	加東事務所
3月8日	火	加東事務所
3月9日	水	加東事務所
3月10日	木	加東事務所
3月11日	金	加東事務所
3月12日	土	播磨道開通式（光都・播磨新宮IC）

3月13日	日	加東事務所
3月14日	月	議長室執務 自民党議員団総会 自民党県連選挙対策委員会
3月15日	火	加東市内 齋藤知事コロナ感染
3月16日	水	議員定数等調査特別委報告 議会運営委員会(会期延長) 議長室執務
3月17日	木	令和3年度包括外部監査報告 自民党各種友好団体との意見交換会①
3月18日	金	自衛隊練習寒雷司令官表敬訪問 県議会コロナ対策調整会議 自民党各種友好団体との意見交換会②
3月19日	土	事務所・自宅
3月20日	日	社高校生活科学科フードデザイン工房Seica(Bioショッピングセンター)
3月21日	月	KG高等学院兵庫北はりま・ひかみ卒業式
3月22日	火	本会議(会期延長決定) 自民党議員団総会 蔓延防止等重点措置解除
3月23日	水	兵庫県スポーツ賞表彰式 県議会スポーツ振興議連表彰式 自民党農政環境部会勉強会
3月24日	木	加東事務所 自民党加東市支部女性部役員会
3月25日	金	加東市内回り
3月26日	土	加東事務所 自宅
3月27日	日	いわね正と夢ある加東を創る会 加東事務所
3月28日	月	予算特別委員会(総括審査)
3月29日	火	児童発達支援施設「りんごの木」開所式 加東事務所
3月30日	水	第357回定例県議会閉会 本会議 文教常任委員会 議会運営委員会
3月31日	木	議会事務局辞令交付式 自民党加東市支部幹事会



◆著者紹介

藤本百男 ふじもと ひやくお

【学歴・職歴・社会活動歴等】

- 昭和28年10月31日 兵庫県加東郡社町社生（現加東市社）
- 兵庫県立社高等学校、早稲田大学法学部卒業
- 国公立学校教員（兵庫教育大学附属小学校、同附属中学校教諭、兵庫県加古川市立小学校、滝野町立滝野東小学校教諭）
- 兵庫教育大学大学院修士課程修了（教育学修士）
- 神戸商科大学・兵庫県立大学非常勤講師（学校教員と兼職）
- 社町史編纂委員、社小学校PTA会長、社3区副区長等

【議員歴】

- 平成19年4月 兵庫県議会議員初当選
農政環境常任副委員長、総務常任副委員長
- 平成23年4月 兵庫県議会議員2回目当選
自民党県議団副政調会長、副幹事長、文教部会長
健康福祉常任委員長
- 平成27年4月 兵庫県議会議員3回目当選
文教常任委員長 自民党県議団文教部会長
第124代兵庫県議会副議長（平成28年6月11日～29年6月9日）
議員定数等調査特別委員 自民党県議団農政環境部会長
自民党県議団政務調査会長（30年4月～31年4月）
行財政構造改革特別委員 決算特別委員 予算特別委員長
- 平成31年4月 兵庫県議会議員4回目当選
関西広域連合議会議員 自民党議員団総務部会長
自由民主党兵庫県連政務調査会長（令和元年6月～）
自民党県議団幹事長（令和2年5月8日～令和3年4月26日）
第124代兵庫県議会議長（令和3年6月9日～）
全国都道府県議長会副会長（令和3年7月14日～）

【団体役職等】

- 自民党加東市支部支部長、日本会議兵庫北播磨支部支部長、加東軟式野球協会会長、兵庫県ソフトボール協会会長、県立社高等学校尚友会会長、兵庫県釣針協同組合顧問等

【県政シリーズ既刊】

- 県政シリーズⅠ「東条川疏水」
- 県政シリーズⅡ「終戦70年 慰霊を考える 加東市内の忠魂碑・慰霊塔」
- 県政シリーズⅢ「ふるさと加東の道標・道路元標」
- 県政シリーズⅣ「加東四国八十八ヶ所霊場・議会改革一年の歩み」
- 県政シリーズⅤ「加東の近代史を彩る人物像・29年度議会活動報告」
- 県政シリーズⅥ「神と仏と人の会おう里加東・30年度後半議会活動報告」
- 県政シリーズⅦ「ふるさと加東の伝説・伝承」・令和元年～2年5月の議員活動報告」
- 県政シリーズⅧ「ふるさと加東の教育あらかると・新型コロナウイルスとの戦いの一年
—自民党県議団幹事長として—」

県政資料 ふるさと加東の歴史再発見シリーズ IX

ふるさと加東の歴史に刻まれた青春

—社高等女学校、嬉野学徒錬成場の記憶—

コロナとの闘い、新知事誕生の歴史的転換点で

—兵庫県議会議長として—

- ◆ 郷土史ブログ「ふるさと加東の歴史再発見」より
- ◆ 議員活動ブログ「百聞百見」より

発行日 令和4年5月吉日

著者 兵庫県議会議員 藤本百男

発行所 藤本百男事務所

〒673-1431 兵庫県加東市社1491-1

TEL(0795)43-8270 FAX(0795)20-6675

印刷所 株式会社吉本宝文堂

〒675-1343 兵庫県小野市来住町883-2

TEL(0794)63-4011 FAX(0794)62-5252

非売品